

科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,808,411,455	22,576,290	0	1,550,369,382	1,235,465,783
1 項 商 工 費	2,808,411,455	22,576,290	0	1,550,369,382	1,235,465,783
1 目 商 工 総 務 費	244,403,291	0	0	0	244,403,291

1 産業プロモーション推進事業費 11,571,548 円 (観光振興課) <情報の発信>

[ 総 括 ]

本市の特産品や観光資源を活用したプロモーションを首都圏で実施することにより、認知度及びイメージの向上を図っている。今後も定期的・定期的に実施するとともに、イベント特性を踏まえ、プロモーション要件を絞りながら実施していく必要がある。

[ 実績及び成果 ]

(1) 産業プロモーション推進事業費 11,571,548 円

(ア) 産業プロモーション推進活動費 10,371,548 円

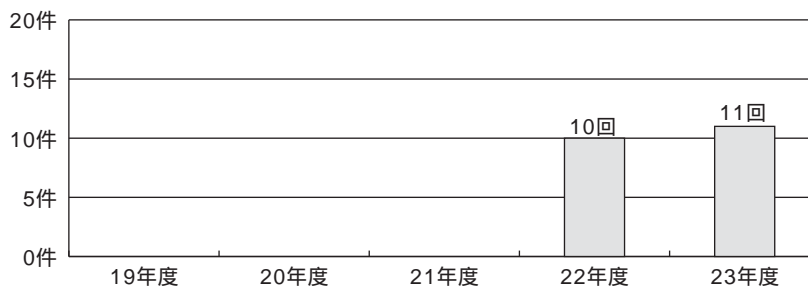
産業プロモーション 実 施 回 数	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
	・物産展等開催		・物産展等開催	
	東京交通会館	5 回	東京交通会館	6 回
	有明コロシウム	1	有明コロシウム	1
	ふるさと情報プラザ	1	日本橋プラザビル	1
	東京都庁	1	大山商店街	1
	大山商店街	1	愛・地球博記念公園	1
	愛・地球博記念公園	1	・物産展等開催及び手筒花火放揚	
			ららぽーと豊洲	1

(イ) B 級グルメ普及促進事業費 1,200,000 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 指 標 ]

指 標 名：産業プロモーション実施回数  
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 商業振興費	1,750,952,076	0	0	1,543,000,000	207,952,076

1 商業振興対策事業費 64,081,440円(商工業振興課) <魅力ある商業集積の形成>

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料に対して助成したほか、開業支援セミナーを開催した。また、平成23年度は東日本大震災支援対策として、豊橋商工会議所が実施する震災復興義援金付きプレミアム付き商品券発行事業に対して助成を行った。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体街路灯等電灯料補助金 5,232,610円

補 助 金	平成22年度		平成23年度	
		19団体	5,677,290円	19団体

(2) 開業支援事業費 90,330円

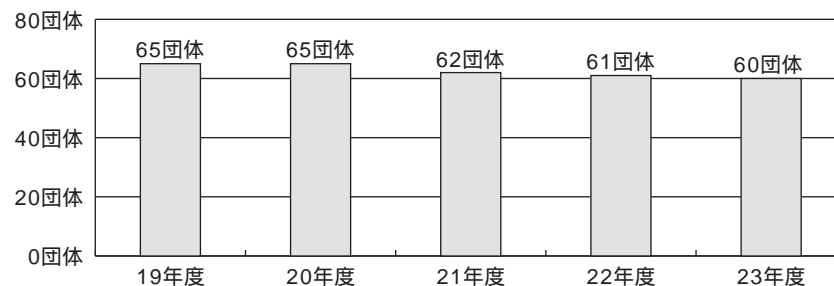
セミナー受講者数	平成22年度		平成23年度	
		延 79人		延 85人

(3) プレミアム付き商品券発行事業費補助金(東日本大震災支援対策費) 58,758,500円

内 容	平成22年度	平成23年度
使用有効期間		23.8.1~10.31
使用枚数・金額		1,096,711枚 548,355,500円
義 援 金		12,128,055
補 助 金		58,758,500

[指標]

指標名：商店街、発展会等数  
 指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



2 まちなかにぎわい創出事業費 7,458,000 円 (商工業振興課・まちなか活性課) <魅力ある商業集積の形成>

[総括]

商店街の活性化やにぎわいを創出するため、商業団体等が実施する各種イベントや施設整備事業に対して支援を行った。市内大学の学生が中心となって店舗を運営するサマーカレッジチャレンジショップ(商学連携促進事業)や豊橋駅南口駅前広場で行った旬彩 楽市(まちなかにぎわいプロモーション事業)などに対して助成を行った。今後もまちのにぎわいを創出し、魅力ある商業地を形成するための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

- (1) 商業団体共同事業補助金 1,206,000 円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		5団体	954,000円	5団体

- (2) 商学連携促進事業補助金 270,000 円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		1団体	270,000円	1団体

- (3) まちなかフェスティバル補助金 1,565,000 円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		1件	1,800,000円	1件

- (4) イルミネーションフェスティバル補助金 854,000 円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		1件	1,486,000円	1件

- (5) 商店街環境向上事業補助金 1,717,000 円

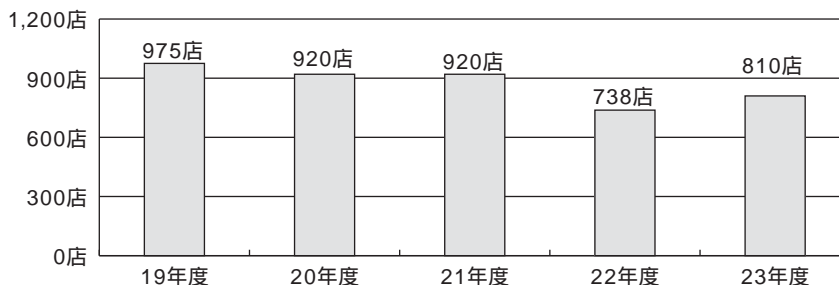
補助金	平成22年度		平成23年度	
		5団体	1,373,000円	2団体

- (6) まちなかにぎわいプロモーション事業補助金 1,846,000 円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		1団体	3,600,000円	1団体

[指標]

指標名：商業団体共同事業等参加店舗数  
 指標説明：事業参加延店舗数(商業団体共同事業+まちなかフェスティバル+イルミネーションフェスティバル)



3 TMO支援事業費 5,544,000円(まちなか活性課) <魅力ある商業集積の形成>

[総括]

中心市街地の活性化を図るため、株式会社豊橋まちなか活性化センター(TMO)が実施する空き店舗活用事業や共通駐車券事業等への支援を行った。今後もまちなかにぎわいを創出し、魅力ある商業地を形成するための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 95,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		2件	504,000円	2件

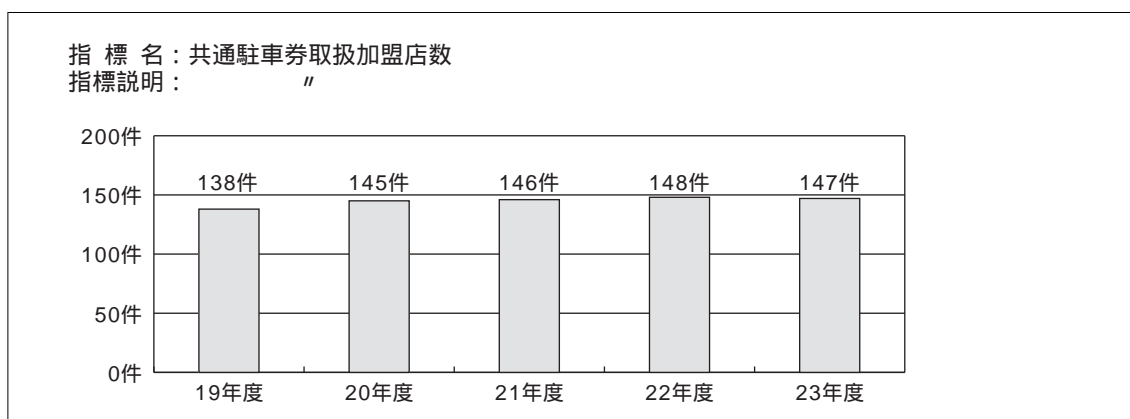
(2) 空き店舗活用事業補助金 4,271,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		10件	6,340,000円	8件

(3) 共通駐車券事業補助金 1,178,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		1件	1,182,000円	1件

[指標]



4 制度融資事業費 1,546,976,016円(商工業振興課) <意欲ある事業者への支援>

[総括]

中小事業者に対する金融機関からの融資が停滞することを防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用促進を図っていく。

[実績及び成果]

(預託金合計(商工組合中央金庫預託金を除く))

内容	平成22年度	平成23年度	比較	
預託額	1,842,000,000円	1,343,000,000円	27.1%	
融資目標額	6,030,000,000円以上	5,709,000,000円以上		
融資実績	件数	1,265件	1,238件	2.1
	金額	5,471,870,000円	4,890,340,000円	10.6
融資実績率	90.7%	85.7%	5.0ポイント	

## (1) 小口事業資金預託金 620,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	
預 託 額		500,000,000円	620,000,000円	24.0%
融 資 目 標 額		1,500,000,000円以上	1,860,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	293件	278件	5.1
	金額	1,956,360,000円	1,864,370,000円	4.7
融 資 実 績 率		130.4%	100.2%	30.2ポイント

## (2) 経営安定資金預託金 207,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	
預 託 額		444,000,000円	207,000,000円	53.4%
融 資 目 標 額		1,332,000,000円以上	621,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	125件	46件	63.2
	金額	840,600,000円	331,800,000円	60.5
融 資 実 績 率		63.1%	53.4%	9.7ポイント

## (3) 商工業振興資金預託金 400,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか15金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか15金融機関	
預 託 額		120,000,000円	400,000,000円	3.3倍
融 資 目 標 額		864,000,000円以上	2,880,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	27件	834件	30.9
	金額	222,580,000円	2,443,070,000円	11.0
融 資 実 績 率		25.8%	84.8%	59.0ポイント

## (4) 中心市街地商業活性化資金預託金 13,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか12金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか12金融機関	
預 託 額		13,000,000円	13,000,000円	0.0%
融 資 目 標 額		39,000,000円以上	39,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	1件	4件	4.0倍
	金額	17,000,000円	19,000,000円	11.8%
融 資 実 績 率		43.6%	48.7%	5.1ポイント

## (5) 創業支援資金預託金 70,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか5金融機関	豊橋信用金庫ほか5金融機関	
預 託 額		20,000,000円	70,000,000円	3.5倍
融 資 目 標 額		60,000,000円以上	210,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	56件	46件	17.9%
	金額	181,940,000円	135,900,000円	25.3
融 資 実 績 率		303.2%	64.7%	238.5ポイント

## (6) 中小企業団体共同事業資金預託金 18,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		十六銀行ほか 6 金融機関	十六銀行ほか 6 金融機関	
預 託 額		45,000,000円	18,000,000円	60.0%
融 資 目 標 額		135,000,000円以上	54,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	9件	5件	44.4
	金額	73,600,000円	30,900,000円	58.0
融 資 実 績 率		54.5%	57.2%	2.7ポイント

## (7) 小規模事業資金預託金 15,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	三菱東京UFJ銀行ほか14金融機関	
預 託 額		700,000,000円	15,000,000円	97.9%
融 資 目 標 額		2,100,000,000円以上	45,000,000円以上	
融 資 実 績	件数	754件	25件	96.7
	金額	2,179,790,000円	65,300,000円	97.0
融 資 実 績 率		103.8%	145.1%	41.3ポイント

## (8) 商工組合中央金庫預託金 200,000,000 円

内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
預 託 先		商工組合中央金庫豊橋支店	商工組合中央金庫豊橋支店	
預 託 額		250,000,000円	200,000,000円	20.0%
融 資 目 標 額		制限なし	制限なし	
融 資 実 績	件数	1,596件	1,605件	0.6
	金額	65,820,119,000円	58,925,426,000円	10.5

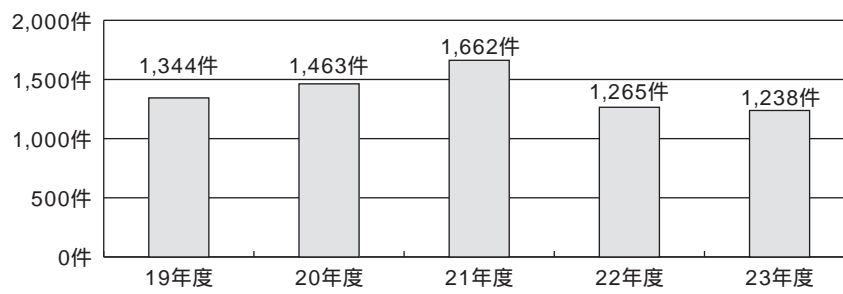
## (9) 愛知県信用保証協会損失補償金 3,976,016 円

補 償 金	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		2件	330,782円	7件

[ 指 標 ]

指 標 名 : 融 資 件 数

指 標 説 明 : 全 制 度 融 資 ( 商 工 組 合 中 央 金 庫 預 託 金 分 を 除 く ) の 融 資 件 数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 工業振興費	667,374,551	3,622,500	0	3,618,000	660,134,051

1 中小企業振興対策事業費 151,137,540円(商工業振興課) <中小企業の振興>

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業においては、制度周知に努め、知的財産権取得事業への助成など経営強化の支援を行った。今後とも地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業等ISO規格等認証取得推進事業費補助金 2,964,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		3件	899,000円	11件

(2) 中小企業振興助成金 138,573,540円

助成金	平成22年度		平成23年度	
		251件	178,530,400円	196件

(3) ものづくり・夢づくり支援事業費 9,600,000円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,404,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		16件	2,085,000円	11件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 949,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		7件	2,204,000円	4件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 3,420,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		32件	3,598,000円	27件

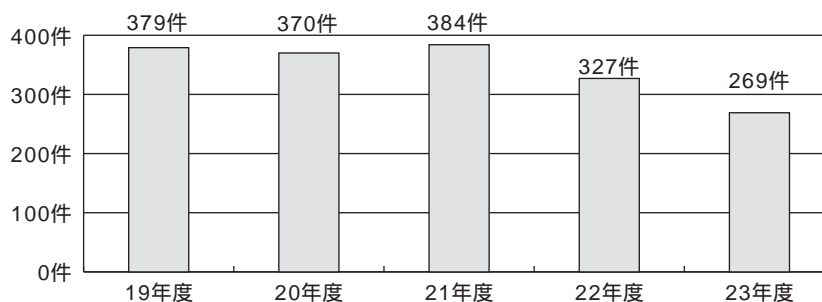
(エ) 創業者支援事業費補助金 3,827,000円

補助金	平成22年度		平成23年度	
		18件	3,512,000円	20件

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+ISO等取得補助金件数+知的財産取得補助金件数  
+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数





2 人材育成事業費

3,277,955 円（商工業振興課）＜中小企業の振興＞

[ 総 括 ]

「とよはしの匠」顕彰事業においては、優れた技能者を顕彰し、「東三河職業訓練展」への作品出展や、小・中学生を対象とした体験講座「匠の技術を学ぼう」を開催した。また、「高校生技術アイデア賞」事業においては、アイデア部門を創設するなど拡大を図った。今後とも次世代の技能人材の育成のため、地域の優れた技能者の活用を推進していく。

[ 実績及び成果 ]

- (1) 「とよはしの匠」顕彰事業費 621,054 円

被 顕 彰 者 数	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		1名

- (2) 「高校生技術アイデア賞」事業費 684,566 円

応 募 件 数	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	15件	作品部門 18件 アイデア部門 417

- (3) 地域技能者活用事業費 420,000 円

参 加 者 数	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	14名	9名

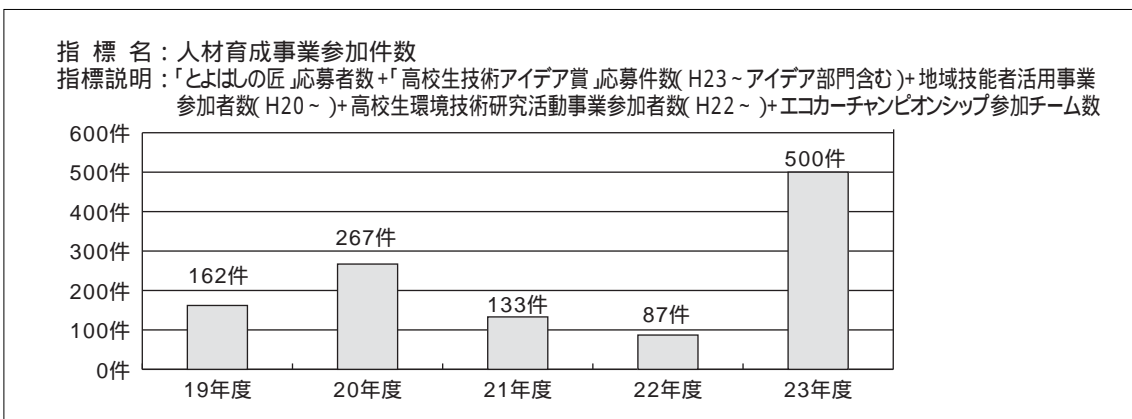
- (4) 高校生環境技術研究活動費補助金 495,539 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	2,199,047円	495,539円

- (5) エコカーチャンピオンシップ事業費補助金 1,056,796 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	1,287,342円	1,056,796円

[ 指 標 ]



3 サイエンス・クリエイト21計画推進事業費 76,712,368円(産業政策課・商工業振興課)〈産業の高度化と新規産業の創出〉

[総括]

中小企業技術者研修事業においては、講座内容を大幅に見直し、「エコアクション21認証取得支援講座」「中小企業のためのBCP・BCM基礎講座」「研究開発推進講座」「金属系材料基礎講座」を新設するとともに講座数を17講座から18講座に増やした。また、産業の高度化と新事業の創出を目的とした研究に対する助成や、環境関連産業の推進に向けた調査・検討を行った。今後とも地域産業育成に向け、時代のニーズに沿った事業を検討・推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業技術者研修事業費 38,966,550円

区 分	平成22年度	平成23年度
内 容	現場で実践できる省エネ・省資源講座、溶接技術基礎講座、経営者養成特別講座始め17講座	エコアクション21認証取得支援講座、金属系材料基礎講座、新規ビジネス開拓講座始め18講座
受講者数	延179人	延198人

(2) 新事業創出等支援事業費補助金 37,279,812円

補 助 金	平成22年度	平成23年度
	37,154,450円	37,279,812円

(3) 地域産業活性化東三河協議会補助金 400,000円

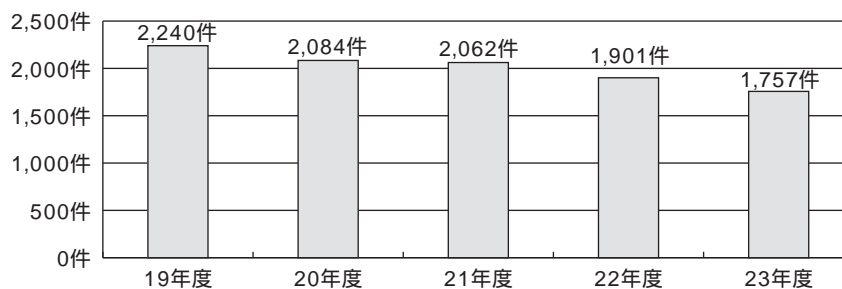
補 助 金	平成22年度	平成23年度
	400,000円	400,000円

(4) 環境関連産業推進事業費 66,006円

区 分	平成22年度	平成23年度
内 容		先進地調査 検討会議の開催

[指標]

指標名：豊橋サイエンスコア利用件数  
 指標説明：技術相談件数+貸室利用件数+中小企業技術者研修受講者数



4 企業誘致推進事業費

436,090,010 円（産業政策課）＜円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進＞

[ 総 括 ]

関東、関西及び近隣市の優良企業に対し誘致活動を行い進出を促進するとともに、ワンストップサービスの強化を図り企業のニーズに対応している。また、本市の立地条件や優遇制度について効果的にPRする手法として、企業誘致PR用DVDを作製したほか、全国的に知名度のあるビジネス専門誌にカラー広告を掲載した。今後も東三河5市連携による効果的な企業誘致に取り組むなど一層の企業誘致活動を推進する必要がある。

[ 実績及び成果 ]

(1) 企業誘致活動事業費 12,987,010 円

内 容		平成22年度	平成23年度
企業誘致説明会	開催日	22.7.27	23.8.2
	場 所	大阪市	大阪市
	出席企業数	35社	33社

内 容		平成22年度	平成23年度	
立地企業情報交換会	開催日	22.12.22	23.12.16	24.2.22
	場 所	株式会社総合開発機構	サノエイ株式会社営業事業部	日東電工株式会社豊橋事業所
	出席企業数	17社	14社	9社

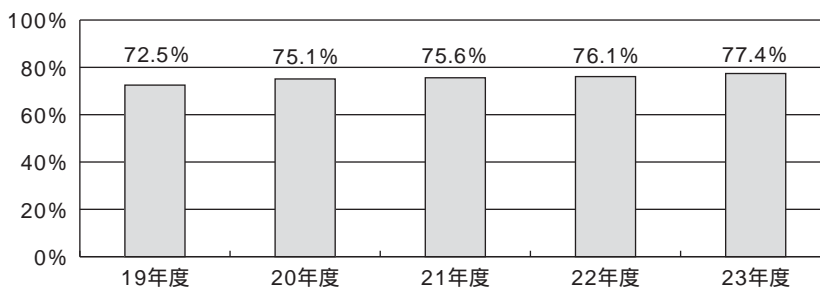
内 容		平成22年度	平成23年度
東三河5市企業誘致 推進連絡会議	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業展への出展 22.6.16～18 東京ビッグサイト</li> <li>メッセナゴヤ出展 22.10.27～30 ポートメッセ名古屋</li> <li>ものづくりフェア出展 22.11.26、27 豊橋市総合体育館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業展への出展 23.10.5～7 インテックス大阪</li> <li>メッセナゴヤ出展 23.11.9～12 ポートメッセ名古屋</li> </ul>

(2) 企業立地促進奨励金 423,103,000 円

奨 励 金	平成22年度		平成23年度	
	63件	457,728,000円	62件	423,103,000円

[ 指 標 ]

指 標 名：事業所用地分譲率  
 指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 観 光 費	145,681,537	18,953,790	0	3,751,382	122,976,365

1 観光宣伝事業費 32,954,311円(観光振興課)<情報の発信>

[総括]

本市の魅力ある観光資源・施設への集客を促すため、雑誌・新聞などによる情報発信や情報プラザを利用したPR活動を行った。また、伊勢湾フェリーの活用をはじめ、観光産業創出のための外国人誘致を主体としたプロモーションに関する調査研究を財団法人地方自治研究機構と共同で実施した。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

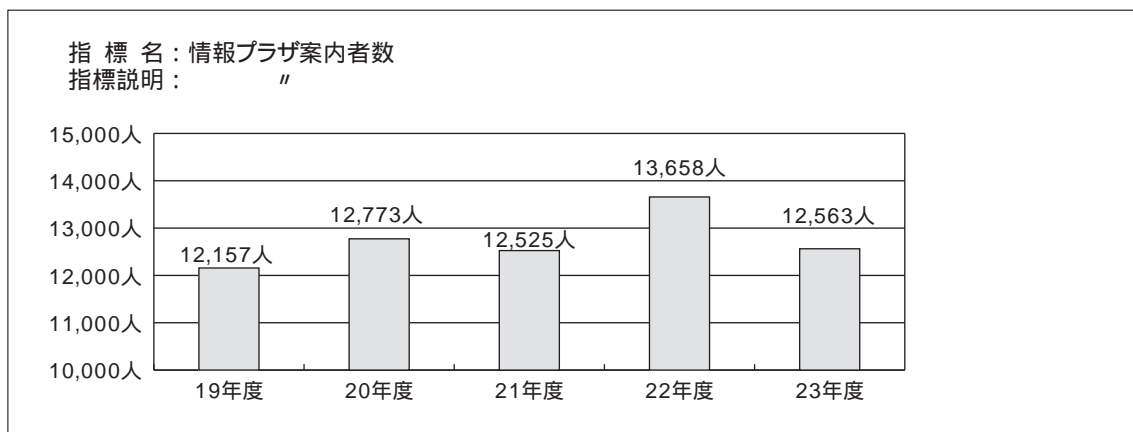
(1) 観光PR活動推進事業費 25,839,573円

豊橋市への来訪者数	平成22年度	平成23年度	比較
	延 2,700,615人	延 2,536,459人	6.1%

(2) 情報プラザ運営事業費 7,114,738円

案内者数	平成22年度	平成23年度	比較
	延 13,658人	延 12,563人	8.0%

[指標]



2 まつり・イベント支援事業費 71,239,869円(観光振興課)<観光資源の魅力づくり>

[総括]

多くの人々を集めるとともに、交流人口の拡大によって観光振興や地域の活性化を図るため、豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりなどの各種まつり・イベントの開催を支援した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 8,239,869 円

行 事 内 容		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	
春まつり	さくらまつり	期 間	22.4.1～4.8 23.3.24～3.31 (16日間)	23.4.1～4.10 24.3.27～3.31 (15日間)
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約46,000人	約30,500人
	つつじまつり	期 間	22.4.19～5.7 (19日間)	23.4.18～5.6 (19日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	23.1.22～3.6 (44日間)	23.1.28～3.18 (50日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約40,000人	約42,000人
		補 助 金	3,524,385円	4,539,869円
花しょうぶまつり	期 間	22.5.26～6.16 (22日間)	23.5.25～6.15 (22日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約195,000人	約193,000人	
	補 助 金	3,700,000円	3,700,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 48,000,000 円

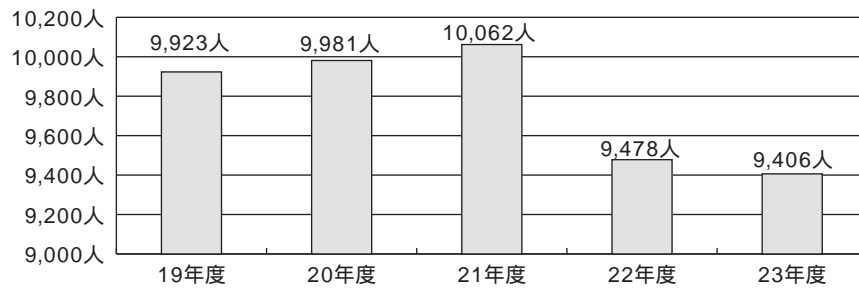
区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
開 催 日	22.10.16～17	23.10.15～16
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 11会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 10会場
行 事 数	28行事	31行事
総 人 出 数	約540,000人	約495,000人
総 参 加 団 体 数	約520団体	約550団体
補 助 金	45,000,000円	48,000,000円

(3) 炎の祭典開催費補助金 15,000,000 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
開 催 日	22.9.11	23.9.10
場 所	豊橋球場及びその周辺	豊橋球場及びその周辺
来 場 者 数	約55,000人	約55,000人
補 助 金	15,000,000円	15,000,000円

[ 指 標 ]

指 標 名 : 豊橋まつり総おどり参加者数  
指 標 説 明 : "



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	15,194,128,565	2,020,097,135	1,755,100,000	797,304,778	10,621,626,652
1 項 道 路 橋 梁 費	3,721,922,994	432,867,461	573,200,000	290,363,088	2,425,492,445
1 目 道 路 橋 梁 総 務 費	1,157,406,675	0	0	264,412,526	892,994,149

1 幹線道路建設促進対策事業費 2,392,198 円(道路建設課) < 広域幹線道路の整備 >

[ 総 括 ]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対する要望活動等を積極的に行った。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化して、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,792,900 円

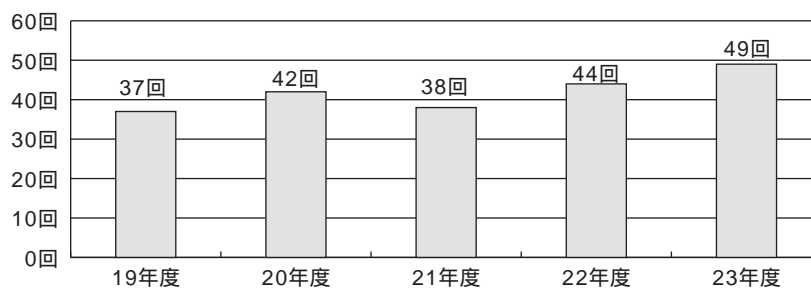
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動・研修会の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
中 部 国 道 協 会	総会・意見交換会・要望活動の実施	総会・意見交換会・要望活動の実施

(2) 国道 23 号線豊橋・豊橋東バイパス建設促進協議会補助金 599,298 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
補 助 金	595,172円	599,298円

[ 指 標 ]

指 標 名：各種協議会としての活動回数  
 指標説明："



2 自由連絡通路等管理事業費 167,028,173 円(土木管理課) < 安全で快適な交通環境の保全 >

[ 総 括 ]

豊橋駅・二川駅及びその駅周辺施設の利用者が安全・快適に利用できるよう、自由連絡通路等を維持管理した。また、省電力化、メンテナンスコストの削減を図るため豊橋駅東西自由連絡通路天井部分の蛍光灯照明を L E D 照明に更新した。今後も、施設の適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 150,923,814 円

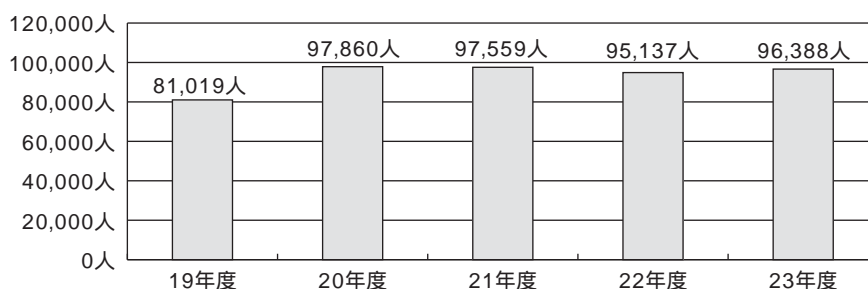
1日当たりの利用者数	平成22年度	平成23年度	比較
		90,271人	91,342人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,104,359 円

1日当たりの利用者数	平成22年度	平成23年度	比較
		4,866人	5,046人

[指標]

指標名：豊橋駅・二川駅1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数/日数



3 自転車等駐車場管理運営事業費 96,672,718 円（土木管理課）＜安全で快適な交通環境の保全＞

[総括]

豊橋駅及び二川駅周辺において、安心して自転車等を預けられる施設として自転車等駐車場を指定管理者制度を活用し運営及び維持管理を行った。また、豊橋駅東口自転車等駐車場において、一部の二段ラックを撤去し、大型車両・後かご付車両が駐車できるスペースの確保を行った。今後も施設の適正な維持管理を行い、安心して利用できる施設をめざす。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 4,200 台 61,488,010 円

区分		平成22年度	平成23年度	比較
1日平均利用台数		2,774台	2,834台	2.2%
自転車	定期	2,183	2,251	3.1
	一時	313	295	5.8
ミニバイク	定期	224	237	5.8
	一時	54	51	5.6



(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300台 25,338,850円

区 分		平成22年度	平成23年度	比 較
1日平均利用台数		999台	996台	0.3%
自 転 車	定 期	751	749	0.3
	一 時	160	147	8.1
ミニバイク	定 期	74	89	20.3
	一 時	14	11	21.4

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 9,845,858円

(ア) 自転車・ミニバイク 収容台数 370台

区 分		平成22年度	平成23年度	比 較
1日平均利用台数		440台	449台	2.0%
自 転 車	定 期	305	315	3.3
	一 時	74	73	1.4
ミニバイク	定 期	45	46	2.2
	一 時	16	15	6.3

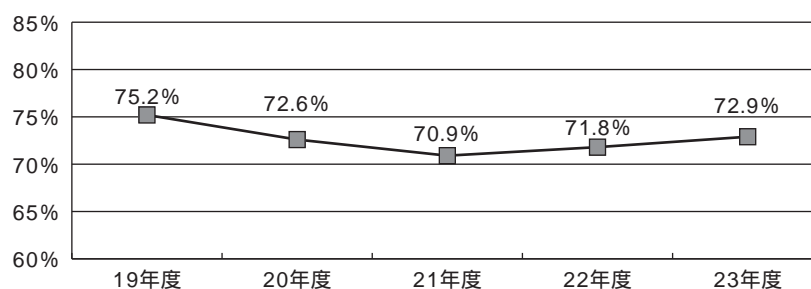
(イ) 自動車 収容台数 10台

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
1日平均利用台数	12台	12台	0.0%

[ 指 標 ]

指 標 名：自転車等駐車場稼働率

指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数 / 収容台数



4 道水路地理情報システム開発事業費 92,000,000円（土木管理課）＜その他＞

[ 総 括 ]

建設部における道路・水路に関する情報をデジタル図面で共有し、必要な情報を正確かつ迅速に提供できる「道水路地理情報システム」を平成26年度本稼働に向け開発中である。23年度は実施計画に基づき認定及び認定外路線図、道路台帳現況平面図、道路台帳図のデータや、施設台帳を作成した。今後も開発スケジュールに遅れが出ることのないよう進捗管理を徹底していく。

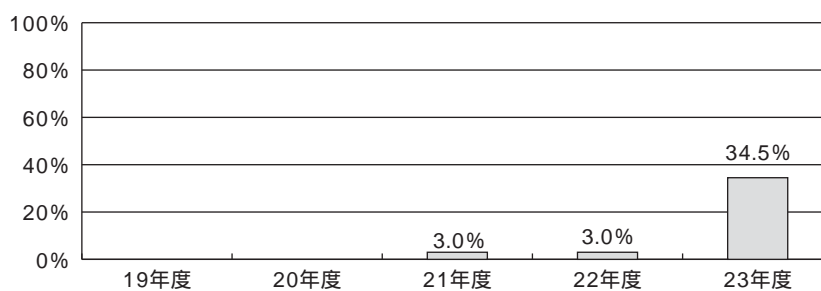
[ 実績及び成果 ]

(1) 道水路地理情報システム開発事業費 92,000,000 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
内 容		データ作成 認定及び認定外路線図 道路台帳現況平面図 道路台帳図 施設台帳作成

[ 指 標 ]

指 標 名：道水路地理情報システム開発事業費進捗率  
 指標説明：累積直接事業費 / 全体累積事業費(平成21年度～25年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 道 路 費	646,550,997	20,498,461	0	9,760,812	616,291,724

1 道路施設等維持管理事業費 361,818,193 円(道路維持課) <安全で快適な交通環境の保全>

[総括]

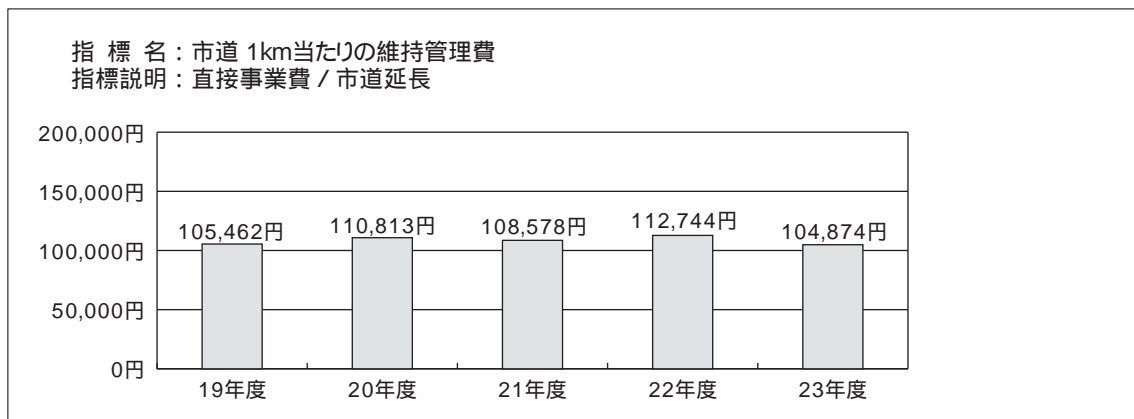
道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行い、生活道路を通行に支障のない状態に保った。今後も修繕等の迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 361,818,193 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
道 路 清 掃	139路線 延長 1,358.5km	141路線 延長 848.1km
道 路 側 溝 清 掃	115か所 " 12,460m	90か所 " 12,982m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
用 地 取 得	面積 11.96㎡	

[指標]



2 道路等維持改良事業費 254,473,531 円(道路維持課) <安全で快適な交通環境の保全>

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図り、また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

(1) 路面排水整備工事費 247,718,197 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
路 面 排 水	市内一円 延長 8,569m	市内一円 延長 8,780m
	市街地 " 330 雨水浸透型側溝等設置	市街地 " 272 雨水浸透型側溝等設置

(2) 道路維持改良工事費

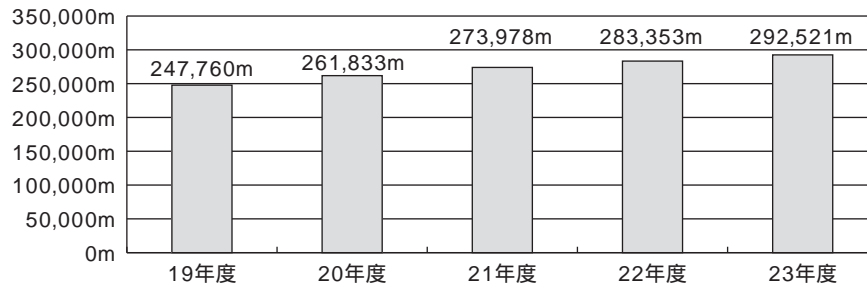
6,755,334 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
道 路 維 持 改 良	3 件 延長 476m	1 件 延長 116m
用 地 取 得	面積 87.4m <sup>2</sup>	

[ 指 標 ]

指 標 名 : 道路等維持改良工事完了総延長

指 標 説 明 : 路面排水工事 + 道路維持改良工事完了総延長



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 舗装事業費	596,621,750	36,007,000	265,200,000	2,646,850	292,767,900

1 道路舗装事業費 596,621,750円(道路維持課) <安全で快適な交通環境の保全>

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

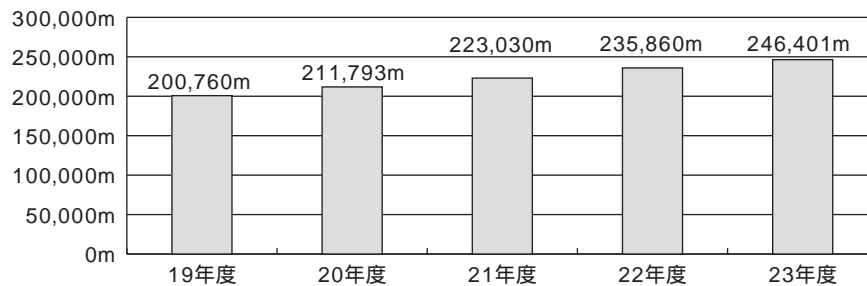
[実績及び成果]

(1) 道路舗装事業費 596,621,750円

内 容	平成22年度		平成23年度	
	延長	面積	延長	面積
舗装新設	1,308m	3,878㎡	2,353m	5,890㎡
舗装改良	12,830	75,884	10,541	57,991
舗装修繕		28,707		31,300

[指標]

指標名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)  
 指標説明："



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目	交通安全施設等整備事業費	558,136,251	41,644,000	69,100,000	5,072,100	442,320,151

1 交通安全施設整備事業費 169,028,268 円(道路建設課) <交通安全施設などの整備>

[総括]

自転車道等設置事業については、横須賀町9号線の整備が完了し、新たに石巻西川町・石巻中山町1号線の整備に着手し、適切な道路の安全確保に努めた。また、単独交通安全施設整備事業については3路線の整備を行った。今後も道路状況や地元要望等を検討し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

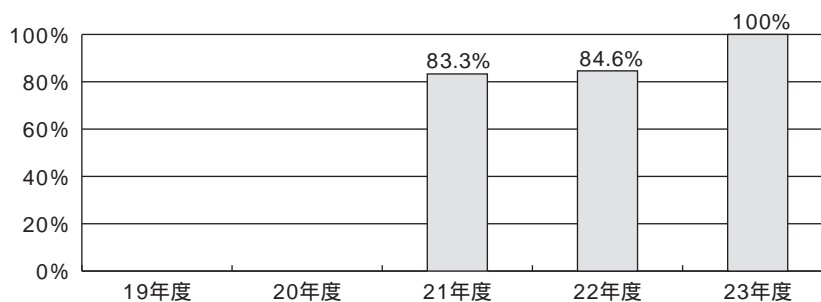
[実績及び成果]

- (1) 事故危険箇所対策事業費 5,890,500 円  
(国庫補助事業 5,860,000 円 市単独事業 30,500 円)

内 容	平成22年度	平成23年度
交差点カラー標示等	1か所	4か所

[指標]

指標名：事故危険箇所対策事業進捗率  
指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成21年度～23年度)

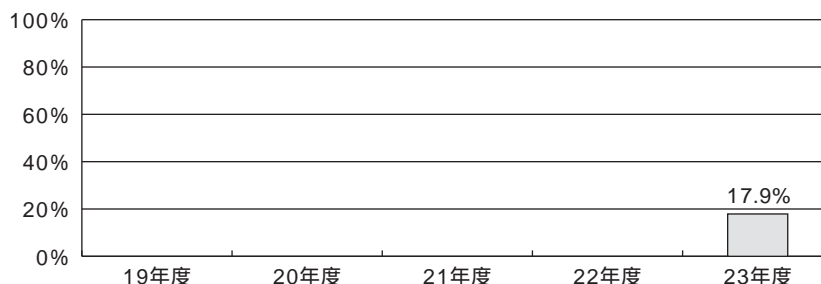


- (2) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 59,635,240 円  
(国庫補助事業 56,220,000 円 市単独事業 3,415,240 円)

内 容	平成22年度	平成23年度
自転車道等設置		用地 1,935.47㎡ 補償 建物等

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率  
指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成23年度～27年度)



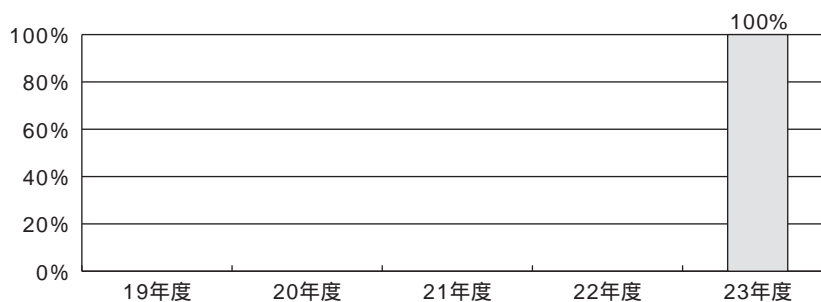
(3) 大岩町 207 号線歩道設置事業費 11,086,950 円

( 県費補助事業 11,000,000 円 市単独事業 86,950 円 )

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
歩 道 設 置		延 長 150m

[ 指 標 ]

指 標 名 : 大岩町207号線歩道設置事業進捗率  
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成23年度)



(4) 単独交通安全施設整備事業費 45,743,478 円

(ア) 測量調査費

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	路線測量調査設計等 石巻西川町・石巻中山町1号線ほか	

(イ) 工 事 費

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
自転車道等設置		延 長 245m
歩 道 設 置	延 長 345m	" 102
交 差 点 改 良		1 か所

(ウ) 用 地 費

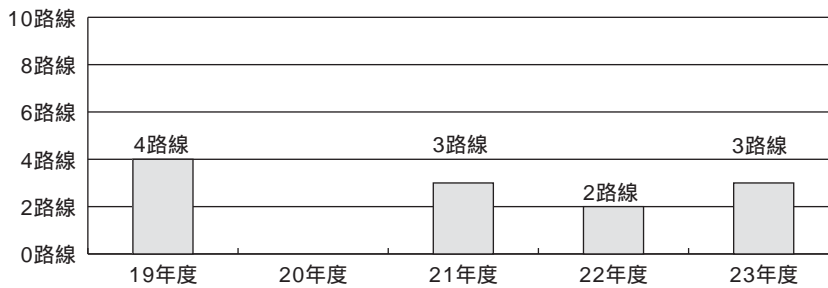
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

(エ) 補 償 費

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 指 標 ]

指 標 名：単独交通安全施設整備路線数  
 指標説明： ”

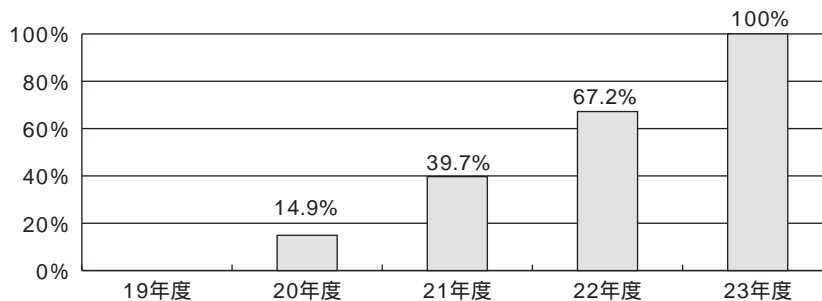


- (5) 横須賀町9号線自転車道等設置事業費 46,672,100 円  
 ( 地方特定道路整備事業 46,315,100 円 市単独事業 357,000 円 )

内 容	平成22年度	平成23年度
自転車道等設置	延 長 263m 用 地 182.01㎡ 補 償 立木等	車道舗装工、道路付属物工 用地境界杭設置

[ 指 標 ]

指 標 名：横須賀町9号線自転車道等設置事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成20年度～23年度)





2 交通安全施設維持改良事業費 389,107,983 円（道路維持課）＜交通安全施設などの整備＞

[ 総 括 ]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[ 実績及び成果 ]

(1) 交通安全施設改良事業費 228,418,323 円

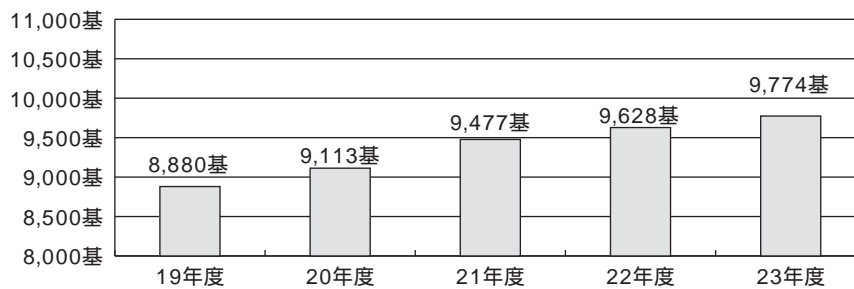
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
道路照明灯設置	40～180W 180基	40～180W 170基
交差点等安全カラー標示	24か所	28か所
交差点等安全対策	30	17
防護柵設置	延長 1,140m	延長 2,500m
道路反射鏡設置	185基	150基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 77,198m	延長 81,260m
横断歩道橋修繕		塗装修繕等
生活環境改善		照明灯・反射鏡

(2) 交通安全施設維持事業費 160,689,660 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
道路照明灯塗装修繕	35基	19基

[ 指 標 ]

指 標 名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数  
 指標説明："



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目	市 町 村 道 整 備 事 業 費	599,177,571	301,993,000	222,200,000	0	74,984,571

1 幹線市道整備事業費 599,177,571 円 (道路建設課) < 幹線道路の整備 >

[ 総 括 ]

西幸町・高田町10号線や、大岩町・小松原町55号線、明海町・老津町21号線の事業進捗を図り、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、国庫補助事業等を活用して幹線道路の整備を進めた。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

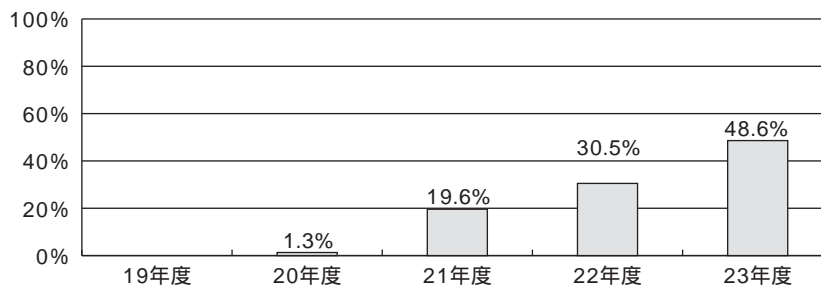
[ 実績及び成果 ]

- (1) 西幸町・高田町10号線整備事業費 229,258,279 円  
 (国庫補助事業 206,360,000 円 市単独事業 22,898,279 円)

内 容	平成22年度	平成23年度
道 路 改 良 ( 第 2 工 区 )	用 地 1,197.98㎡ 補 償 建物等	延 長 172m 用 地 510.73㎡ 補 償 建物等

[ 指 標 ]

指 標 名 : 西幸町・高田町10号線整備事業進捗率(第2工区)  
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成20年度～25年度)

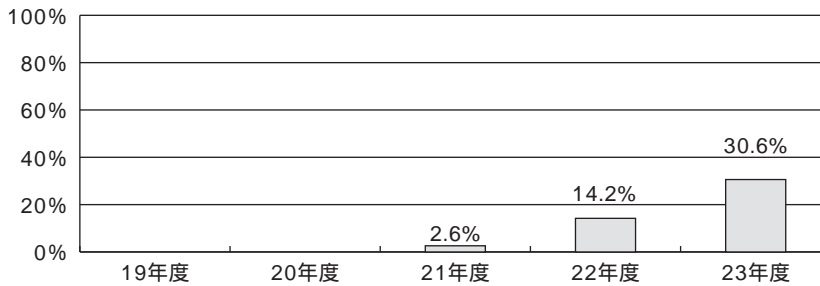


- (2) 大岩町・小松原町55号線整備事業費 147,046,038 円  
 (国庫補助事業 127,100,000 円 市単独事業 19,946,038 円)

内 容	平成22年度	平成23年度
道 路 改 良 ( 第 2 工 区 )	路線測量調査設計等 用 地 2,121.14㎡ 補 償 建物等	延 長 56m 用 地 3,515.62㎡ 補 償 建物等

[ 指 標 ]

指 標 名 : 大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第2工区)  
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成21年度～26年度)

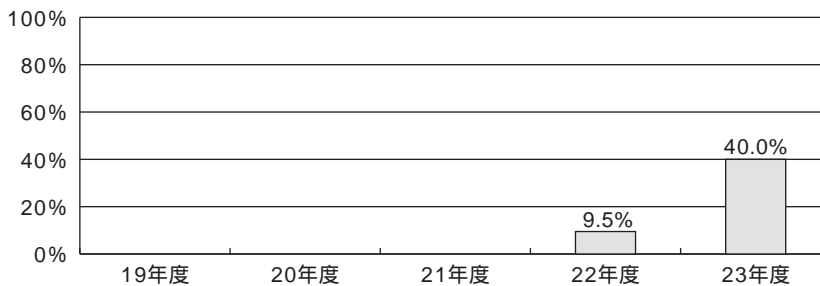


- (3) 明海町・老津町21号線整備事業費 222,873,254 円  
 (国庫補助事業 215,619,000 円 市単独事業 7,254,254 円)

内 容	平成22年度	平成23年度
道 路 改 良	測量調査 用地 863.90㎡	延 長 128m 用 地 3,286.55㎡ 補 償 工作物等

[ 指 標 ]

指 標 名 : 明海町・老津町21号線整備事業進捗率  
 指標説明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費 (平成22年度～24年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 橋 梁 費	149,562,850	32,725,000	16,700,000	8,470,800	91,667,050

1 橋梁整備事業費 149,562,850 円(道路建設課) <安全で快適な交通環境の保全>

[総括]

平成13・14年度に実施した耐震調査に基づき、跨線橋・跨道橋及び1・2級市道などに架かる長大橋のうち1橋の耐震補強工事を実施した。また、単独橋梁整備事業は予定通り事業が進捗できた。今後も事業推進に向けて国庫補助金等の財源確保を図るとともに、23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、計画的に修繕・改築を行っていく。

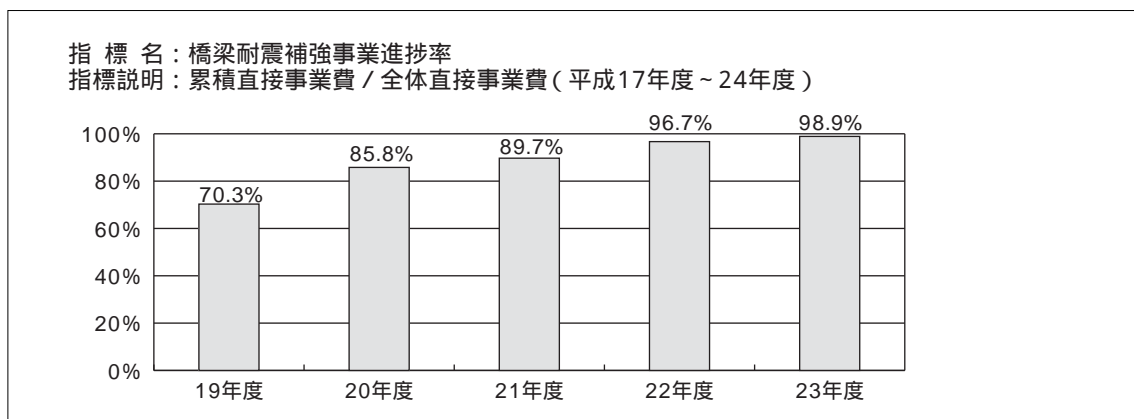
[実績及び成果]

(1) 橋梁耐震補強事業費 41,500,000 円

(国庫補助事業 41,500,000 円)

内 容	平成22年度	平成23年度
耐 震 補 強	橋脚補強工 6橋	橋脚補強工 1橋

[指標]



(2) 単独橋梁整備事業費 89,692,050 円

(ア) 点検調査費

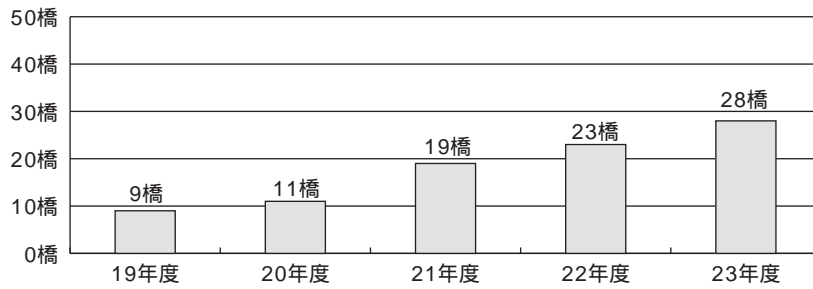
内 容	平成22年度	平成23年度
橋梁点検調査等	水神橋始め182橋	栗八名橋始め143橋
橋梁設計調査等		新川橋、下狭間橋

(イ) 工事費

内 容	平成22年度	平成23年度
修 繕	高欄修繕、塗装工等	断面修復工、塗装工等
改 築		橋梁改築工等

[ 指 標 ]

指 標 名：単独橋梁整備数  
 指標説明： ”

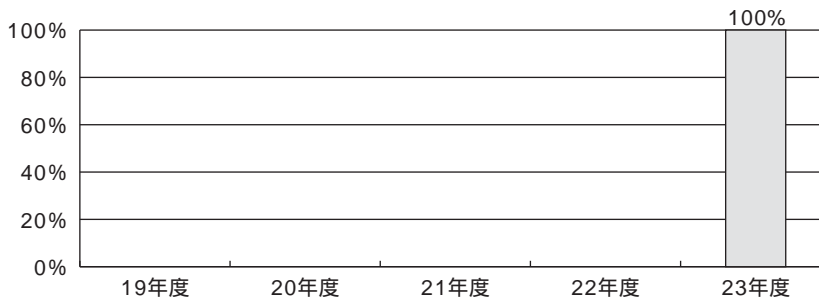


(3) 橋梁長寿命化修繕事業費 18,370,800 円  
 ( 国庫補助事業 18,000,000 円 市単独事業 370,800 円 )

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	橋梁長寿命化修繕計画策定	橋梁長寿命化修繕計画策定

[ 指 標 ]

指 標 名：橋梁長寿命化修繕事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費 ( 平成22年度～23年度 )



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 道路環境整備費	14,466,900	0	0	0	14,466,900

1 道路環境整備事業費 14,466,900円(道路維持課) <安全で快適な交通環境の保全>

[総括]

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差の解消を図った。今後も、歩きにくい歩道の改善に努める。

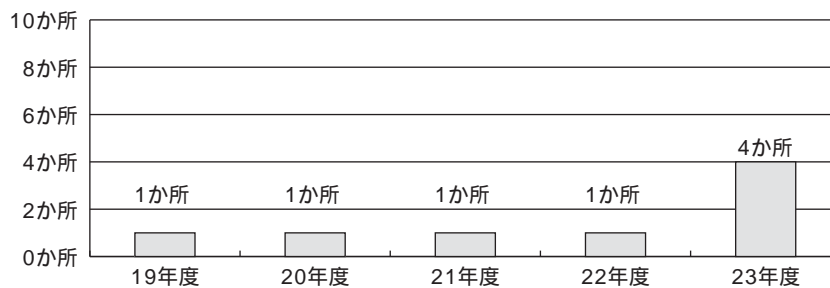
[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 14,466,900円

内 容	平成22年度	平成23年度
		1か所

[指標]

指標名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数  
 指標説明："



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,074,410,341	128,213,246	66,600,000	63,658,362	815,938,733
1目 河 川 総 務 費	169,738,965	0	0	7,543,575	162,195,390

1 土砂災害対策事業費 1,912,470円(河川課) <土砂災害対策の推進>

[総括]

土石流・がけ崩れなどの土砂災害から市民の生命と財産を守るため、県が行う急傾斜地崩壊防止工事等に対し負担金を支出した。今後も地元住民の要望に基づき、事業の進捗を県に働きかける。

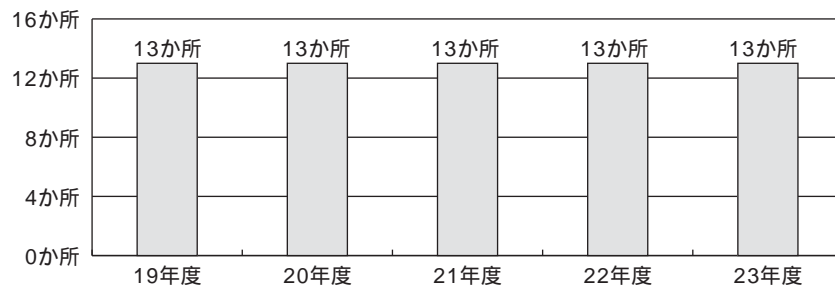
[実績及び成果]

(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 1,912,470円

事業主体	区 分	平成22年度	平成23年度
愛知県	地 区 名	杉山町屋敷	杉山町屋敷
	事 業 費	1,214,540円	19,124,700円
	市 負 担 分	121,454	1,912,470

[指標]

指標名：急傾斜地崩壊防止施工箇所数  
指標説明："



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 河 川 費	688,381,676	88,648,096	0	34,352,677	565,380,903

1 河川水路等維持管理事業費 397,502,283 円(河川課) < 浸水対策の推進・親しまれる水辺づくり >

[ 総 括 ]

河川を市民の憩う場とし、自然豊かな水辺を創造するとともに、浸水被害を軽減するため、河川水路等及び排水機場等の所管施設の維持整備を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により水辺環境の整備を推進するとともに、所管施設が正常に機能するよう維持管理に努める。

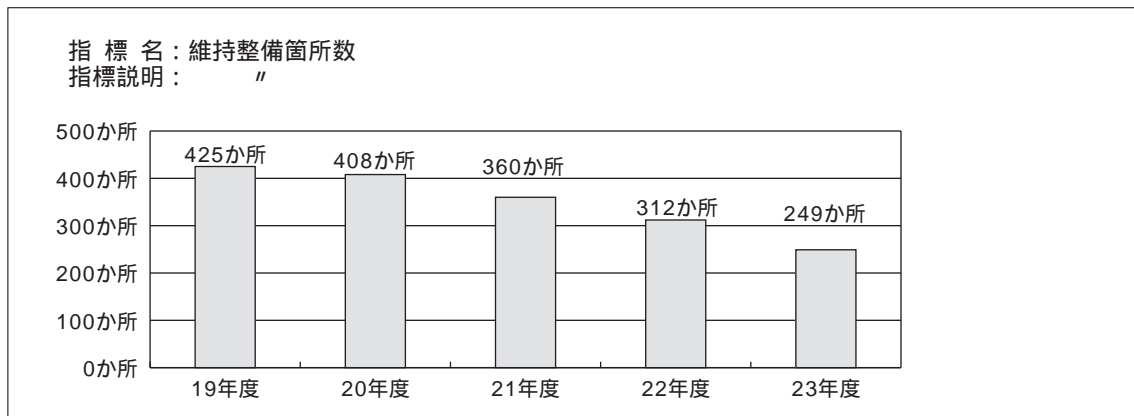
[ 実績及び成果 ]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 38,780,427 円
- (2) 排水機場維持管理事業費 68,948,182 円
- (3) 樋門等操作委託事業費 1,933,601 円
- (4) 河川付属施設維持管理事業費 22,710,767 円
- (5) 河川測量登記委託事業費 31,949,168 円
- (6) 維持整備事業費 233,074,114 円

内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
補 修	162か所		117か所	
除 草	95	87,877m <sup>2</sup>	66	80,477m <sup>2</sup>
浚 渫	55	2,634m <sup>3</sup>	66	2,826m <sup>3</sup>

- (7) 河川等公共物占用許可事務費 106,024 円

[ 指 標 ]



2 河川水路等改良事業費 290,879,393 円(河川課) < 浸水対策の推進 >

[ 総 括 ]

河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。また、県補助事業を活用し、境松川の改良工事や用地取得を行った。今後も県補助金等の確保により、事業の早期完了を図る。



[実績及び成果]

(1) 境松川改理事業費 93,000,000 円

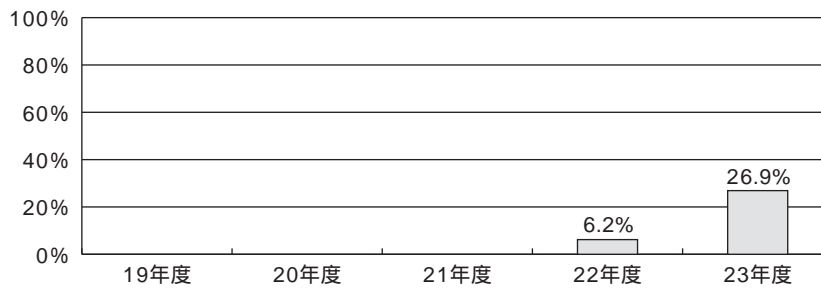
(県費補助事業 93,000,000 円)

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
河 川 改 良	工 事 延長 52m 用地取得 面積 1,036.80㎡	工 事 延長 174m 用地取得 面積 34.69㎡

[指 標]

指 標 名：河川改良進捗率

指標説明：改良済延長 / 全体改良延長(平成20年度～25年度)



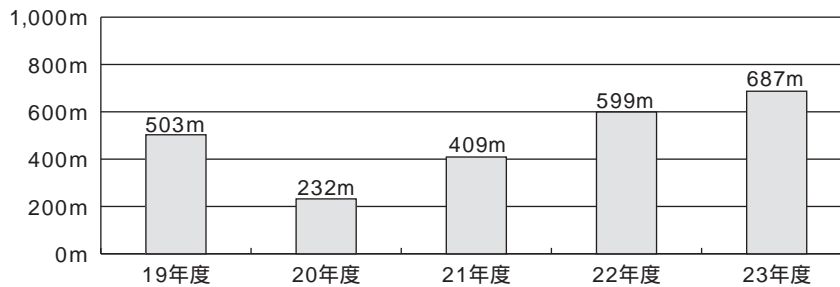
(2) 河川改理事業費 160,803,428 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
河 川 改 良	工 事 延長 599m	工 事 延長 687m

[指 標]

指 標 名：河川改良整備延長

指標説明："

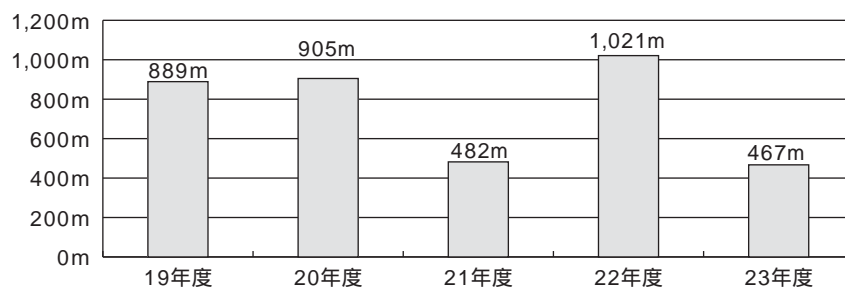


(3) 水路改理事業費 34,493,970 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
水 路 改 良	工 事 延長 1,021m	工 事 延長 467m

[ 指 標 ]

指 標 名 : 水路改良整備延長  
 指標説明 : "



(4) 水路改良受託事業費 2,581,995 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
用 地 取 得	面 積 180.71㎡	面 積 93.09㎡

科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 河川環境整備費	216,289,700	39,565,150	66,600,000	21,762,110	88,362,440

1 大雨浸水対策事業費 98,605,700円(河川課) < 浸水対策の推進 >

[ 総 括 ]

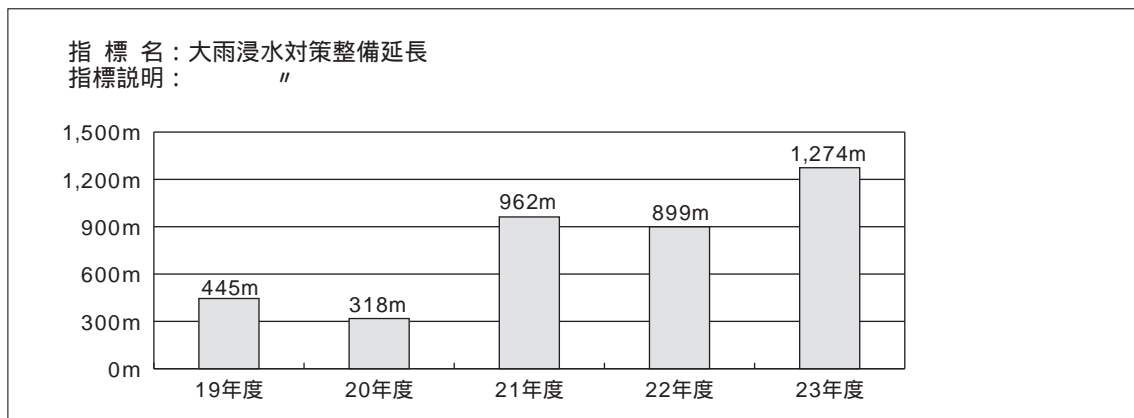
都市化の進展に伴う流域環境の変化による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) 大雨浸水対策事業費 98,605,700円

内 容	平成22年度	平成23年度
水 路 改 良	工 事 延長 899m 補 償 水道管	工 事 延長 1,274m 補 償 水道管

[ 指 標 ]



2 流域貯留浸透事業費 117,684,000円(河川課) < 浸水対策の推進 >

[ 総 括 ]

集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、二級河川柳生川流域の向山大池及び豊小学校において、雨水流出抑制対策を行った。今後も国庫補助金の確保により事業の進捗を図る。

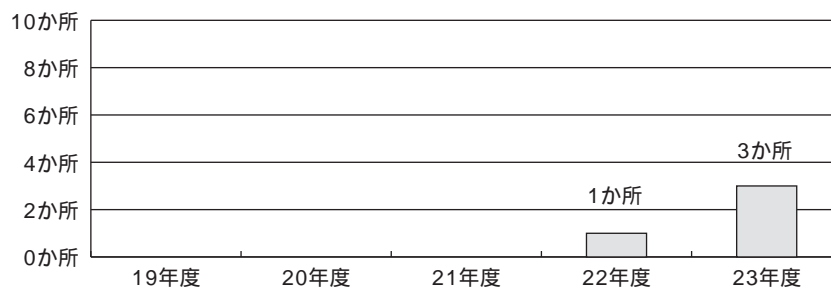
[ 実績及び成果 ]

(1) 流域貯留浸透事業費 117,684,000円  
(国庫補助事業 116,130,300円 市単独事業 1,553,700円)

内 容	平成22年度		平成23年度	
貯 留 施 設 整 備	貯留施設工	2 箇所	貯留施設工	2 箇所
	調査測量設計	3 箇所	調査測量設計	3 箇所

[ 指 標 ]

指 標 名 : 雨水貯留浸透施設設置数  
指 標 説 明 : "



科目	決算額等 決算額（円）	財 源 内 訳（円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	1,428,959,611	384,998,858	345,400,000	313,502,338	385,058,415
1目 建 築 総 務 費	331,051,584	26,957,023	0	22,252,810	281,841,751

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 912,054 円（建築指導課）＜人にやさしいまちづくりの推進＞

〔総括〕

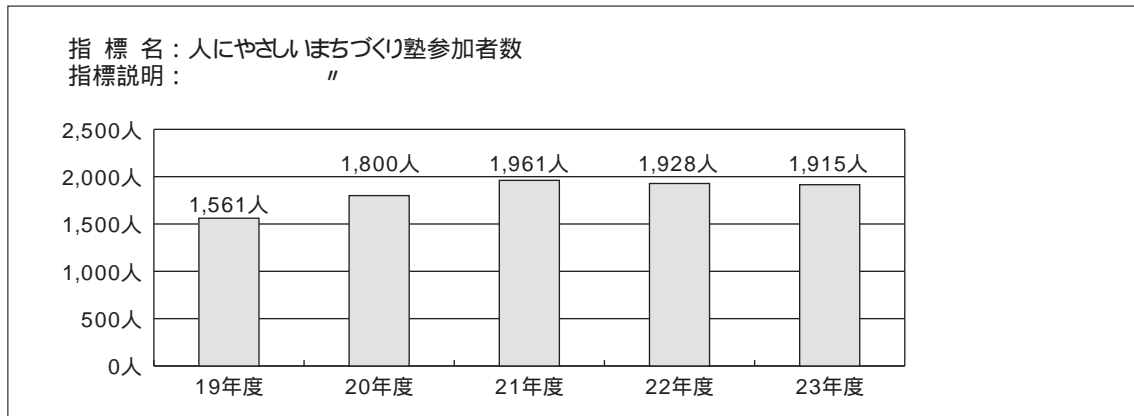
人にやさしいまちづくりを推進するため、アドバイザーグループの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校で開催した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、バリアフリーの必要性等の啓発を進めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 912,054 円

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
啓 発 事 業 開 催 回 数	30回	32回	6.7%

〔指 標〕



2 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 9,222,000 円（住宅課）＜居住の安定確保＞

〔総括〕

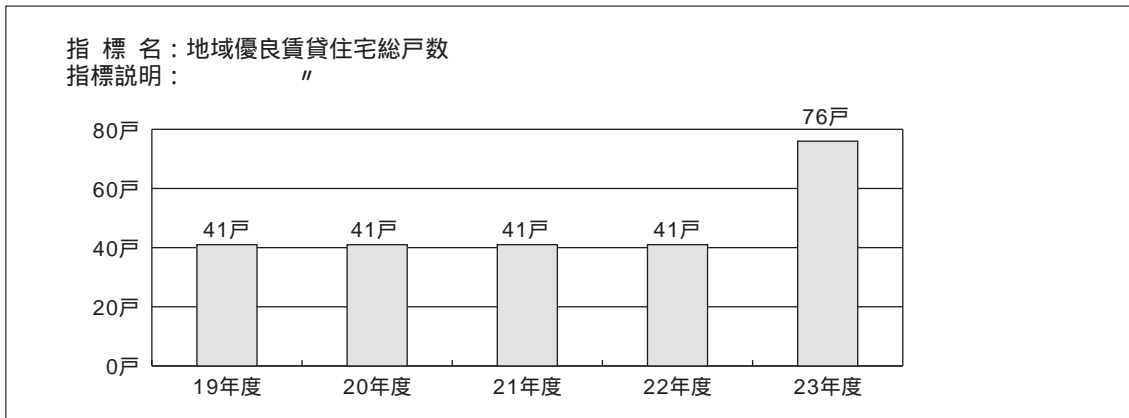
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅（高齢者型）整備の補助を行った事業者に対して、家賃補助及び整備事業費の利子補給を実施した。今後もこの制度を活用した民間事業者による地域優良賃貸住宅の拡充を進める。

〔実績及び成果〕

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 9,222,000 円

内 容	平成22年度	平成23年度
家 賃 対 策 補 助 金	7,070,000円	7,547,000円
利 子 補 給 補 助 金	1,796,000	1,675,000

[ 指 標 ]



3 住宅マスタープラン策定事業費 5,112,736 円（住宅課）＜居住の安定確保＞

[ 総 括 ]

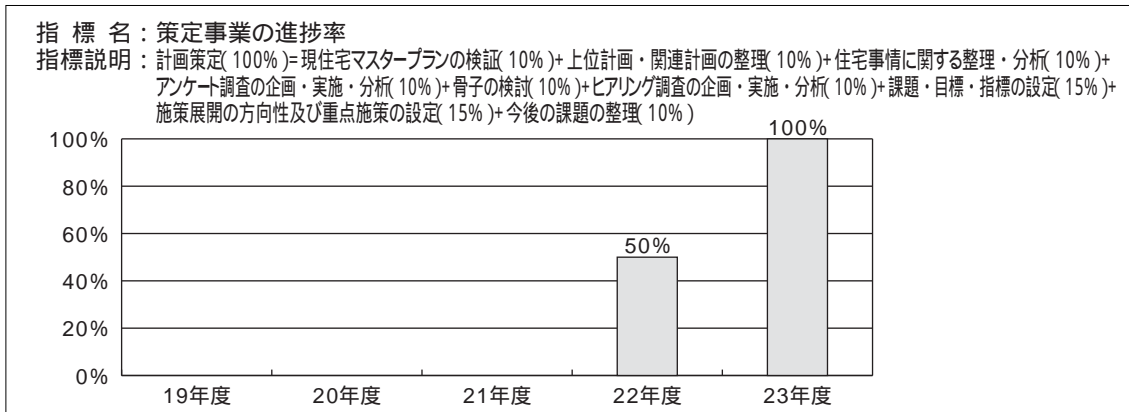
平成 22 年度に実施した住宅に関するアンケートやヒアリング結果の分析のほか、基本目標や施策、指標の設定を行い、24 年度から施行する「豊橋市住宅マスタープラン」を策定した。今後はプランを基に庁内推進会議を設置し、各種の住宅施策に取り組む。

[ 実績及び成果 ]

(1) 住宅マスタープラン策定事業費 5,112,736 円

	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
内 容	住宅マスタープラン策定基礎調査 ヒアリング調査の実施 アンケート調査の実施 住宅マスタープラン策定委員会の開催（2 回）	ヒアリング結果の分析 アンケート結果の分析 住宅マスタープラン策定委員会の開催（3 回） 住宅マスタープランの策定 本編、概要版の印刷

[ 指 標 ]



4 地域優良賃貸住宅整備事業補助金 40,674,000 円（住宅課）＜居住の安定確保＞

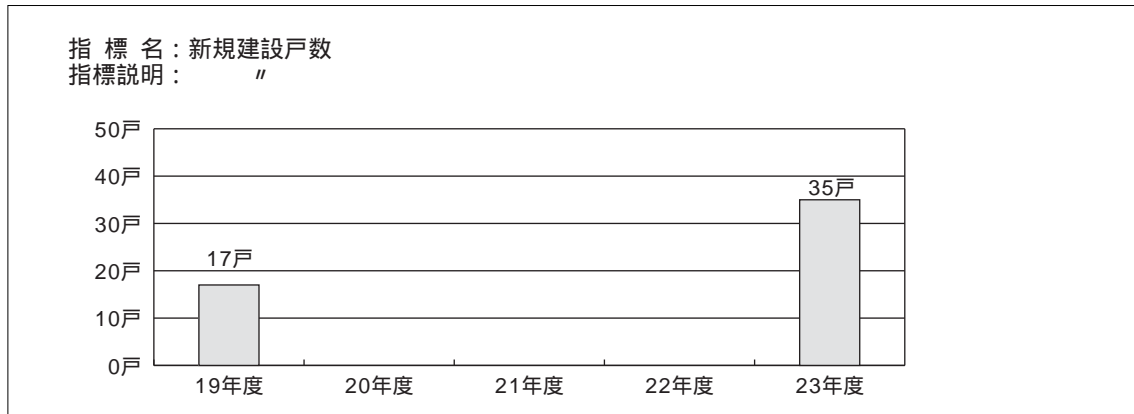
[ 総 括 ]

地域優良賃貸住宅（高齢者型）1棟を新たに建設した事業者に補助を行った。今後も高齢者向け住宅の供給促進に努める。

[ 実績及び成果 ]

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 指 標 ]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 建築指導費	6,924,786	0	0	563,000	6,361,786

1 共通事務費 6,924,786円(建築指導課)<その他>

[総括]

建築基準法による「確認申請」は、民間確認検査機関への移行が進み減少した。また、長期優良住宅の普及の促進に関する法律による「認定申請」は、制度の普及により増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

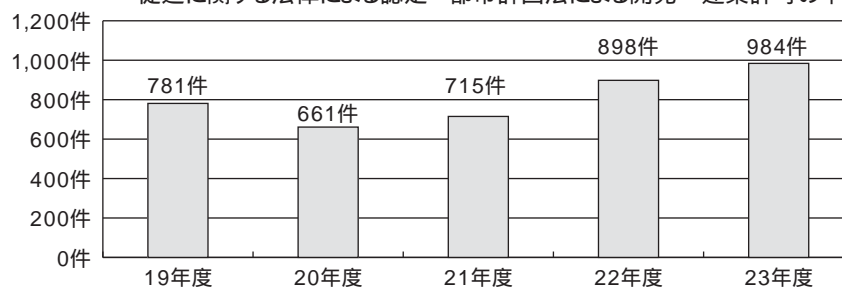
(1) 共通事務費 6,924,786円

種 別	区 分	受 付 件 数		比 較
		平成22年度	平成23年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	56件	36件	35.7%
	計 画 通 知	21	19	9.5
建築基準法による許可申請等	建 築 許 可 申 請	36	31	13.9
	仮使用承認申請	8	4	50.0
長期優良住宅の普及の促進に関する法律	認 定 申 請	474	613	29.3
都市計画法による許可申請等	開 発 許 可 申 請	21	28	33.3
	建 築 許 可 申 請	282	253	10.3

[指標]

指標名：建築確認申請等件数

指標説明：建築確認+計画通知+建築基準法による建築許可+仮使用承認+長期優良住宅の普及の促進に関する法律による認定+都市計画法による開発・建築許可の申請件数





科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 住宅管理費	540,115,089	47,184,835	146,300,000	290,686,528	55,943,726

1 住宅維持管理事業費 425,598,353円(住宅課) < 公営住宅の住宅環境向上 >

[ 総 括 ]

市営住宅の効率かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。今後も修繕コストの縮減に努めながら住宅の環境整備を進める。

[ 実績及び成果 ]

(1) 住宅管理事業費 201,903,421円

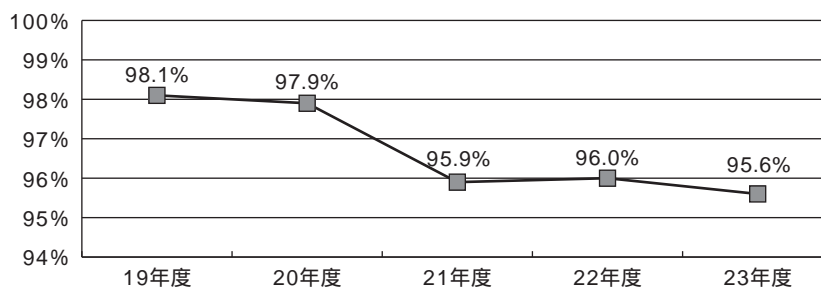
内 容	平成22年度	平成23年度
住宅管理戸数	4,164戸	4,139戸

(2) 住宅維持補修事業費 223,694,932円

工 事 内 容	平成22年度	平成23年度
屋 上 防 水	富本RC始め2住宅	才ノ神
受 水 槽 改 修	柳原	柳原
水 道 メ ー タ ー 取 替	西口始め7住宅	西口始め8住宅
手 す り 改 修	柳原	柳原
手 す り 設 置		新多米始め2住宅
エレベーターカメラ設置	東山始め2住宅	
電波障害設備撤去		才ノ神
駐 車 場 改 修		東山始め10住宅
自 転 車 置 場 設 置		柳原

[ 指 標 ]

指 標 名 : 市営住宅入居率  
 指標説明 : 延入居戸数 / ( 延管理戸数 - 延入居停止戸数 )



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公営住宅建設費	550,868,152	310,857,000	199,100,000	0	40,911,152

1 公営住宅建設事業費 523,140,764 円(住宅課) < 公営住宅の住宅環境向上 >

[ 総 括 ]

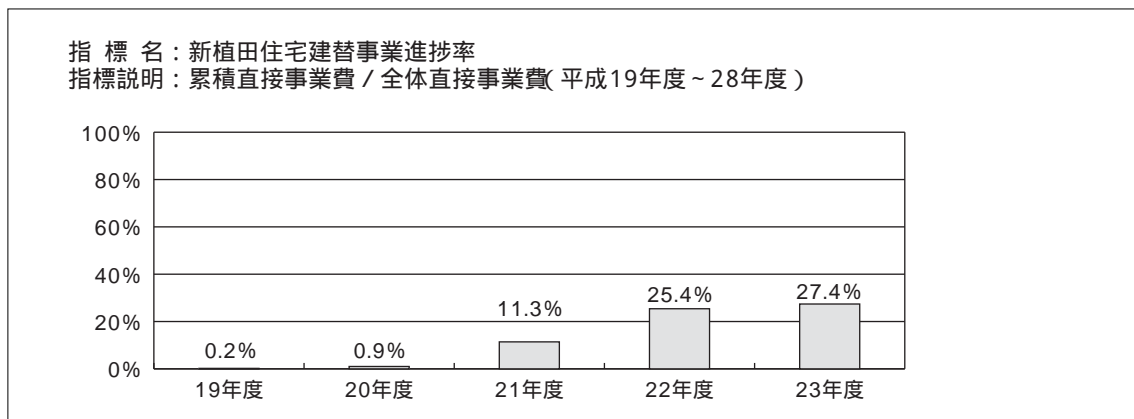
平成24年3月に南栄住宅建替工事(第1期)がしゅん工した。また、24年度に新植田住宅建設工事に着手するため、解体工事及び実施設計を行った。今後も建替事業の円滑な実施をめざす。

[ 実績及び成果 ]

(1) 新植田住宅建替事業費 39,661,617 円

内 容	平成22年度	平成23年度
	建設工事(第1期) 中層耐火構造 4階建 延床面積 2,295.43㎡ 建設年度 平成21~22年度 建設戸数 40戸	

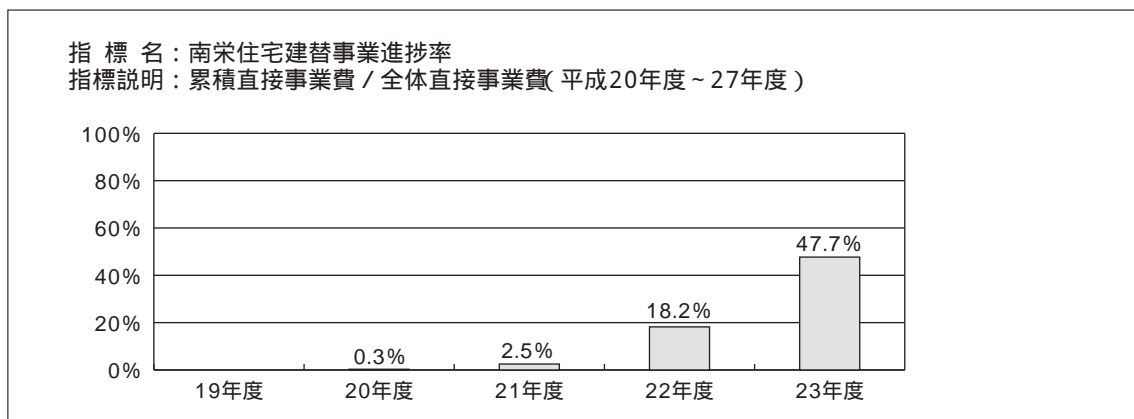
[ 指 標 ]



(2) 南栄住宅建替事業費 483,479,147 円

棟 数	構 造 等	摘 要
1 棟	中層耐火構造 5階建 延床面積 4,136.53㎡	建設年度 平成22~23年度 建設戸数 70戸(2DK 60戸、3DK 10戸)

[ 指 標 ]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	138,826,013	1,173,460	0	905,480	136,747,073
2目 港湾費	50,195,440	1,173,460	0	879,480	48,142,500

1 港湾関連対策事業費 23,016,201 円 (港湾活性課) < 総合物流機能の充実 >

[ 総 括 ]

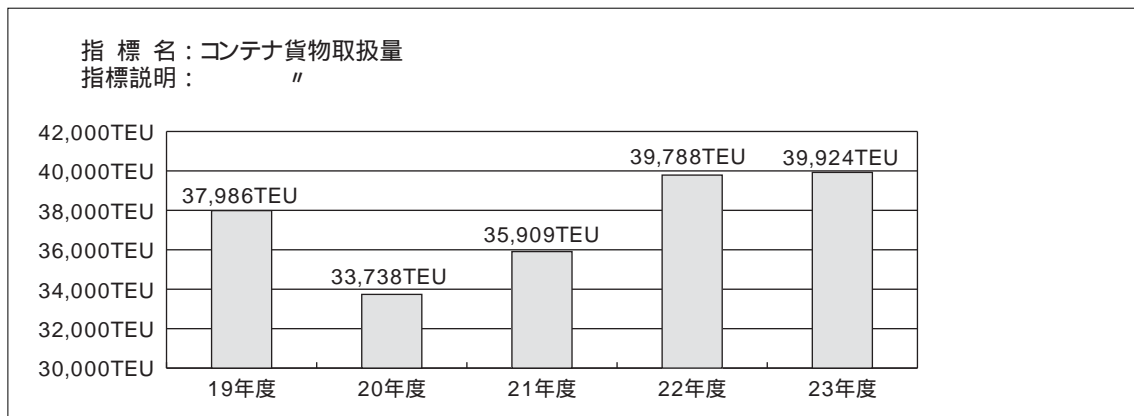
三河港の国際拠点港湾への昇格をめざし、三河港振興会が主体となり、インフラ整備及びコンテナターミナルの利用促進活動を行うとともに、物流セミナーへの出展などにより三河港の情報を全国に向け発信した。三河港を利用する企業に対しての助成金制度の実施や積極的なポートセールスを展開しコンテナ貨物取扱量の維持・増加を図った結果、平成 23 年度のコンテナ貨物取扱量は過去最高となった。今後も国際的な総合物流港湾として発展するために、物流基盤の整備促進活動と集荷活動を積極的に行っていく。

[ 実績及び成果 ]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,716,201 円
- (2) 三河港振興会負担金 17,300,000 円
- (ア) コンテナ委員会負担金 6,700,000 円

負 担 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		7,500,000円

[ 指 標 ]



TEU : twenty-foot equivalent unit (20 フィートコンテナ換算)

2 親しまれるみなとづくり推進事業費 5,314,420 円 (港湾活性課) < 親しみのあるみなとの形成 >

[ 総 括 ]

臨海部周辺の企業などと連携したイベントやポートインフォメーションセンターで開催する講座などを通じて、港の重要性や必要性を周知させるとともに、港にふれあう機会を創出するため、平成 22 年度よりみなとふれあい体験イベントの実施をはじめた。三河港を船上より見学したり、明海地区の工場見学などを行った。今後も三河港の特徴を PR しつつ、親しまれるみなとづくりを推進していく。

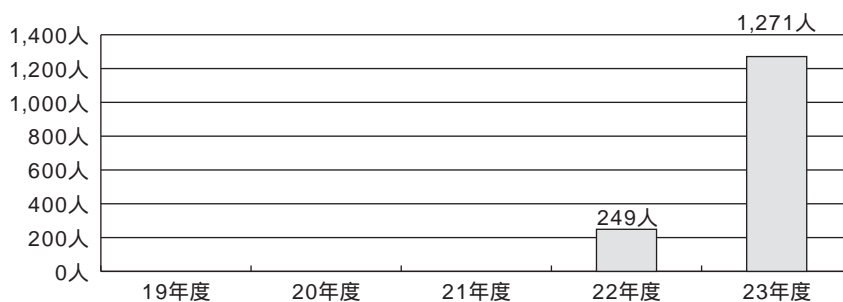
[ 実績及び成果 ]

- (1) 親しまれるみなとづくり推進事業費 5,314,420 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
イベント開催数	9回	11回
イベント参加者数	249人	1,271人

[ 指 標 ]

指 標 名：ふれあい体験イベント参加者数  
 指標説明： ”



3 ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,364,819 円（港湾活性課）＜親しみのあるみなとの形成＞

[ 総 括 ]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努め運営した。平成 23 年度は、展望室で快適に過ごしてもらう空間の創出など館内のリニューアルを行った。今後も適切なサービスの提供の実施により、利用者に親しまれる施設にしていく。

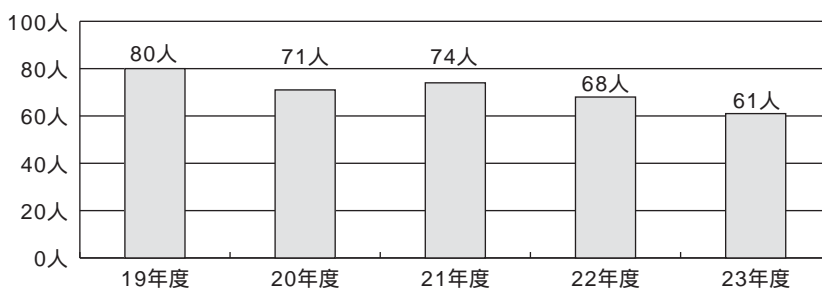
[ 実績及び成果 ]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 16,364,819 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
開 館 日 数	358日	360日	0.6%
利 用 者 数	延 24,321人	延 21,766人	10.5

[ 指 標 ]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数 / 開館日数



4 港イベント事業費

5,500,000 円（港湾活性課）＜親しみのあるみなとの形成＞

〔総括〕

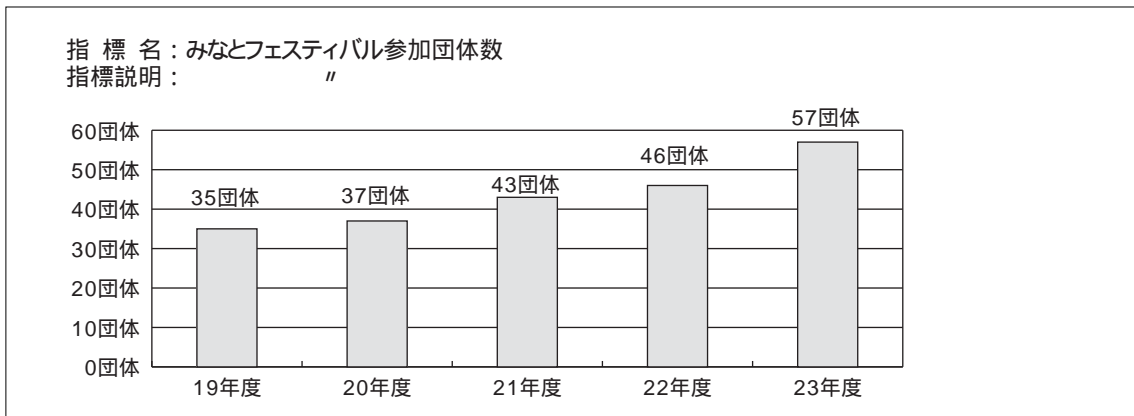
三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めるため、港を使ってフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。平成 23 年度は開始時刻を遅らせ、オープニングからサンセットクルーズまでを一連の行事として実施した。台風 6 号の接近により一部のイベントの中止はあったものの、地域住民等に対して港への理解を深めてもらうため、官民一体となったイベントを実施することができた。今後もイベント支援を行い、親しまれるみなとづくりを推進していく。

〔実績及び成果〕

(1) みなとフェスティバル補助金 5,500,000 円

補助金	平成 22 年度	平成 23 年度
	4,500,000 円	5,500,000 円

〔指標〕



科目	決算額等 決算額（円）	財 源 内 訳（円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	2,919,917,470	218,154,110	182,200,000	31,888,176	2,487,675,184
1目 都市計画総務費	419,288,479	101,000	0	11,270,519	407,916,960

1 都市計画推進事業費 3,369,202 円（都市計画課）＜その他＞

[ 総 括 ]

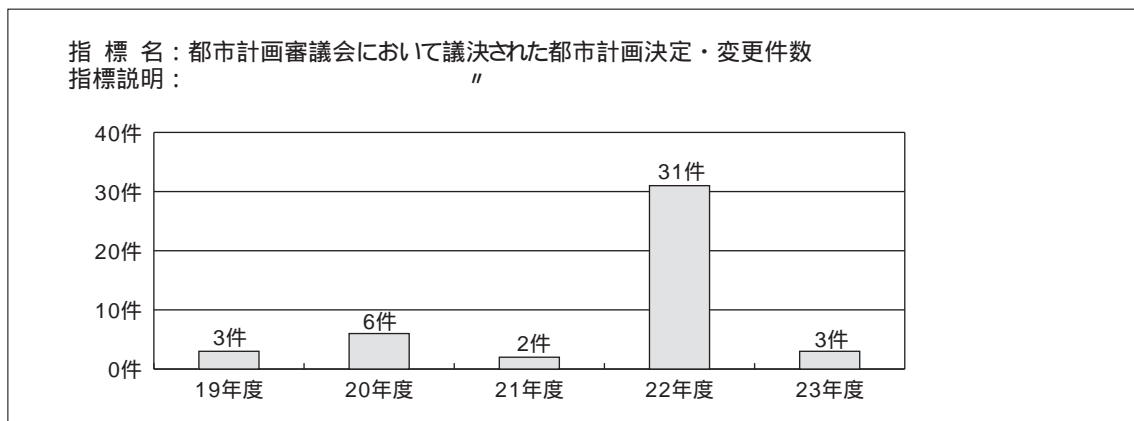
平成 23 年度は、都市計画行政の基礎的なデータを整備するため、都市計画法に基づき人口及び世帯規模の調査を行った。引き続き、都市の現況と動向の把握に努め、都市計画の決定や変更反映していく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 都市計画事務費 3,369,202 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		都市計画マスタープラン策定委託

[ 指 標 ]



2 まちづくり景観推進事業費 4,882,512 円（都市計画課）＜調和のとれた景観の形成＞

[ 総 括 ]

歴史的なまち並み景観形成を図るため、平成 22 年度に区域を拡大した二川宿景観形成地区について、住民団体とともに景観形成の基準づくりを行い地区整備計画を改訂した。また、景観形成地区内のまちなみ景観の向上に寄与する建築行為に対し助成を行った。今後も継続して、調和のとれた景観形成をめざす。

[ 実績及び成果 ]

(1) 都市景観推進事業費 651,602 円

助 成 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		1 件 240,000円

(2) まちづくり景観形成助成金 2,958,000 円

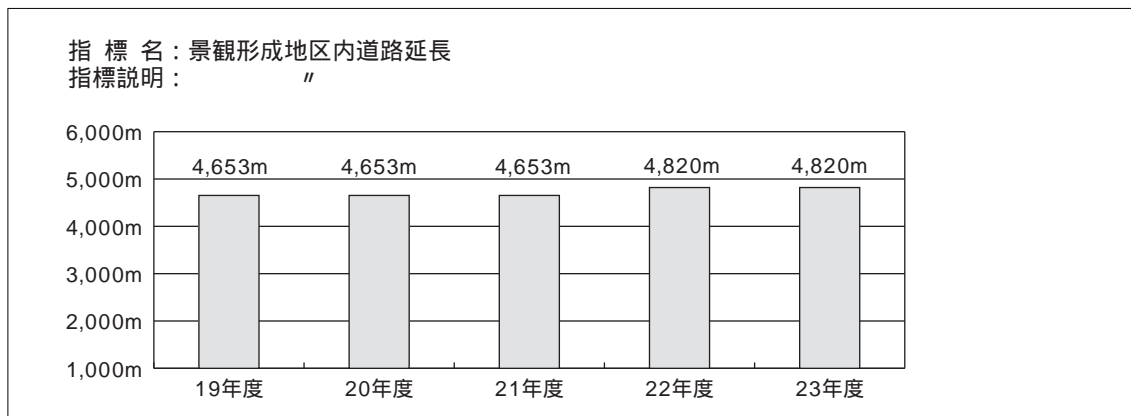
(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,958,000 円

助 成 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		4 件 3,820,000円

(3) 屋外広告物対策事業費 1,272,910 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
許 可 件 数	541件	586件
違反広告物撤去件数	374	217

[ 指 標 ]



3 都市交通計画推進事業費 8,532,327 円 (都市交通課) < 公共交通の利用促進 >

[ 総 括 ]

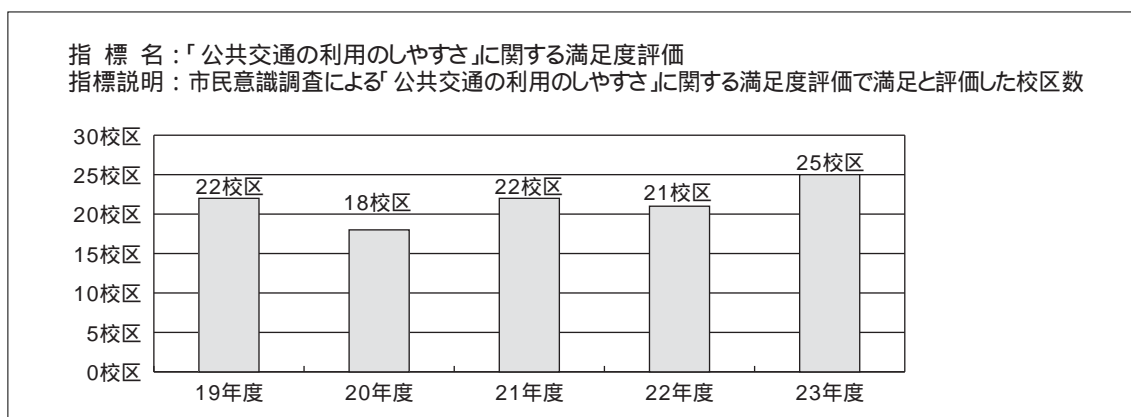
都市交通ビジョンの基本理念でもある「過度な自動車交通に依存しない都市交通体系の構築」をめざすため、公共交通体系の課題整理及び整備の方向性等について基礎的な調査を行うとともに、都市交通推進に関する会議等を開催した。今後も市民等の交通に対する意識変革に努め、公共交通の利用促進を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) 都市交通計画推進事業費 8,532,327 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
都市交通計画推進に関する会議等開催回数	83回	79回

[ 指 標 ]



4 路線バス対策事業費

48,499,000 円（都市交通課）＜公共交通の利用促進＞

[ 総 括 ]

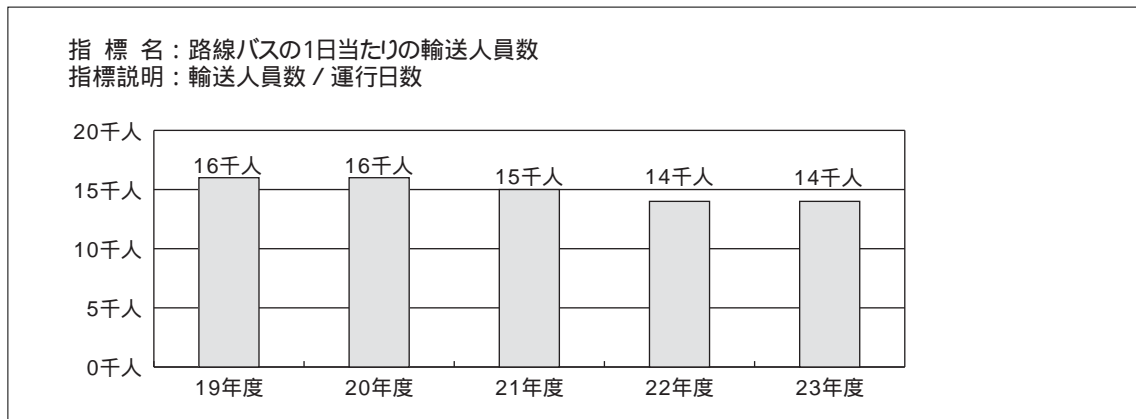
バス路線を維持し、市民の交通手段を確保するため赤字路線に対して助成を行った。今後も交通事業者とともに、利用促進を図るための啓発活動を推進していく。

[ 実績及び成果 ]

(1) バス運行対策費補助金 48,499,000 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
補 助 路 線 数	10路線	12路線

[ 指 標 ]



5 地域公共交通活性化推進事業費

18,260,652 円（都市交通課）＜地域公共交通の確保＞

[ 総 括 ]

地域公共交通の維持及び活性化に向けて公共交通利用促進イベント等を実施した。公共交通空白地域においては、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり「地域生活」バス・タクシーの実証運行事業を継続して行い、東部地区は平成 23 年度より本格運行に移行した。今後も地域住民とともに、「地域生活」バス・タクシー運行事業を推進していく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 地域公共交通利用促進事業費 18,260,652 円

(ア) 「地域生活」バス・タクシー実証運行事業等 12,429,850 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	東部地区 北部地区	北部地区

(イ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 4,936,962 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		東部地区

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 600,000 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
補 助 団 体 数	3 団体	3 団体

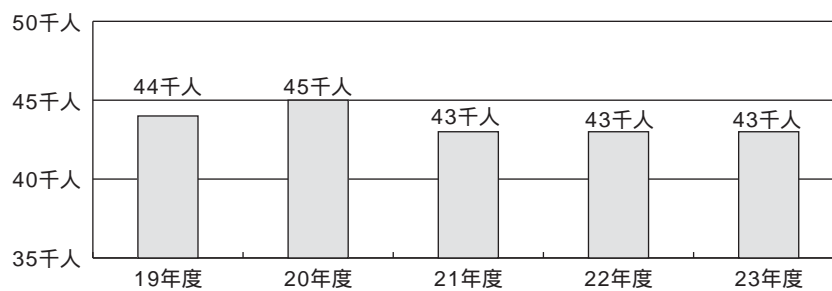


(エ) 地域公共交通活性化シンポジウム等の開催 293,840 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
参 加 人 数	242名	208名

[ 指 標 ]

指 標 名：地域公共交通の一日当たりの利用者数  
指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数 / 運行日数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 街路事業費	6,972,593	0	0	0	6,972,593

1 都市計画道路整備事業費 6,558,392円(道路建設課) <幹線道路の整備>

[総括]

都市における交通環境の向上と景観形成や防災効果向上のため、平成23年度は、弥生町線の用地交渉に努め都市計画道路網の整備を推進した。今後も関係機関との協議や調整を図りながら事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 弥生町線整備事業費 6,558,392円

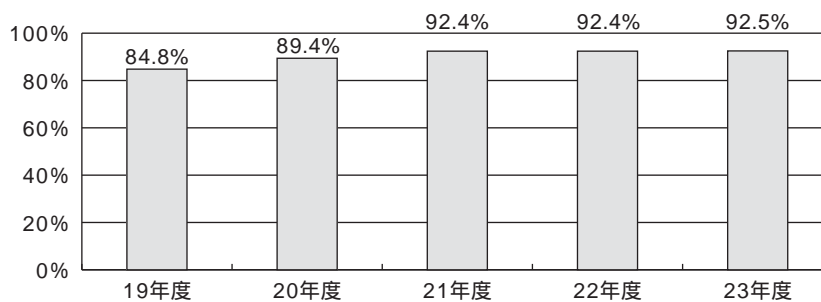
(市単独事業 6,558,392円)

内 容	平成22年度	平成23年度
	道路改良 延長 113m 用地 127.98㎡ 補償 工作物等	

[指標]

指標名：弥生町線整備事業進捗率

指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成4年度～25年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑 化 事 業 費	302,055,595	41,571,000	0	518,400	259,966,195

1 緑化維持管理事業費 247,296,289円(公園緑地課)<緑化の推進>

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も薬剤の使用を控えるなど環境に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 168,793,039円

内 容	平成22年度	平成23年度
		菰口町・旭町1号線始め274路線

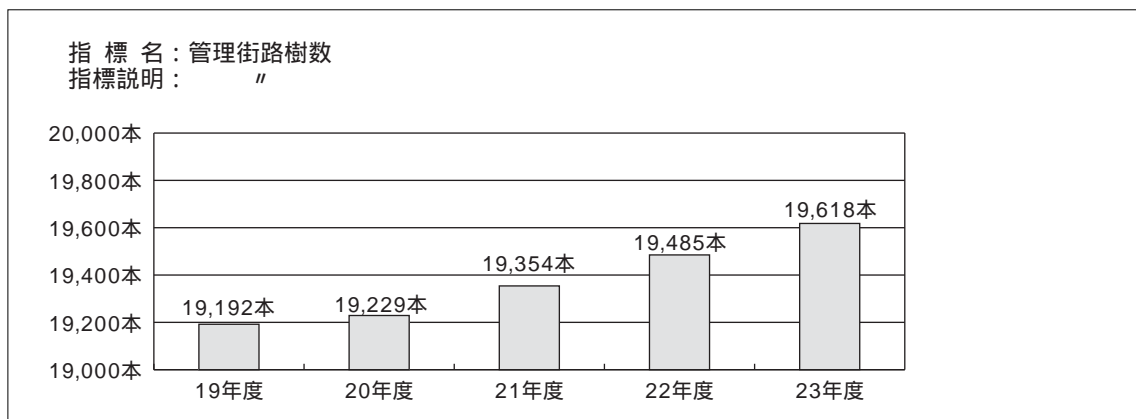
(2) 公園樹等維持管理事業費 75,418,350円

内 容	平成22年度	平成23年度
		牛川遊歩公園始め112公園

(3) 街路樹支柱補修等事業費 3,084,900円

路 線 名	平成22年度	平成23年度
		富士見台8号線ほか

[指標]



2 緑化推進事業費 53,332,843円(公園緑地課)<緑化の推進>

[総括]

緑豊かなまちづくりの基本的な方針を定めるため、平成22・23年度の2か年で「とよはし緑の基本計画」を策定した。また、市民参加型の緑化活動を推進するため公園ガーデニング事業や花交流フェアを開催するとともに、都市景観の向上を図るため優良な民有地緑化に対し助成をした。今後も緑豊かな景観の創出、都市活動に伴う環境負荷の低減を図るため緑化を推進する。

[実績及び成果]

- (1) 街路樹等緑化推進事業費 35,115,300 円  
 (県費補助事業 27,485,200 円 市単独事業 7,630,100 円)

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	飯村町・多米中町 5 号線ほか 高木植栽 クロガネモチほか 212本 中低木植栽 ヒラドツツジほか 1,276	飯村町・多米中町 5 号線ほか 高木植栽 クロガネモチほか 144本 中低木植栽 ヒラドツツジほか 1,145

- (2) 公園樹等緑化推進事業費 3,457,938 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
植栽及び更新工事	向山緑地ほか 高木植栽 ウメ 5本 中低木植栽 ウメほか 4	向山緑地ほか 高木植栽 ソメイヨシノ 10本 中低木植栽 ヒラドツツジほか 191

- (3) 苗ほ管理事業費 1,150,800 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
苗 ほ 管 理 委 託	三ツ口池苗ほ、東細谷苗ほ 11,410㎡	三ツ口池苗ほ、東細谷苗ほ 11,410㎡

- (4) 公園ガーデニング事業費 2,063,210 円  
 (国庫補助事業 1,890,000 円 市単独事業 173,210 円)

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	宮下公園	北裏東公園始め 4公園

- (5) 花交流フェア開催事業費 557,150 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
花壇等出展者数	69個人・団体	75個人・団体
来場者数	17,000人	20,000人

- (6) 緑の基本計画策定事業費 4,829,245 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	緑の基本計画策定委託	緑の基本計画策定委託

- (7) 民有地緑化推進事業補助金 3,642,000 円

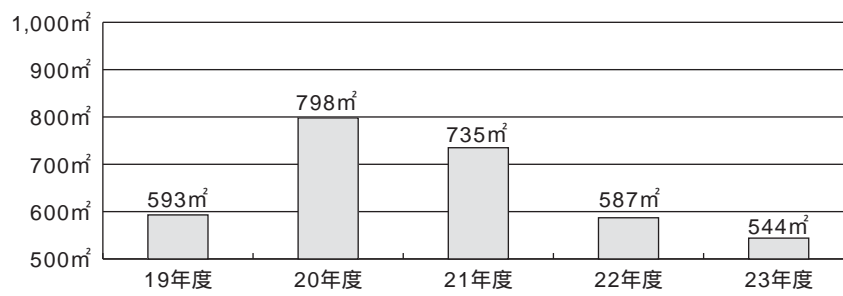
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	2 件 443㎡	3 件 463㎡

- (8) とよはし緑の日事業費 2,517,200 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
来場者数		1,000人

[ 指 標 ]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積  
指 標 説 明： ”



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国庫支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公園管理費	1,847,399,386	60,677,110	0	19,620,702	1,767,101,574

1 公園施設維持管理事業費 673,073,998円(公園緑地課) <公園・緑地の充実>

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創造するため、市内533箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図るとともに、市民、NPO、事業者、行政の協働によって維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 540,697,709円

(国庫補助事業 16,065,000円 県費補助事業 33,694,196円 市単独事業 490,938,513円)

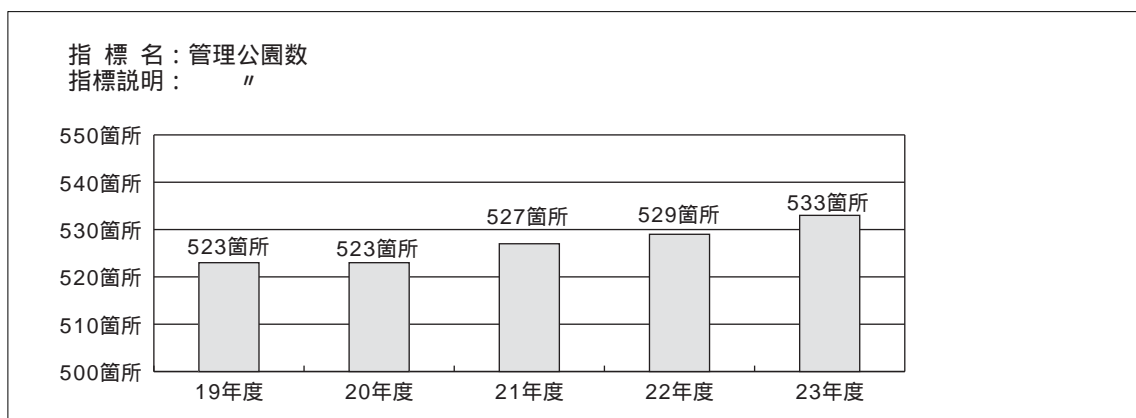
内 容	平成22年度	平成23年度
	除草清掃・施設管理委託等 高師緑地始め529箇所	

(2) 公園修繕事業費 132,376,289円

(国庫補助事業 38,021,760円 市単独事業 94,354,529円)

内 容	平成22年度	平成23年度
照明灯修繕	逆鉾遊園ほか	高師緑地ほか
遊具補修	万場緑地ほか	万場緑地ほか
諸施設及び塗装修繕等	竜ヶ池公園ほか	豊橋公園ほか
外柵修繕	薬師公園ほか	川西公園ほか
照明灯更新	岩田運動公園ほか	岩屋緑地ほか
遊具更新	飯村公園ほか	曙公園ほか
公園噴水ポンプ等修繕	向山緑地ほか	
ガス灯修繕	幸公園	

[指標]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 公園整備費	327,907,893	114,055,000	182,200,000	0	31,652,893

1 公園緑地整備事業費 269,000,000円(公園緑地課) <公園・緑地の充実>

[総括]

潤いのある安全で快適な都市空間を提供するため、吉田方公園を整備した。また、土地区画整理事業による牛川公園、坂津公園及び汐田公園の公共施設管理者負担金を支出した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

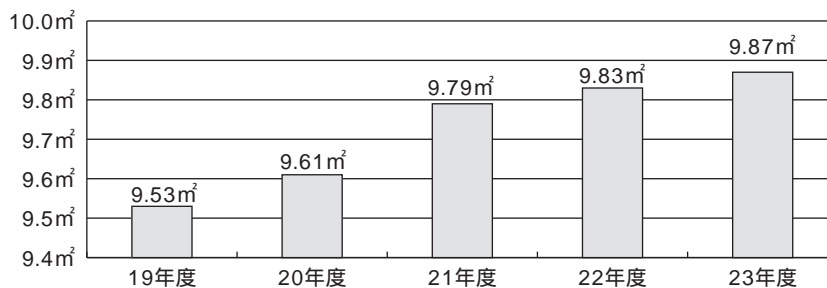
(1) 街区公園整備事業費 20,000,000円

(県費補助事業 20,000,000円)

公園名	平成22年度	平成23年度
吉田方公園	照明灯、園路等	トイレ、遊具等
牟呂大塚公園	園路、広場、池等	
岩屋緑地	倉庫等	

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積  
 指標説明：都市公園面積/人口



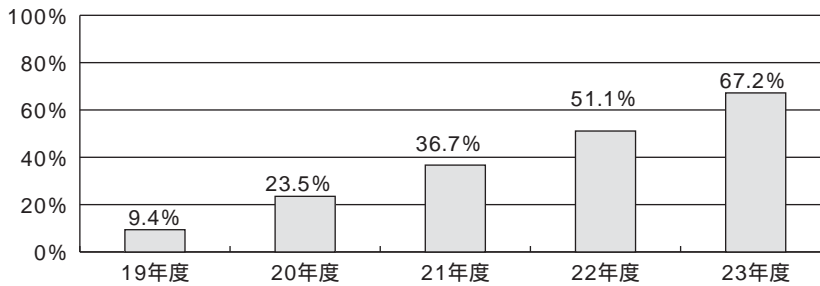
(2) 公共施設管理者負担金 249,000,000円

(国庫補助事業 249,000,000円)

公園名	平成22年度	平成23年度
牛川公園	用地 1,205.13m²	用地 1,053.05m²
坂津公園	用地 603.79	用地 341.94
汐田公園	用地 1,321.96	用地 1,380.79

[ 指 標 ]

指 標 名：公共施設管理者負担金進捗率(牛川公園、坂津公園、汐田公園)  
 指標説明：累積負担金 / 全体負担金(平成19年度～26年度)



2 総合スポーツ公園整備事業費 55,520,657 円 (公園緑地課) <公園・緑地の充実>

[ 総 括 ]

潤いのある安全で快適な都市空間を提供するため、基幹的な運動公園として豊橋総合スポーツ公園の整備を行った。今後も災害時の広域防災活動拠点としての機能とスポーツ施設の充実を図る。

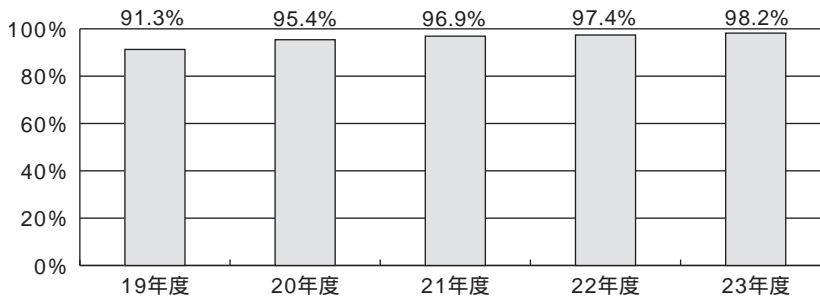
[ 実績及び成果 ]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 55,520,657 円  
 (国庫補助事業 50,110,000 円 市単独事業 5,410,657 円)

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	造成、駐車場、植栽 市民の森づくり	

[ 指 標 ]

指 標 名：総合スポーツ公園整備事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成10年度～25年度)



平成 23 年度の全体事業費にて、18 年度から再算定



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目	都心活性化推進費	16,293,524	1,750,000	0	478,555	14,064,969

1 都心文化イベント活動等推進事業費 1,800,000円(まちなか活性化課) <魅力ある商業集積の形成>

[総括]

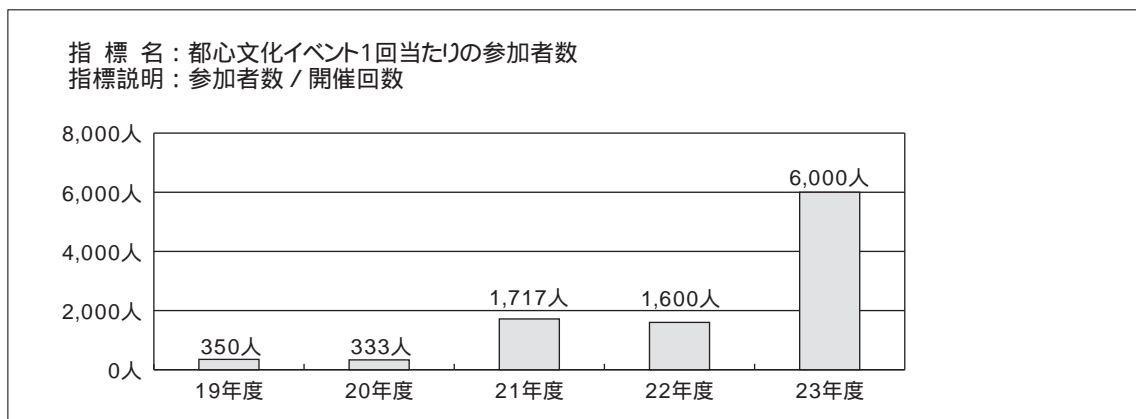
官民協働で中心市街地の活性化を推進する、まちなか活性化推進協議会に対し助成を行った。平成23年度は、「ええじゃないか豊橋音祭り」、「とよはしキラキライルミネーション」を実施するとともに、「サマーカレッジチャレンジショップ」や「都市型アートイベント sebone」などのイベントを支援し来街者の増加を図った。今後も様々な企業や団体と連携・協力しながら、中心市街地における賑わいと楽しさ、都心文化の創出を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まちなか活性化推進協議会負担金 1,800,000円

負 担 金	平成22年度	平成23年度
		1,800,000円

[指標]



2 再開発推進事業費 6,649,773円(まちなか活性化課) <中心市街地での再開発の促進>

[総括]

都心居住の推進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、平成23年度は豊橋駅前大通二丁目地区再開発の事業化に向け基本計画を作成した。また、事業化を検討している地区では、権利者との調整を引き続き行った。今後も、新たな検討地区の事業化に向けた対応を図るなど事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 再開発推進事務費 6,149,773円

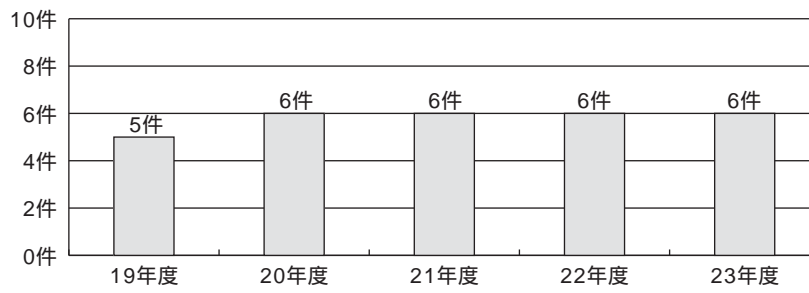
事 業 費	平成22年度	平成23年度
		216,184円

(2) 再開発推進団体等補助金 500,000円

補 助 金	平成22年度	平成23年度

[ 指 標 ]

指 標 名：再開発事業化実施数  
指 標 説 明：再開発事業着手の累計地区数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	2,394,569,073	854,690,000	587,700,000	96,987,334	855,191,739
1目 区画整理総務費	1,791,487,088	640,000,000	437,100,000	39,130	714,347,958

1 組合土地区画整理推進事業費 1,596,100,000円(区画整理課) <良好な市街地の形成>

[ 総 括 ]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督をするとともに、助成を行った。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対する指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[ 実績及び成果 ]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 601,200,000円

(ア) 土地区画整理事業補助金 556,200,000円

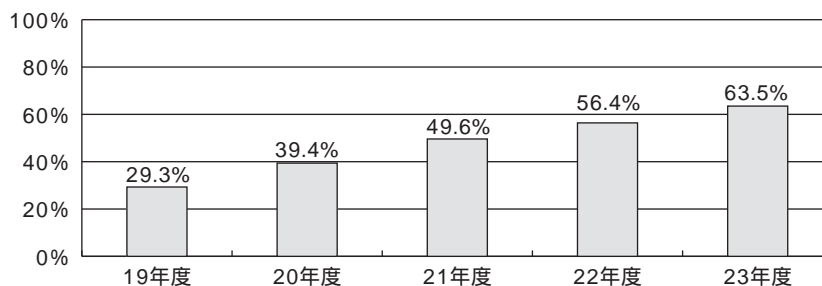
補 助 金	平成22年度		平成23年度	
		496,850,000円		556,200,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 45,000,000円

負 担 金	平成22年度		平成23年度	
		45,000,000円		45,000,000円

[ 指 標 ]

指 標 名：牛川西部土地区画整理事業進捗率  
 指標説明：累積事業費 / 全体事業費(平成7年度～30年度)



(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 994,900,000円

(ア) 土地区画整理事業補助金 814,900,000円

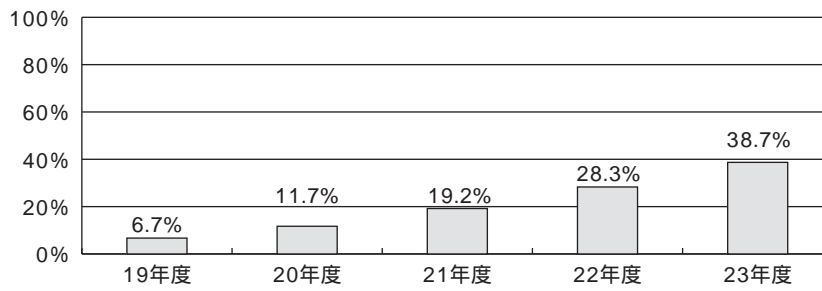
補 助 金	平成22年度		平成23年度	
		459,213,000円		814,900,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 180,000,000円

負 担 金	平成22年度		平成23年度	
		144,000,000円		180,000,000円

[ 指 標 ]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率  
指 標 説 明：累積事業費 / 全体事業費(平成14年度～28年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 牟呂坂津土地区画整理事業費	603,081,985	214,690,000	150,600,000	96,948,204	140,843,781

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 603,081,985 円(区画整理課) <良好な市街地の形成>

[ 総 括 ]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 603,081,985 円  
(国庫補助事業 403,578,392 円 市単独事業 199,503,593 円)

(ア) 道路築造費 12,908,700 円

内 容	平成22年度	平成23年度
	延長	476m

(イ) 宅地造成費 6,827,100 円

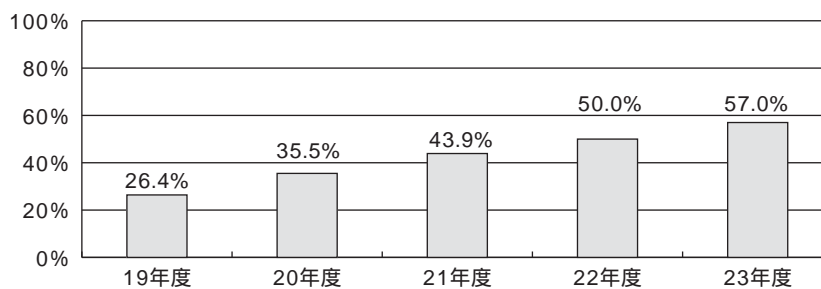
内 容	平成22年度	平成23年度
	面積	4,975㎡

(ウ) 補 償 費 508,624,089 円

内 容	平成22年度	平成23年度
	建物 15戸 工作物、電柱 水道管移設 281m	

[ 指 標 ]

指 標 名 : 牟呂坂津土地区画整理事業進捗率  
指 標 説 明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成13年度~27年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,230,045,465	10,270,178	57,300,000	88,501,590	3,073,973,697
1 項 消 防 費	3,230,045,465	10,270,178	57,300,000	88,501,590	3,073,973,697
1 目 常 備 消 防 費	3,027,384,720	10,270,178	57,300,000	59,517,243	2,900,297,299

1 通信指令事業費 95,051,275 円（通信指令課）＜消防体制の充実＞

〔総括〕

119番緊急通報を受信し、現場到着までの一連の通信指令業務を迅速かつ的確に行った。通信指令システムを一部更新し、自動出動地図検索装置等の機能向上により高度化を図った。消防指令センターに田原市が新たに加わり東三河の通信指令業務を一本化するとともに、広域化した管轄区域に対応するため聞き取り技術等の向上に努めた。消防救急無線のデジタル化整備については、東三河5市共同で電波伝搬調査を実施し基本設計書を作成した。平成24年度末の完了に向けて、国の補助事業を活用し整備を進めていく。

〔実績及び成果〕

(1) 通信指令事業費 95,051,275 円

〔受信内訳〕

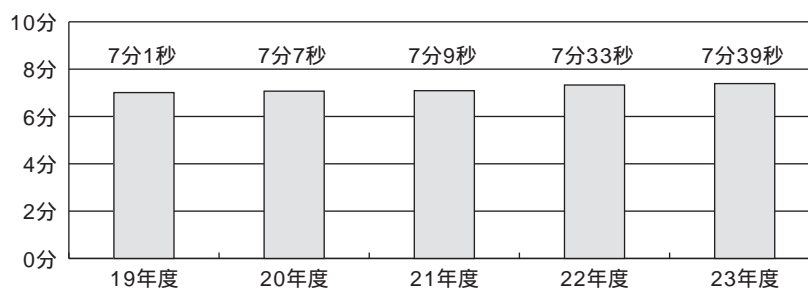
内 容	平成22年度	平成23年度	比 較
119番通報件数	19,544件	20,885件	6.9%
固定電話	9,396	9,285	1.2
携帯電話	6,809	7,873	15.6
I P 電 話	3,339	3,727	11.6

〔無線デジタル化整備〕

区 分	平成22年度	平成23年度
内 容		電波伝搬調査及び基本設計

〔指標〕

指標名：119番受信から現場到着時間(災害：火災・救急・救助等)  
 指標説明：〃



2 警防活動費

679,431 円（消防救急課）＜消防体制の充実＞

[ 総括 ]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。発生が心配される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、各種災害想定訓練を実施するなど消防活動の充実強化を図る。

[ 実績及び成果 ]

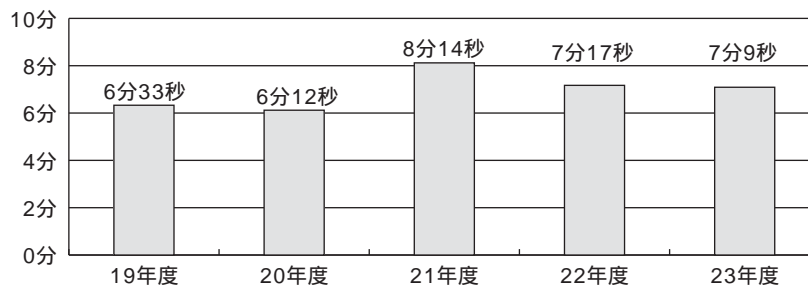
(1) 警防活動費 679,431 円

[ 火災発生状況 ]

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
出 火 件 数	137件	118件	13.9%
り 災 棟 数	72棟	81棟	12.5
り 災 世 帯	42世帯	58世帯	38.1
り 災 人 員	106人	129人	21.7
焼 損 面 積 ( 建 物 )	1,452㎡	3,643㎡	2.5倍
損 害 額	99,408千円	365,039千円	3.7

[ 指 標 ]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間  
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



3 火災予防対策事業費

15,636,462 円（予防課）＜火災予防対策の推進＞

[ 総括 ]

火災予防対策の推進及び防火意識の高揚を図るため、各種研修会の開催、防火訪問授業及び秋・春の火災予防運動等を展開した。また、住宅用火災警報器の設置促進を図るため、豊橋駅前や市内スーパーマーケット等でキャンペーンを実施し火災予防対策の普及に努めた。今後は、査察体制を強化し違反対象物の削減を図るなど、引き続き火災予防対策の普及推進を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) 消防啓発事業費 5,077,270 円

[ 消防音楽隊等演奏回数 ]

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
消 防 音 楽 隊	14回	15回	7.1%
カ ラ ー ガ ー ド 隊	8	6	25.0
計	22	21	4.5

(2) 火災予防啓発事業費 3,348,312 円

〔防火教育受講者数〕

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
女性防火クラブ研修	624人	565人	9.5%
小 学 校 訪 問 授 業	2,114	2,426	14.8
老人クラブ防火教室		421	皆増
計	2,738	3,412	24.6%

(3) 防火教育普及啓発事業費 85,680 円

〔防火教育実施回数〕

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
小 学 校 訪 問 授 業	25回	26回	4.0%

(4) 街頭消火器設置費等補助金 7,125,200 円

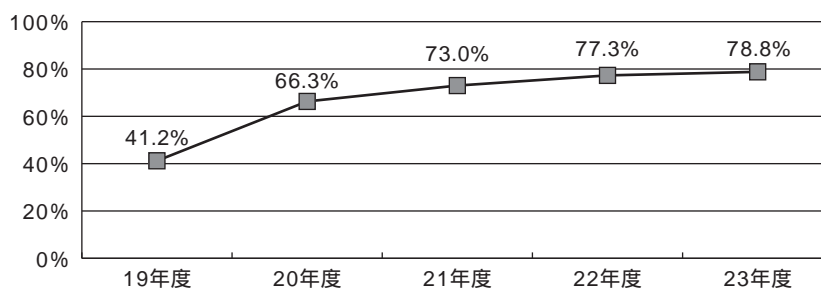
〔補助内訳〕

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
消 火 器 更 新	541件	759件	40.3%
収 納 箱 更 新	460	540	17.4
薬 剤 更 新	778	56	92.8
火災使用薬剤詰替 ( 街頭消火器 )	15	13	13.3
火災使用薬剤詰替 ( 一般消火器 )	22	13	40.9
計	1,816	1,381	24.0

[ 指 標 ]

指 標 名 : 住宅用火災警報器設置率

指標説明 : "





## 4 救急事業費

16,046,050 円（消防救急課）＜救急救命体制の充実＞

## 〔総括〕

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や応急処置拡大への対応、また、医療機関との連携強化など救急救命体制の充実に努めるとともに、市民や事業所と協働した救命講習を実施し応急手当の普及啓発に努めた。今後も救急に対する市民ニーズに応えるため、救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

## 〔実績及び成果〕

- (1) 救急高度化事業費 14,419,793 円

## 〔研修派遣者数〕

区 分		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
救 急 救 命 士	救 急 救 命 士 養 成	1人	1人	0.0%
	除細動プロトコール	4	1	75.0
	気管挿管運用試験		1	皆増
	薬剤投与運用試験	7	3	57.1%
救 急 課 程 資 格 取 得		9	8	11.1

- (2) 応急手当普及啓発事業費 1,405,075 円

## 〔救命講習受講者数〕

区 分		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
応 急 手 当 指 導 員		21人	33人	57.1%
応 急 手 当 普 及 員		39	37	5.1
上 級 救 命		92	65	29.3
普 通 救 命		3,476	4,308	23.9
初 級 救 命		7,283	7,161	1.7

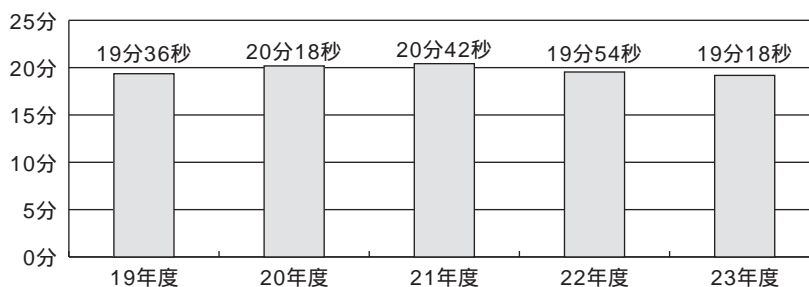
- (3) 救急活動費 221,182 円

## 〔救急発生状況〕

区 分		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
急 病		8,376件	8,832件	5.4%
交 通 事 故		1,515	1,502	0.9
労 働 災 害		138	139	0.7
運 動 競 技		104	78	25.0
加 害		70	70	0.0
そ の 他		3,160	3,133	0.9
計		13,363	13,754	2.9

[ 指 標 ]

指 標 名：現場到着から病院収容までの時間  
 指標説明：救急隊の現場到着から病院収容までの時間



5 救助事業費 1,309,600 円（消防救急課）＜救急救命体制の充実＞

[ 総 括 ]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助資機材の充実を図るとともに、救助隊員の知識、技術の向上に努めた。発生が心配される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

[ 実績及び成果 ]

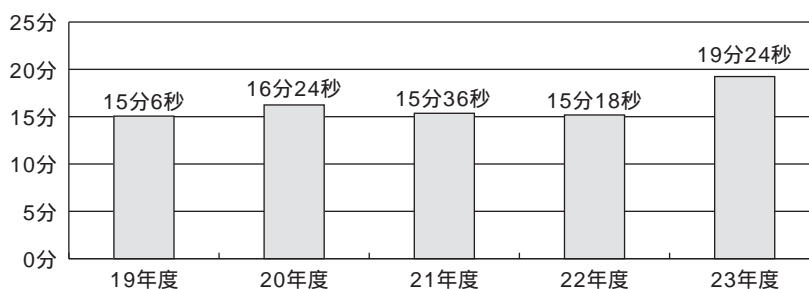
(1) 救助事業費 1,309,600 円

[ 救助発生状況 ]

区 分		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
火 災	建 物	35件	48件	37.1%
	建 物 以 外	12	13	8.3
火 災 以 外 の 事 故	交 通	76	67	11.8
	水 難	8	15	87.5
	自 然 災 害	1	4	4.0倍
	機 械 に よ る	4	9	2.3
	建 物 等 に よ る	18	16	11.1%
	ガ ス 及 び 酸 欠	5	6	20.0
	そ の 他	62	45	27.4
計		221	223	0.9

[ 指 標 ]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間  
 指標説明：救急隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 非常備消防費	200,467,495	0	0	28,976,847	171,490,648

1 消防団活動事業費 177,218,453 円 ((消)総務課) <消防体制の充実>

[総括]

消防団組織等改善協議会からの意見を踏まえ、車両のオートマチック化や活動服の機能性の向上に努めた。今後も、機能別消防団員の入団促進や処遇改善を進めるとともに、女性消防団員の活動内容の拡充について検討するなど組織の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 168,518,053 円

[災害・公務出動人員]

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
災 害 出 動	5,468人	5,783人	5.8%
公 務 出 動	11,122	10,869	2.3

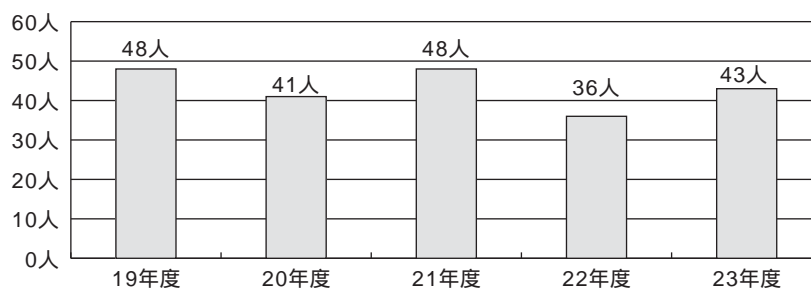
(2) 消防団交付金 8,700,400 円

[交付金内訳]

区 分	平成22年度	平成23年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,960,200	6,912,400
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,748,200	8,700,400

[指標]

指標名：災害1件あたりの出動消防団員数  
 指標説明：出動人員 / 災害件数(火災、風水害等)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	11,042,254,140	370,667,495	680,900,000	2,116,824,069	7,873,862,576
1項 教 育 総 務 費	1,210,096,980	48,971,351	0	22,051,521	1,139,074,108
3目 教 育 指 導 費	415,137,952	2,572,000	0	362,669	412,203,283

1 教育相談事業費 137,649,788 円 (学校教育課) <個に応じた教育の推進>

[ 総 括 ]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導など、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。また、児童生徒にかかわる教育上の問題について、教育相談員や臨床心理士による教育相談、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、適応指導教室の運営や不登校対策推進協議会の活動を通して不登校傾向にある児童生徒の学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携をとりながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[ 実績及び成果 ]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 66,146,604 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
各 種 委 員 会 等	指導検討委員会、担任研修会、 進路説明会、情報交換会、 教材の作成等	指導検討委員会、担任研修会、 進路説明会、情報交換会、 教材の作成等

(2) 教育相談活動事業費 35,082,261 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
教育相談員による相談 (学校訪問、にじの子相談等)	3,866件	3,497件
心理カウンセラー相談	973	895
心理判定員相談	522	679
メンタルフレンド派遣	5月～3月 71回	4月～3月 108回

(3) 適応指導教室活動事業費 19,434,012 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
適応指導教室(2か所)	182日 延3,261人	183日 延2,582人

(4) 不登校対策支援事業費 16,846,052 円

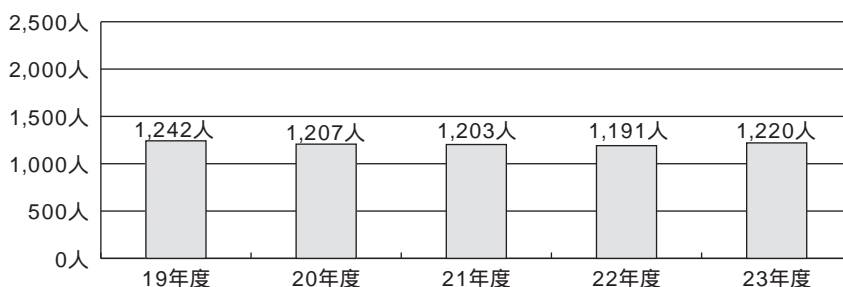
内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		非常勤講師	10人	非常勤講師

(5) 不登校対策推進協議会補助金 140,859 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
不登校児童生徒担当者学習会	8月・11月 2回	8月 2回
補 助 金	91,382円	140,859円

[ 指 標 ]

指 標 名：教育相談員1人当たりの児童生徒数  
 指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



2 生徒指導対策事業費

6,741,227 円 (学校教育課) < 個に応じた教育の推進 >

[ 総 括 ]

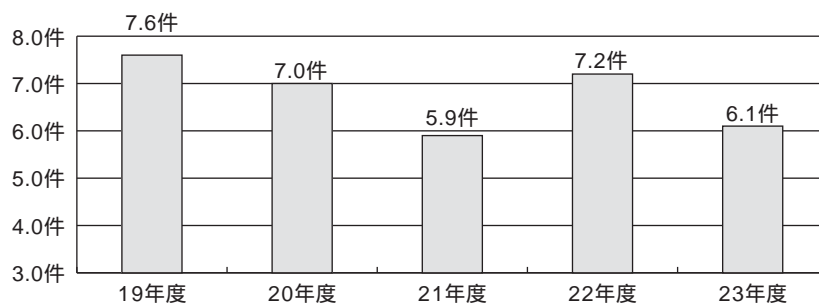
生徒指導、進路指導、部活動指導を通して、いじめ、不登校、暴力行為などの問題行動への対応を図った。さらに、魅力ある学校づくりを推進するため、児童生徒の健全育成や教師の資質と指導力の向上を図るとともに、生徒が目標を持って最適の進路選択ができるように支援を行った。今後も児童生徒が楽しく安心して学校生活を送ることができるよう魅力ある学校づくりを推進する。

[ 実績及び成果 ]

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
(1) 生徒指導費補助金	2,618,249円	2,439,343円
(2) 進路指導費補助金	2,451,346	2,445,884
(3) 体育・文化活動支援事業費	1,860,000	1,856,000
(ア) 中学校体育的部活動報償金	1,480,000	1,512,000
(イ) 中学校生産文化的部活動報償金	380,000	344,000
計	6,929,595	6,741,227

[ 指 標 ]

指 標 名：1校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数  
 指標説明：いじめ、暴力行為の発生件数 / 小中学校数(74校)



3 教育諸活動支援事業費 115,965,004 円 (学校教育課) <個に応じた教育の推進・時代に対応した教育の推進・特色ある学校づくりの推進>

[ 総 括 ]

児童生徒の健全な育成と豊かな人間性を培うため、学校生活を支援する活動、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、平和教育を推進する活動、体力・競技力の向上を図る活動など教育活動の活性化を図った。また、平成23年度から少年少女発明クラブ補助金を新設し、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動を助成した。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるような教育活動を提供するため、各事業内容の充実を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) 新入学児童学級対応等支援事業費 73,607,430 円

内 容	平成22年度	平成23年度
	支援員 48人	支援員 47人

(2) 障害のある児童生徒特別支援事業費 4,196,940 円

内 容	平成22年度	平成23年度
	介助者 3人	介助者 3人

(3) いきいきパスポート活用事業費 54,600 円

利 用 者 数	平成22年度	平成23年度
	延 39,807人	延 42,982人

(4) 子ども造形パラダイス補助金 6,090,240 円

区 分	平成22年度	平成23年度
開 催 日	22.10.16 ~ 17	23.10.15 ~ 16
補 助 金	6,179,525円	6,090,240円

(5) 小学生のコンサート補助金 1,835,699 円

区 分	平成22年度	平成23年度
開 催 日	22.7.31	23.7.30
補 助 金	1,835,940円	1,835,699円

(6) 母なる豊川活用事業費 9,969 円

参 加 校	平成22年度	平成23年度
	29校	29校

(7) 子どものための平和展開催費補助金 74,952 円

区 分	平成22年度	平成23年度
開 催 日	22.7.31 ~ 8.1	23.7.30 ~ 7.31
補 助 金	64,940円	74,952円

(8) 特色ある学校づくり推進事業費補助金 9,739,964 円

補 助 金	平成22年度	平成23年度
	74校 4,465,054円	74校 9,739,964円

(9) 学校体育連盟補助金 14,227,962 円

補 助 金	平成22年度	平成23年度
	1団体 13,664,205円	1団体 14,227,962円

## (10) 中学校東海・全国大会出場補助金 1,020,189 円

補 助 金	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		15校 (129人)	2,929,809円	15校 (121人)

## (11) 文化的部活動補助金 3,514,957 円

補 助 金	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		24校	3,347,590円	22校

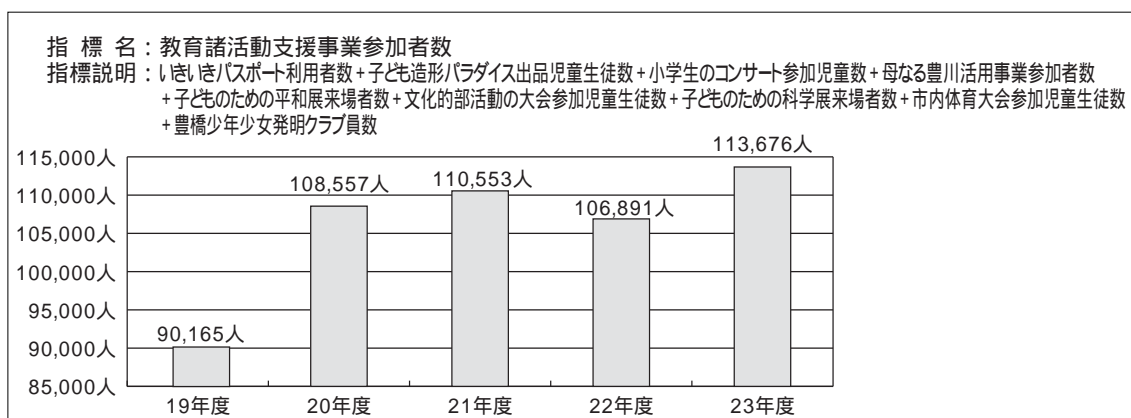
## (12) 子どものための科学展開催費補助金 1,192,102 円

区 分		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
開 催 期 間		22.10.16 ~ 17	23.10.15 ~ 16
入 場 者 数		4,758人	5,464人
補 助 金	科 学 展	696,250円	697,966円
	小 柴 記 念 賞	478,674	494,136

## (13) 少年少女発明クラブ補助金 400,000 円

補 助 金	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
				クラブ員 82人

## [ 指 標 ]



## 4 国際理解教育推進事業費 113,662,400 円 (学校教育課) &lt;時代に対応した教育の推進&gt;

## [ 総 括 ]

小学校では、学級担任と小学校英語スクールアシスタントや外国人英語指導員による、英語に親しむ活動を中心とした「英会話」の授業を各クラス年間 20 時間行うことで、児童の英語への関心や意欲を高めることができた。中学校では、英語科教員と外国人英語指導員による「英会話」の授業を各クラス年間 35 時間行った。また、小学校 5・6 年生を対象とした夏休み小学生英語活動を実施し、英会話のできる豊橋っ子育て事業の推進を図った。今後も小・中学校の連携をすすめ、英語教育の充実を図る。

## [ 実績及び成果 ]

## (1) 英語科教員等海外研修事業費補助金 1,000,000 円

補 助 金	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		2人	1,000,000円	2人

(2) 英会話のできる豊橋っ子育成事業費 112,662,400 円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費 102,837,085 円

内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		74校	23人	74校

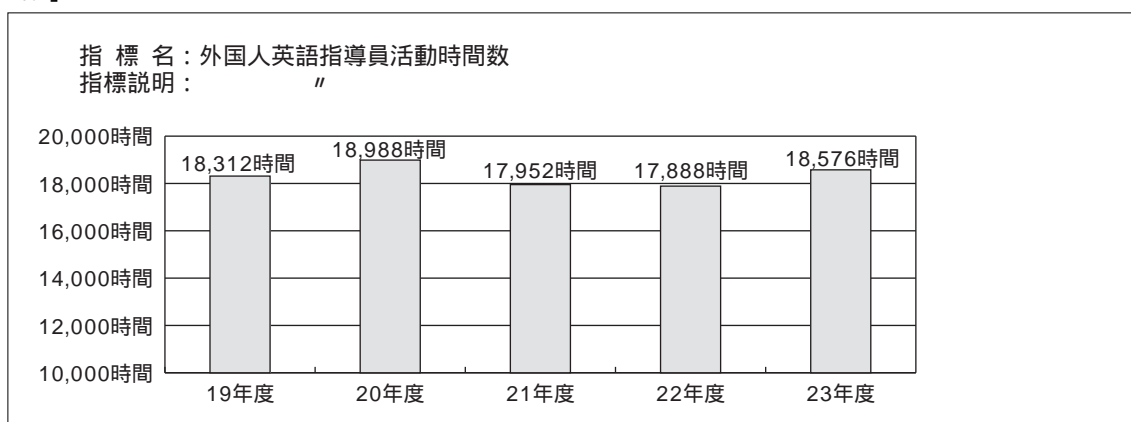
(イ) 小学校英語スクールアシスタント 9,796,752 円

内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		52校	延4,893時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費 28,563 円

内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		5日間	126人	4日間

[ 指 標 ]



5 学校図書館活動振興事業費 23,938,338 円 (学校教育課) <個に応じた教育の推進>

[ 総 括 ]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、平成 21 年度に授業の質的向上をめざして設置した「授業・学習支援センター」において、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援をすすめた。また、23 年度は学校図書館司書を 3 名増員し、全ての小・中学校で週 6 時間の活動を行い、学校図書館の有効活用と円滑な管理運営に努めた。今後も教員のニーズを把握し、有効に利用できるように努め、児童生徒の豊かな学習環境の実現をめざす。

[ 実績及び成果 ]

(1) 学校図書館活動推進事業費 20,924,600 円

司 書 配 置	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		22校 (各中学校 1 名) に配置 全小学校 (52校) へ巡回指導		25名を全小・中学校 (74校) に配置 (3校担当24名、2校担当1名)

(2) 小・中学校読書活動推進事業費 308,069 円

図 書 購 入	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		49冊		87冊

(3) 授業・学習支援センター推進事業費 2,705,669 円

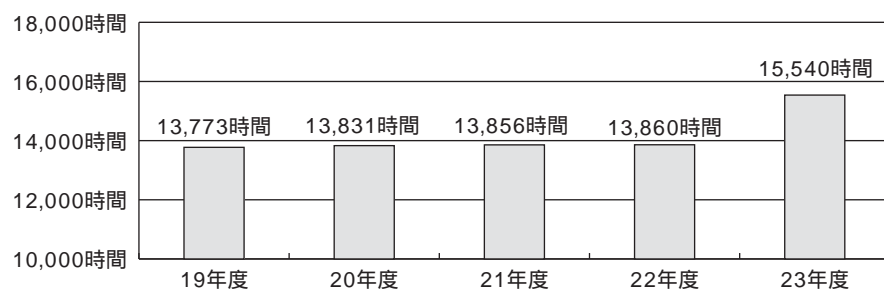
学 校 貸 出 冊 数	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
		12,592冊		11,201冊



[ 指 標 ]

指 標 名 : 学校図書館司書活動時間数

指標説明 : //



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 教育会館費	82,789,538	0	0	326,711	82,462,827

1 教育会館管理運営事業費 25,609,088 円(学校教育課) <教職員の力量向上>

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、平成23年度から教員免許状更新講習を開設し、教育の実情に即した内容による実施で教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 20,034,786 円

〔利用状況〕

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
開 館 日 数	359日	360日	0.3%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 22,108人	延 21,379人	3.3
一 般 施 設 利 用 者 数	延 14,441	延 15,217	5.4
計	延 36,549	延 36,596	0.1

〔各種活動〕

区 分	平成22年度	平成23年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	140時間 参加人員 645人	132時間 参加人員 593人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 524本	映像教材貸出 435本

(2) 教職員研修事業費 5,247,591 円

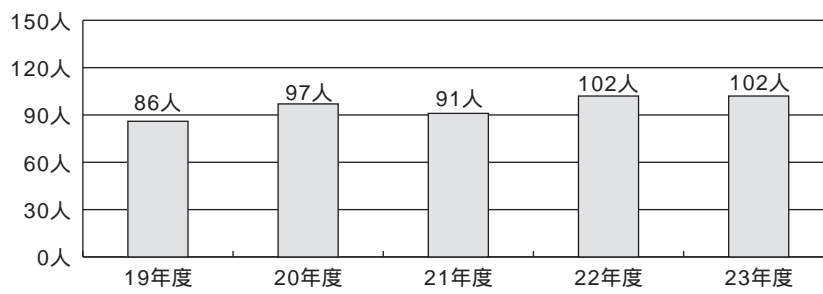
区 分	平成22年度	平成23年度
基 本 研 修	107回 参加人員 2,589人	111回 参加人員 2,889人
職 務 研 修	60 " 2,092	62 " 2,202
課 題 ・ 専 門 研 修	65 " 2,404	86 " 2,816
社 会 体 験 研 修 等	18か所 " 22	26か所 " 28

(3) 教員免許状更新講習事業費 326,711 円

内 容	平成22年度	平成23年度

[ 指 標 ]

指 標 名 : 教育会館1日当たりの利用者数  
指 標 説 明 : 利用者数 / 開館日数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 自然史博物館費	268,487,620	46,399,351	0	17,768,532	204,319,737

1 自然史博物館運営事業費 111,964,873 円(自然史博物館) <科学教育の推進>

[総括]

自然に親しみ、自然についての正しい知識を深め自然を大切にすることを目的に、自然史科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組み、教育普及活動として、大型映像はフィルムによる「ダイノトピア」と4Kデジタル大型映像システムに更新して「シーレックス」を上映、自然史講座、学習教室、収蔵資料紹介展等を開催した。さらに、特別企画展「おもしろサメ博」及び「自然史博物館自由研究展」を開催した。今後も市民ニーズに応えるため、来館者サービスの向上につながる行事の実施及び老朽化した設備・展示物等の更新を図る必要がある。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 75,751,206 円

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
開 館 日 数	310日	312日	0.6%
入 館 者 数	延 524,370人	延 548,985人	4.7
常設展示室の展示物(古生代、中生代、新生代、郷土の自然)	3,726点	3,726点	0.0

(2) 教育普及活動事業費 26,010,371 円

区 分	平成22年度		平成23年度	
学 習 教 室	9回	参加人員 249人	10回	参加人員 263人
自 然 史 講 座	7	" 237	7	" 212
自然史教室(出前授業)	33時限	" 1,703	38時限	" 1,601
大 型 映 像	627回	観覧者数 26,999	1,011回	観覧者数 35,378
展 示 解 説 会	20	参加人員 613	21	参加人員 745
シ ン ポ ジ ウ ム			国際地質学史委員会日本大会記念講演会 「アフリカの恐竜」 23.8.5 参加人員 92	

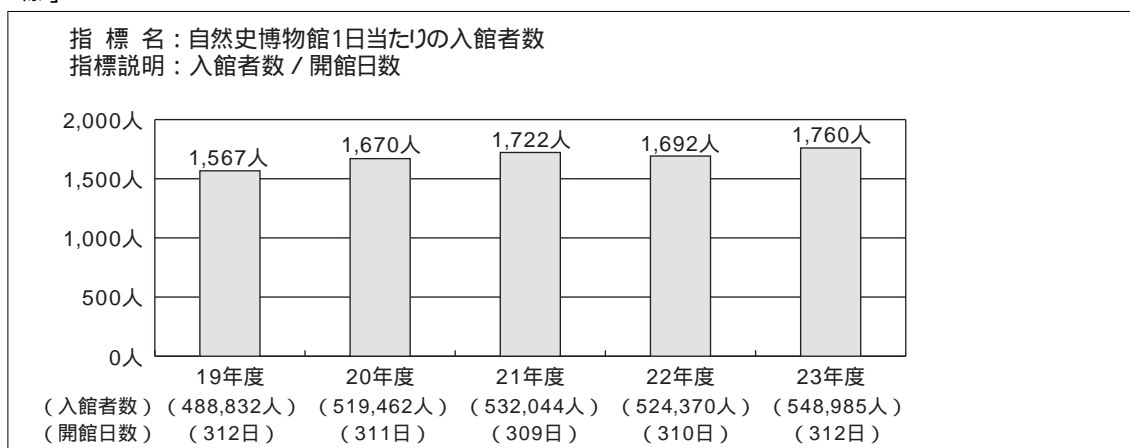
(3) 資料収集・調査研究活動事業費 2,832,868 円

区 分	平成22年度		平成23年度	
展 示 物 製 作 委 託	哺乳類の骨格標本製作(スナメリ) 1点		鳥類・哺乳類の剥製骨格標本製作 4点	
博 物 館 資 料 等 の 購 入	ホホジロザメ顎骨(レプリカ) 1		ディケラテリウム(サイ類)の頭骨化石 1	
研 究 発 表 ( 調 査 研 究 )	46件		36件	
博 物 館 資 料 ( 標 本 )	18,601点 (総数 429,620点)		41,828点 (総数 471,448点)	
図 書 資 料	1,629冊 (総数 33,985冊)		1,397冊 (総数 35,382冊)	

(4) 特別企画展開催事業費 7,370,428 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
特 別 企 画 展	「キラキラ水晶展」	「おもしろサメ博」
	22.7.16～9.12 (51日間)	23.7.15～9.11 (51日間)
	展示数530点 観覧者数14,572人	展示数100点 観覧者数18,691人
関 連 行 事	1. 科博コラボミュージアムin豊橋「キラキラ水晶展」 講演会「水晶が面白い」 22.7.17 参加人員 81人 フィールドツアー「設楽の水晶を見に行こう」 22.7.18 参加人員 25人	1. 講演会「サメの魅力」 23.7.17 参加人員 78人
	2. 記念講演「山梨の水晶-山から町へ-」 22.7.25 参加人員 160人	2. 泳げ！サメロボット 23.8.14 参加人員 420人
		3. サメの解体ショー 23.7.31 参加人員 800人
		23.8.11 " 235
		23.8.28 " 150
		23.9.4 " 126

[ 指 標 ]



2 石巻自然科学資料館運営事業費 639,318 円 (自然史博物館) < 科学教育の推進 >

[ 総 括 ]

石巻山周辺のハイキングや自然を観察するためのビジターセンターとしての機能を果たしており、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を用意し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動をする必要がある。

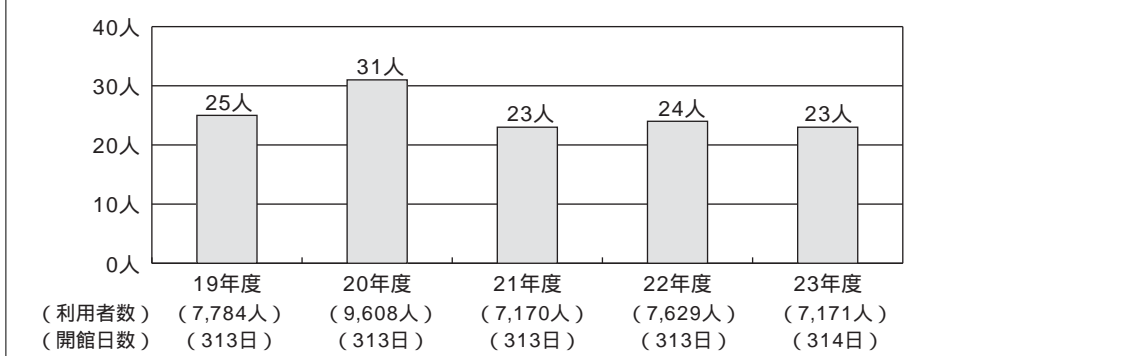
[ 実績及び成果 ]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 639,318 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
開 館 日 数	313日	314日	0.3%
利 用 者 数	延 7,629人	延 7,171人	6.0

[ 指 標 ]

指 標 名：石巻自然科学資料館1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数 / 開館日数



3 視聴覚教育センター運営事業費 28,590,001 円 (科学教育センター) <自然史博物館・地下資源館・視聴覚教育センターにおける科学教育の推進>

[ 総 括 ]

視聴覚教育センターの適正な管理運営に努めるとともに、わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習や展示学習による児童の科学能力の向上、さらに市民への学習教室(ワークショップ、星空観望会など)の充実、科学情報等の提供に努めた。11月にはプラネタリウムを更新し、鮮明な4,000万個の星空と全天周動画映像の番組をスタートさせた。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、施設利用者の増加を図っていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 視聴覚教育センター運営事業費 28,590,001 円

[ 利用状況 ]

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
開 館 日 数	308日	311日	1.0%
入 館 者 数	延 71,930人	延 105,287人	46.4

[ 施設整備 ]

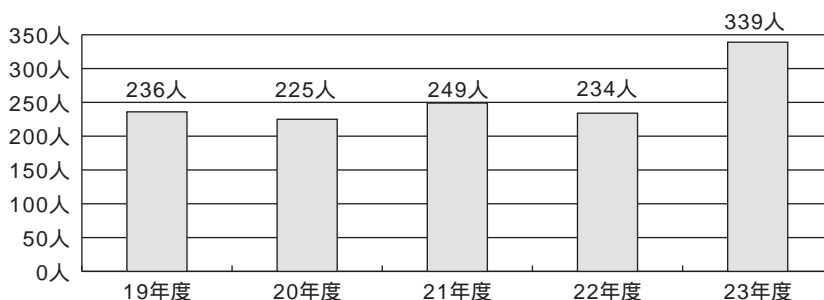
内 容	平成22年度	平成23年度
	給水管漏水修繕等	プラネタリウム更新 第1研修室照明設備修繕等

[ 各種活動 ]

区 分	平成22年度		平成23年度	
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月~10月	参加人員 3,614人	5月~1月	参加人員 3,403人
プラネタリウム投映	612回	観覧者数24,400	624回	観覧者数29,983
学 習 教 室	5月~2月(24回)	参加人員 1,218	6月~2月(19回)	参加人員 583
映 画 会	7月 ( 2 )	" 40		
星 空 観 望 会	4月~2月( 5 )	" 506	4月~2月( 6 )	" 636

[ 指 標 ]

指 標 名：視聴覚教育センター1日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数 / 開館日数



4 地下資源館運営事業費 15,117,187 円 (科学教育センター) <自然史博物館・地下資源館・視聴覚教育センターにおける科学教育の推進>

[ 総 括 ]

地下資源・エネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、企画展「実験ショー パラダイス 2011」や「視覚トリックの世界」などを、また、視聴覚教育センターのプラネタリウムリニューアルに合わせ、巡回パネル展「地球から宇宙へ」を開催した。これらの展示をはじめ、科学実験・工作などができる学習教室（ワークショップ、実験ショーなど）の充実に努め、過去最多の実施回数となった。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら子どもから大人まで興味がもてる参加体験型の行事を中心に企画を実施していく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 地下資源館運営事業費 15,117,187 円

[ 施設整備 ]

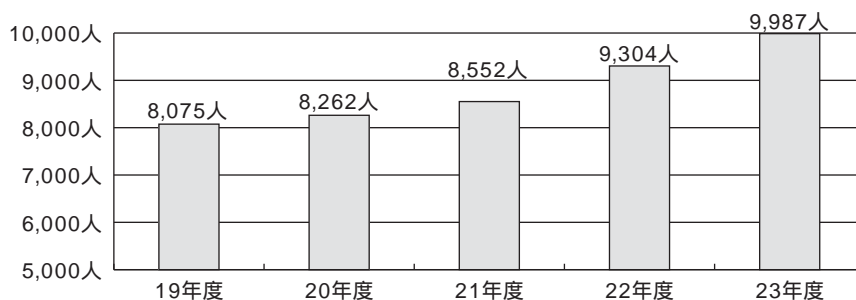
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 各種活動 ]

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
学 習 教 室	4月～3月(227回) 参加人員9,524人	4月～3月(240回) 参加人員10,167人
映 画 会	8月～12月(14) " 476	8月～12月(13) " 263
資源をくらしに生かす 創 意 工 夫 展	22.10.9～11.28 応募点数1,956点 入場者数12,662人	23.10.8～11.13 応募点数1,991点 入場者数18,068人
展示会(創意工夫展を除く)	3回 " 30,982	3回 " 50,996

[ 指 標 ]

指 標 名：実験・講座等参加者数  
 指標説明：年間の実験・講座等参加者数



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 教育諸費	50,453,214	0	0	411,320	50,041,894

1 私学振興事業費 43,222,903円(教育政策課) <教育機会の充実>

[ 総 括 ]

運営費補助金等により、私立学校の運営の円滑化や教育環境の向上、並びに私立学校に在籍する児童及び生徒に係る就学上の経済的負担の軽減を図った。今後もこれらの施策実施においては、国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した対応に努めていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 私学運営費補助金 9,498,150円

区 分	平成22年度		平成23年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
私立高等学校(3校)	3,292人	6,127,400円	3,363人	6,194,850円
外国人学校(3校)	341	3,306,900	337	3,303,300
計	3,633	9,434,300	3,700	9,498,150

(2) 私立高等学校授業料補助金 32,441,550円

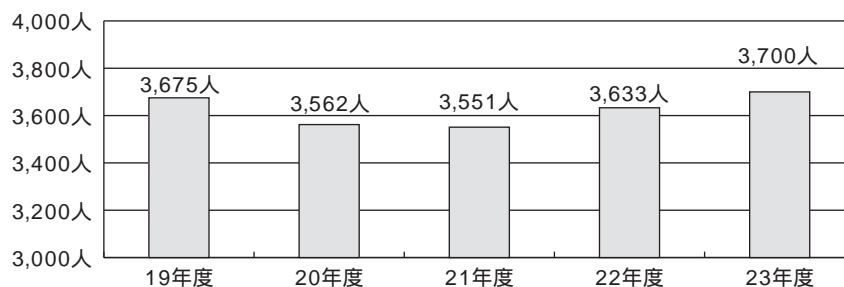
内 容	平成22年度		平成23年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	2,279人	33,880,750円	2,287人	32,441,550円

(3) 私立専修学校授業料補助金 1,283,203円

内 容	平成22年度		平成23年度	
	対象人員	補助額	対象人員	補助額
	146人	909,150円	162人	1,283,203円

[ 指 標 ]

指 標 名 : 私立高等学校、外国人学校在籍者数  
 指標説明 : //





2 特別支援学校調査事業費 5,582,526 円（教育政策課）＜個に応じた教育の推進＞

[ 総 括 ]

愛知県立豊川養護学校の過大規模解消を図るため、豊橋市立特別支援学校の平成 27 年 4 月開校に向け調査等に着手した。

[ 実績及び成果 ]

(1) 特別支援学校調査事業費 5,582,526 円

(ア) 用地測量等 5,477,710 円

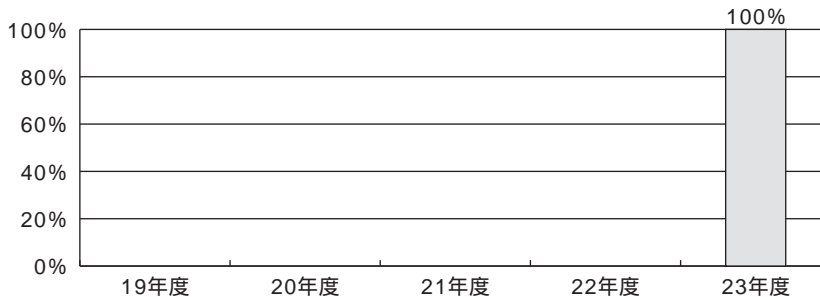
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

(イ) 基本設計等評価委員会の開催 104,816 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 指 標 ]

指 標 名：特別支援学校調査事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成23年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	2,046,613,617	33,854,944	489,000,000	570,404	1,523,188,269
1目 学 校 管 理 費	1,135,684,752	16,574,354	0	569,644	1,118,540,754

1 小学校管理事業費 294,704,127円(教育政策課) <豊かな学びの場としての学習環境の確保>

[ 総 括 ]

小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の実情に合わせた学校管理に向け、学校配当予算に導入している総額裁量制予算等の基準の見直しを含め、限られた予算の有効活用に努めていく。

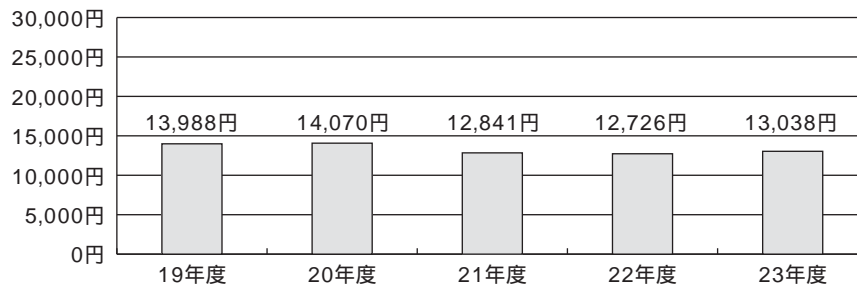
[ 実績及び成果 ]

(1) 管理事業費 294,704,127円 (5月1日現在)

区 分	平成22年度	平成23年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	847学級	836学級
児 童 数	23,023人	22,603人

[ 指 標 ]

指 標 名：児童1人当たりの管理費  
 指標説明：管理費 / 児童数(年間数値)



2 小学校教育推進事業費

459,159,045 円（教育政策課）＜豊かな学びの場としての学習環境の確保＞

[ 総 括 ]

開かれた学校づくりを推進するため、学校から地域社会への情報（教育目標、活動内容、行事日程など）発信を積極的に進めた。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全小学校 52 校で緑のカーテンを設置するとともに、6 年生児童に対して木の机・椅子の計画的な導入を行った。今後もさらなる教育環境の向上に努めていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 情報教育推進事業費 171,684,228 円

区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
学習用コンピュータ費	2,000台	132,633,564円	2,000台	132,633,564円
コンピュータネットワークシステム費		22,453,530		21,869,484
学校図書館管理用コンピュータ費	52	11,561,892	52	8,843,256
教材提示用コンピュータ費	112	13,264,776	112	8,337,924

(2) 教育活動事業費 259,249,899 円

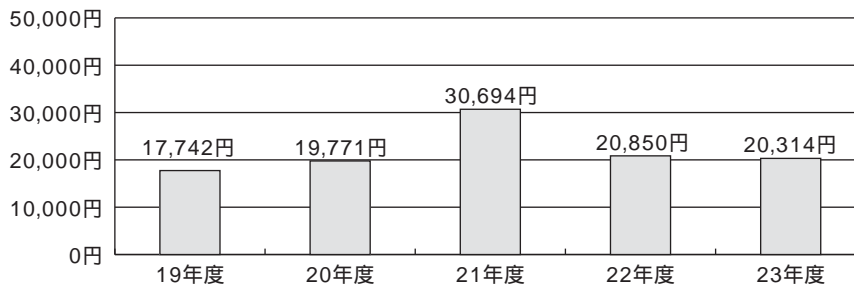
区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
学校図書館蔵書数		385,577冊		388,581冊
学校新聞発行部数	年2回（全世帯配布）257,480部		年2回（全世帯配布）259,494部	
学校評議員数		410人		410人
緑のカーテン設置数		52校		52校
木の机・椅子購入数		900組		900組

(3) 情報管理システム管理運営事業費 28,224,918 円

校務用コンピュータ費	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
	1,261台	24,522,744円	1,261台	28,224,918円

[ 指 標 ]

指 標 名：児童1人当たりの事業費  
 指標説明：直接事業費 / 児童数(年間数値)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 学校営繕費	734,911,543	14,329,000	489,000,000	760	231,581,783

1 小学校環境整備事業費 734,300,623 円(教育政策課) <豊かな学びの場としての学習環境の確保>

[ 総 括 ]

各学校施設の経年劣化や不良箇所の補修を順次行うとともに、熱中症対策のため、全小学校 52 校の普通教室に壁掛け扇風機を設置した。また、環境教育の教材として、西郷小学校始め 3 校にペレットストーブを設置したほか、吉田方小学校及び谷川小学校の校庭の一部に芝生を整備した。今後も計画的に補修を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

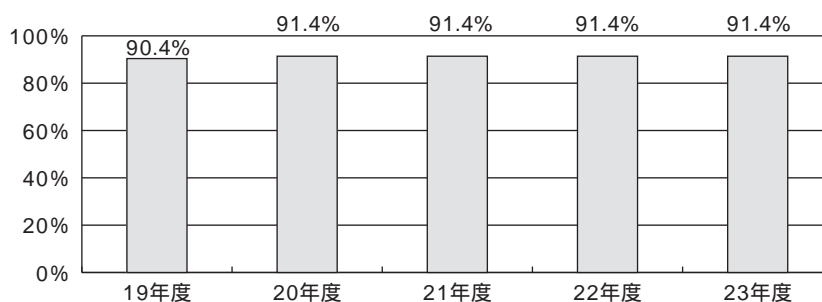
[ 実績及び成果 ]

区 分	平成22年度	平 成 2 3 年 度	
		規模等	学 校 名
校舎等改修事業費	34校	52校	
防犯カメラ設置	2	5	吉田方、牛川、向山、谷川、高根
ペレットストーブ設置		3	西郷、玉川、石巻
保健室シャワー設置工事等	26	9	松葉、大村、幸、福岡、富士見、前芝、谷川、豊南、高根
壁掛け扇風機設置		52	全校
防火シャッター改修工事	8	2	大崎、前芝
屋上防水工事	1	1	花田
体育館屋根塗装工事	2	1	吉田方
運動場等整備事業費	4	7	
保留地取得		1	汐田
校庭芝生整備	1	2	吉田方、谷川
門扉改修工事等	3	4	高師、岩西、飯村、高根
一般補修事業費	52	52	全校

[ 指 標 ]

指 標 名：小学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)/4



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,044,327,815	11,400,540	163,100,000	405,346	869,421,929
1目 学 校 管 理 費	628,054,577	227,605	0	405,071	627,421,901

1 中学校管理事業費 208,357,568円(教育政策課) <豊かな学びの場としての学習環境の確保>

[ 総 括 ]

中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の実情に合わせた学校管理に向け、学校配当予算に導入している総額裁量制予算等の基準の見直しを含め、限られた予算の有効活用に努めていく。

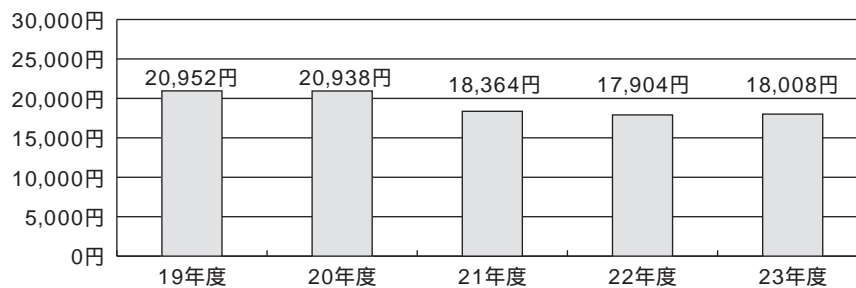
[ 実績及び成果 ]

(1) 管理事業費 208,357,568円 (5月1日現在)

区 分	平成22年度	平成23年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	366学級	375学級
生 徒 数	11,513人	11,570人

[ 指 標 ]

指 標 名：生徒1人当たりの管理費  
 指標説明：管理費 / 生徒数(年間数値)



2 中学校教育推進事業費 260,566,750 円（教育政策課）＜豊かな学びの場としての学習環境の確保＞

[ 総 括 ]

開かれた学校づくりを推進するため、学校から地域社会への情報（教育目標、活動内容、行事日程など）発信を積極的に進めた。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全中学校 22 校で緑のカーテンを設置した。今後もさらなる教育環境の向上に努めていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 情報教育推進事業費 84,626,798 円

区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
学習用コンピュータ費	924台	55,006,257円	908台	68,220,050円
コンピュータネットワークシステム費	9,020,106		8,747,784	
学校図書館管理用コンピュータ費	22	3,944,120	22	3,741,372
教材提示用コンピュータ費	45	6,029,100	45	3,917,592

(2) 教育活動事業費 160,382,978 円

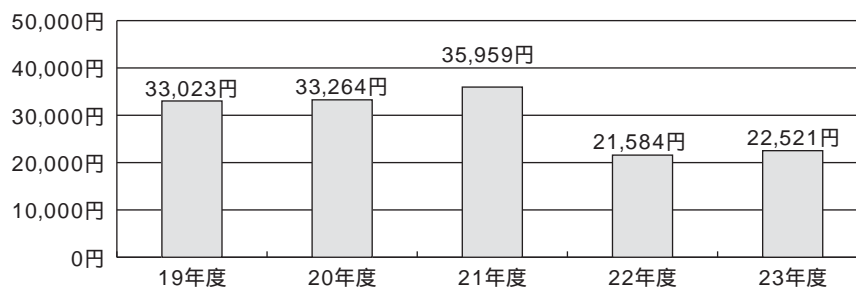
区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
学校図書館蔵書数	288,947冊	282,204冊
学校新聞発行部数	年2回（全世帯配布）242,300部	年2回（全世帯配布）249,500部
学校評議員数	158人	158人
緑のカーテン設置数	22校	22校

(3) 情報管理システム管理運営事業費 15,556,974 円

校務用コンピュータ費	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
	715台	13,990,668円	715台	15,556,974円

[ 指 標 ]

指 標 名：生徒1人当たりの事業費  
 指標説明：直接事業費 / 生徒数(年間数値)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 学校営繕費	301,889,088	9,443,000	163,100,000	275	129,345,813

1 中学校校舎等増改築事業費 200,117,686円(教育政策課) <豊かな学びの場としての学習環境の確保>

[ 総 括 ]

南稜中学校は、生徒数の増加にともない特別教室が不足しているほか、屋内運動場や運動場の規模も小さく、多様化する教育に対応することが困難な状況となっている。そこで屋内運動場・特別教室、プール等を整備するために、学校西側に用地を取得し屋内運動場改築等に向け実施設計を行った。

[ 実績及び成果 ]

(1) 南稜中学校屋内運動場改築等事業費 200,117,686円

(ア) 体育館棟・プール実施設計 10,132,500円

内 容	平成22年度	平成23年度

(イ) 用地取得費 130,655,603円

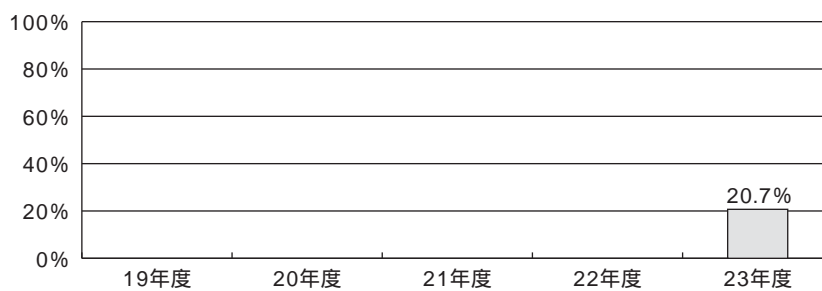
内 容	平成22年度	平成23年度

(ウ) 造成工事等 59,329,583円

内 容	平成22年度	平成23年度

[ 指 標 ]

指 標 名：南稜中学校屋内運動場改築等事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成23年度～25年度)



2 中学校環境整備事業費

101,299,069 円（教育政策課）＜豊かな学びの場としての学習環境の確保＞

[ 総 括 ]

各学校施設の経年劣化や不良箇所の補修を順次行うとともに、熱中症対策のため、全中学校 22 校の普通教室に壁掛け扇風機の設置を行った。今後も計画的に補修を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

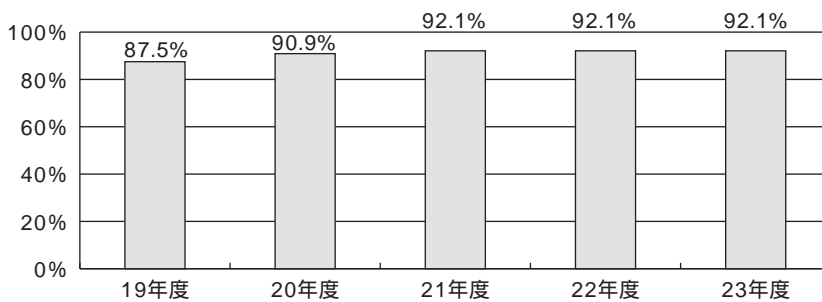
[ 実績及び成果 ]

区 分	平成22年度	平 成 2 3 年 度	
		規模等	学 校 名
校舎等改修事業費	11校	22校	
防犯カメラ設置	1	1	東陽
体育館照明改修工事等	11	3	中部、南陽、南稜
壁掛け扇風機設置		22	全校
屋上防水工事		1	南稜
運動場等整備事業費	2	2	
排水等改修工事		1	高師台
フェンス改修工事	2	1	南部
一般補修事業費	22	22	全校

[ 指 標 ]

指 標 名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)/4





科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 高等学校費	121,507,369	13,542,648	9,100,000	953,133	97,911,588
1目 学校管理費	121,507,369	13,542,648	9,100,000	953,133	97,911,588

1 市立高等学校教育推進事業費 80,086,480円(教育政策課) <教育機会の充実>

[総括]

働きながら学ぶことができる学校として、多様化する生徒一人ひとりの要望に対応できる教育環境づくりを進めた。特に、発達障害や不登校の生徒に対応するため心理カウンセラーを活用したほか、進路決定、就職活動等に向けてのキャリア教育研修を開催した。また、環境負荷の軽減及び環境学習の教材として太陽光発電システムを設置した。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばし、自ら学ぶ主体性の確立や、他者への思いやりの心を醸成するなど、特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 23,544,445円 (5月1日現在)

区 分	平成22年度	平成23年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	703人	724人

[施設整備] 12,387,648円

内 容	平成22年度	平成23年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 56,542,035円

(ア) 教育活動費 11,457,931円

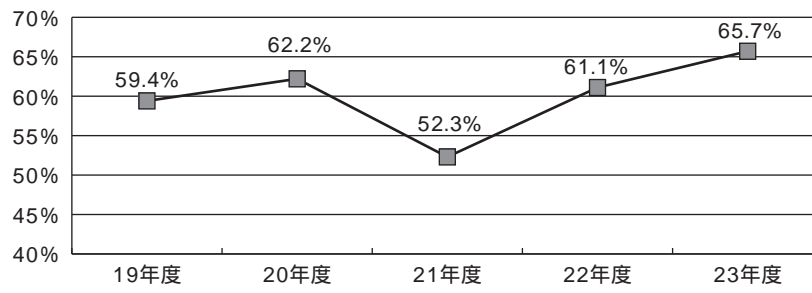
区 分	平成22年度		平成23年度	
学校図書館蔵書数	9,083冊		9,114冊	
定時制教育教科書給与費	32人	125,740円	36人	139,225円
学習用コンピュータ費	42台	3,758,580	42台	3,366,090
心理カウンセラー相談開催日数			40日	
キャリア教育研修開催回数			3回	

(イ) 外国人生徒教育支援事業費(緊急雇用創出事業) 1,677,233円

内 容	平成22年度	平成23年度
学習指導等の支援	105日	199日

[ 指 標 ]

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率  
指 標 説 明：卒業者数 / 入学者数



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5 項	家 政 高 等 専 修 学 校 費	83,898,957	7,188,000	6,100,000	161,487	70,449,470
1 目	学 校 管 理 費	83,898,957	7,188,000	6,100,000	161,487	70,449,470

1 家政高等専修学校教育推進事業費 37,513,842 円(教育政策課) <教育機会の充実>

[ 総 括 ]

社会生活に必要な教養を始め、服飾・調理に関する専門的な知識や技能の習得をめざした教育環境づくりを進めた。特に、卒業後の就職・進学に向け、生徒一人ひとりの個性や将来の夢を尊重した進路指導に努め、キャリア教育研修を開催するなど長引く経済不況による求人数の減少の中、就職・進学率の向上を図った。また、環境負荷の軽減及び環境学習の教材として太陽光発電システムを設置した。今後も、21世紀を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 管理事業費 12,384,781 円 (5月1日現在)

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	114人	120人

[ 施設整備 ] 8,744,691 円

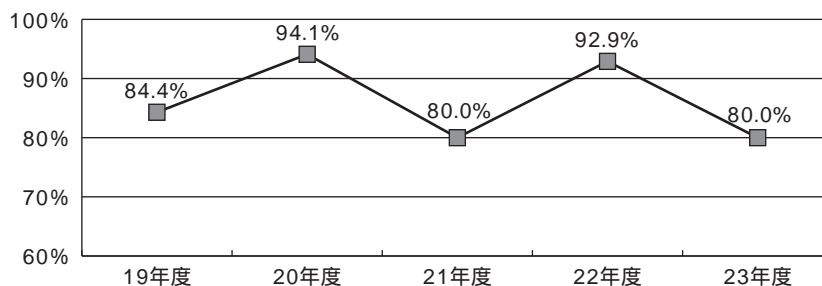
内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	一般補修工事	

(2) 教育活動事業費 25,129,061 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	2,961冊	2,959冊
学 習 用 コ ン ピ ュ ー タ 費	41台 2,656,836円	41台 2,656,836円
キャリア教育研修開催回数		6回

[ 指 標 ]

指 標 名 : 家政高等専修学校就職、進学率  
 指標説明 : (就職者数 + 進学者数) / 卒業生徒数



科目	決算額等 決算額（円）	財 源 内 訳（円）			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 社会教育費	2,286,475,390	254,801,012	13,600,000	520,134,198	1,497,940,180
2目 社会教育振興費	30,914,407	5,237,000	0	3,484,000	22,193,407

1 生涯学習推進事業費 8,768,095 円（生涯学習課）＜生涯学習活動の促進＞

[ 総 括 ]

社会環境の変化に伴い、多様化・高度化する市民の学習ニーズに対応するため、平成 23 年度からスタートした生涯学習推進計画に沿って、大学や市民活動団体、民間企業などと連携した講座や高齢者の健康講座など多彩な学習機会を提供するとともに、生涯学習サポートボランティアや生涯学習活動推進大会などの事業を展開した。今後も受講者アンケートの分析やトラム運営委員会の意見を反映させ、学習体系の見直しを図っていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 生涯学習市民大学事業費 7,303,146 円

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	
一 般 コ ー ス	67	2,057人	468回	73	2,038人	511回	地区市民館ほか
高 齢 者 コ ー ス	23	1,945	151	23	1,943	164	地 区 市 民 館

(2) 生涯学習啓発事業費 1,030,575 円

(ア) 生涯学習情報紙発行事業費 396,900 円

発 行 部 数	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		年2回 (公共施設配布)延 20,000部

(イ) 生涯学習情報システム運営事業費 633,675 円

(3) 生涯学習活動事業費 434,374 円

(ア) 生涯学習活動推進大会開催費補助金 428,374 円

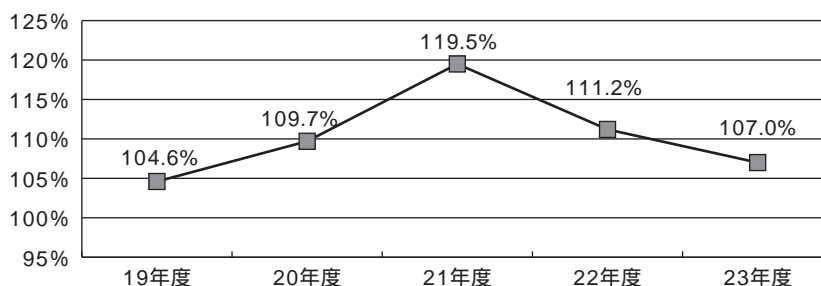
補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	326,900円	428,374円

(イ) 生涯学習サポートボランティア事業費 6,000 円

地区市民館生涯学習サポートボランティア活動回数	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	14回	12回

[ 指 標 ]

指 標 名：生涯学習市民大学定員充足率  
指 標 説 明：参加者数 / 定員



2 家庭教育事業費

12,683,377 円（生涯学習課）＜家庭教育・地域教育の推進＞

[ 総 括 ]

平成 23 年度は、企業や学校、地域と連携した家庭教育講座等を 22 年度に引き続き実施するとともに、家族全員での子育て、男性の育児参加を支援するパパママ子育て講座を新たに開催した。また県の基金事業を活用し、行政と NPO 等が連携し家庭教育の実践と家族支援を提供する、学校・家庭教育連携事業を実施し、家庭や地域における教育力の向上を図った。今後も現代的な課題や時代のニーズに合った講座を開催するなど積極的な家庭教育の推進を図っていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 家庭教育講座事業費 4,378,377 円

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	
家庭教育講座	5	127人	17回	4	88人	12回	生活家庭館ほか
幼児ふれあい教室	35	1,466	183	41	1,528	214	"
パパママ子育て講座				4	90	15	"

(2) 子育て学習講座事業費 8,305,000 円

(ア) 講座開催事業費 308,000 円

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	
子育て学習講座	42	3,225人	42回	42	3,256人	42回	各小学校
思春期家庭教育講座	1	38	1	2	854	2	各中学校

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 4,140,000 円

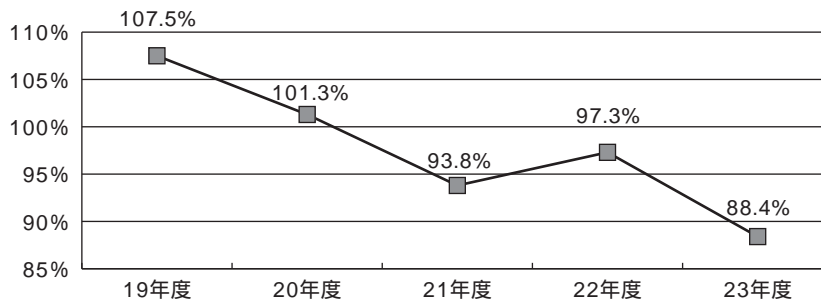
内 容	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	
地域いきいき子育て促進事業	52	28,698人	876回	52	26,114人	850回	校区市民館ほか

(ウ) 学校・家庭教育連携事業費 3,857,000 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 指 標 ]

指 標 名：家庭教育講座等定員充足率  
指 標 説 明：参加者数 / 定員



3 地域教育推進事業費

5,026,085 円（生涯学習課）＜家庭教育・地域教育の推進＞

[ 総 括 ]

子どもから大人まであらゆる世代が参加できる講座等を地域ごとに開催し、地域コミュニティの連帯感を育て、社会教育の推進を図った。今後も地域の意向に沿った事業を展開していく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 生涯学習推進セミナー事業費 245,485 円

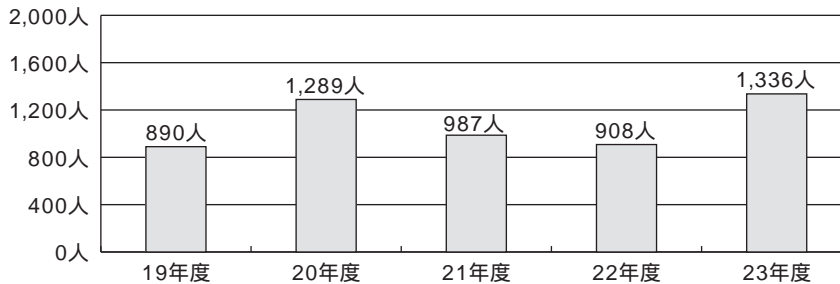
内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		開催場所
	延参加者	回 数	延参加者	回 数	
生涯学習推進セミナー	908人	16回	1,336人	19回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 4,780,600 円

内 容	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	
成 人 式	51	3,632人	46か所	51	3,622人	46か所	小学校体育館ほか

[ 指 標 ]

指 標 名：生涯学習推進セミナー参加者数  
 指標説明： ”



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 青少年育成費	637,796,488	172,644,475	0	134,752,316	330,399,697

1 子ども・若者育成事業費 74,309,140円(生涯学習課) <子ども・若者の健全育成活動の推進>  
[総括]

平成23年度からスタートした子ども・若者育成プランに沿って困難を抱える若者の支援を推進するため、子ども・若者支援地域協議会の中心機関として「子ども・若者総合相談窓口」を開設し、包括的な支援体制の整備を行った。また、青少年育成団体活動の支援、市民への多面的な意識啓発、青少年健全育成のつどいや明るい家庭づくり推進大会等を実施するとともに、ふるさと雇用再生事業を活用した青少年自立支援事業を展開した。今後も青少年に関する市民団体等と協働するなど、多様化する青少年問題に取り組む。

[実績及び成果]

(1) 子ども・若者育成支援事業費 70,849,140円

(ア) 青少年問題協議会委員

青少年問題協議会開催数	平成22年度	平成23年度
		2回

(イ) 子ども・若者総合相談窓口の運営

子ども・若者総合相談窓口 相 談 者 数	平成22年度	平成23年度

(ウ) 青少年自立支援事業委託料(ふるさと雇用再生事業)

青少年自立支援事業委託 (ふるさと雇用再生事業)	平成22年度	平成23年度
		自立に困難を抱える青少年に対する就労体験事業

(エ) 地域子ども会活動費

地域子ども会活動報告団体数	平成22年度	平成23年度
		376団体

(2) 青少年健全育成事業補助金 2,660,000円

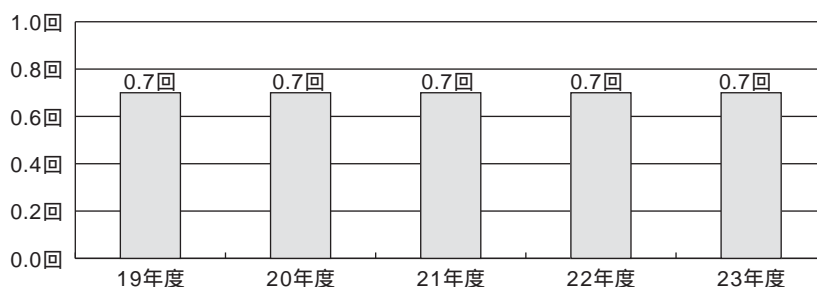
区 分	平成22年度	平成23年度
青少年健全育成会	22中学校区 52小学校区	22中学校区 52小学校区
補 助 金	2,660,000円	2,660,000円

(3) 市民協働型青少年事業費 800,000円

市民協働型提案事業	平成22年度	平成23年度
		2団体 777,000円

[ 指 標 ]

指 標 名：青少年健全育成会活動への成人1,000人当たりの参加回数  
 指標説明： //



2 放課後児童対策事業費 360,273,737 円（生涯学習課）＜放課後児童の居場所づくりの推進＞

[ 総 括 ]

野依・花田・豊南校区について公営による児童クラブを新設するとともに、引き続き民営児童クラブの運営に対する助成を行った。また、地域住民との交流や学びの場としての放課後子ども教室を1か所増設し、放課後児童の健全育成の充実を図った。今後も学校や地域との連携を強化し、放課後児童対策を推進する。

[ 実績及び成果 ]

(1) 公営児童クラブ運営事業費 227,182,765 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
事 業 費	34クラブ 197,566,139円	37クラブ 227,182,765円
年 間 利 用 者 数	延13,157人	延13,072人

(2) 民営児童クラブ運営事業費 118,399,900 円

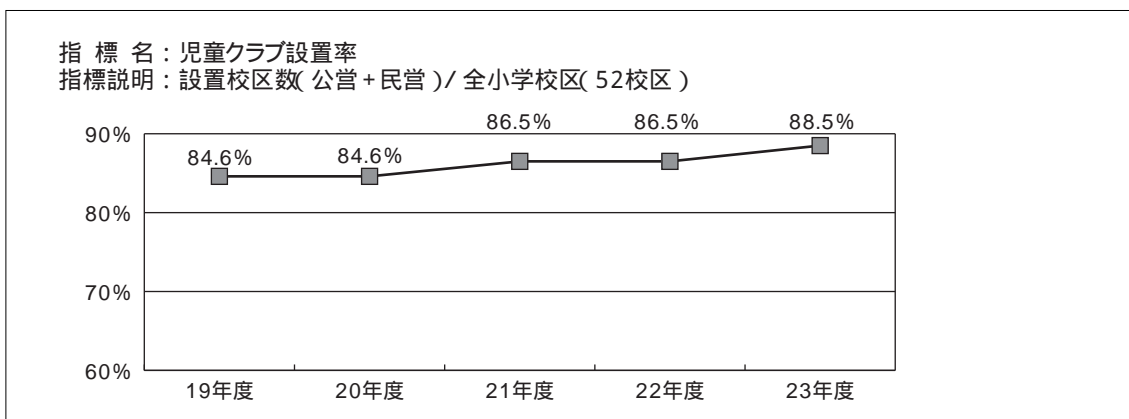
区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
放課後児童健全育成事業費補助金	25クラブ 111,057,000円	25クラブ 113,892,000円
民営児童クラブ利用料助成費	延151人 4,712,900	延142人 4,507,900

(3) 放課後子ども教室運営事業費 14,691,072 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	5教室の開設	6教室の開設



[ 指 標 ]



3 子ども・若者交流活動促進事業費 742,903 円 (生涯学習課) <子ども・若者の健全育成活動の推進>

[ 総 括 ]

平成 23 年度は、青少年指導者養成派遣事業については、派遣依頼が減少したことによる参加者の減少があったものの、交流体験学習活動においては、少年自然の家の自主事業の内容充実を図ったことにより、参加者が増加した。今後も市民ニーズを捉えた事業を今まで以上に推進し、参加率の向上を図る。

[ 実績及び成果 ]

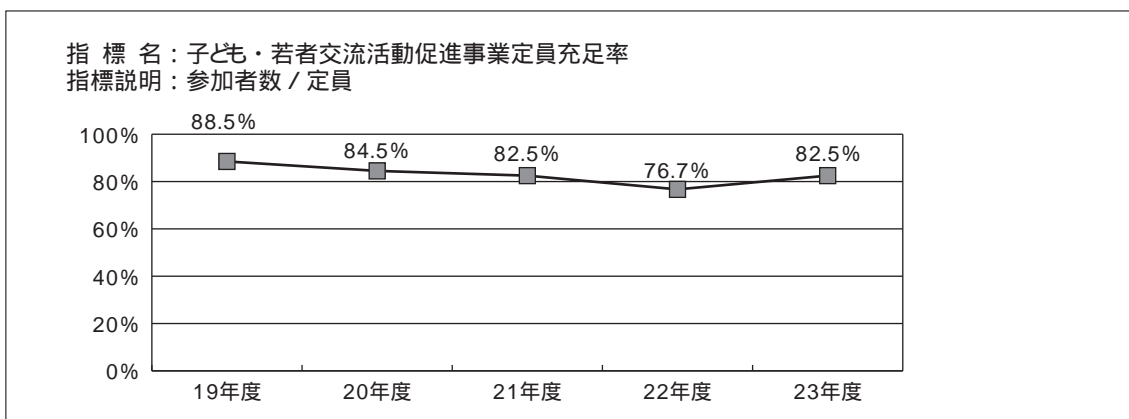
(1) 交流体験学習活動費 289,903 円

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
自然に親しむ親子のつどい	1	131人	7回	1	186人	5回	少年自然の家
三世代ふれあいキャンプ	1	109	1	1	99	1	"

(2) 青少年指導者養成派遣事業費 453,000 円

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			開催場所
	事業数	参加者	回 数	事業数	参加者	回 数	
リーダー養成講座	2	479人	12回	2	405人	11回	青少年センターほか
キャンプ指導員養成講座	1	36	4	1	0	0	少年自然の家
キャンプ指導員派遣事業	1	22	6	1	7	4	"
レクリエーション指導者派遣事業	1	130	50	1	140	49	校区市民館ほか

[ 指 標 ]



4 青少年教育施設管理運営事業費 123,106,350 円（生涯学習課）＜子ども・若者の育成施設の充実＞

〔総括〕

平成 23 年度は、児童文化センター、青少年センター及び中央青年の家を統合するとともに、指定管理者制度を導入し、利用者の利便性の向上を図った。施設利用者数は、青少年センターの利用者が指定管理者の魅力ある提案事業の実施等により大幅に増加し、他の施設は減少または前年度並みの利用者数となり、全体としては増加した。引き続き、青少年団体の活動拠点として効果的な施設運営を行うとともに、今後は子ども・若者育成支援の場としても充実を図る。

〔実績及び成果〕

(1) 青少年センター管理運営事業費 51,813,069 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
遊 戯 室	延 1,864人	延 1,469人	21.2%
展 示 室	延 2,184	延 2,978	36.4
研 修 棟	延 4,230	延 7,715	82.4
宿 泊 棟	延 2,699	延 2,888	7.0
運 動 広 場	延 7,277	延 6,709	7.8
テ ニ ス コ ー ト	延 4,593		皆減
体 育 室	延 15,135	延 13,996	7.5%
音 楽 室	延 6,889	延 4,411	36.0
大 研 修 室	延 8,232	延 7,705	6.4
ト レ ー ニ ン グ 室	延 516		皆減
そ の 他	延 4,861	延 15,611	3.2倍
計	58,480	63,482	8.6%

(2) 少年自然の家管理運営事業費 26,909,223 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
管 理 棟（日帰り）	延 6,237人	延 6,393人	2.5%
宿 泊 棟	延 3,187	延 3,008	5.6
キ ャ ン プ 場	延 1,040	延 1,180	13.5
計	10,464	10,581	1.1

〔施設整備〕

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

(3) 野外教育センター管理運営事業費 29,594,316 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
本 館（日 帰 り）		204人	皆増
宿 泊 室	3,914人	3,525	9.9%
計	3,914	3,729	4.7

〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度
	大階段手すり改修工事	本館外壁防水塗装工事

(4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,147,742 円

〔利用状況〕

内 容	平成22年度	平成23年度	比 較
利 用 者 数	延 3,271人	延 2,164人	33.8%

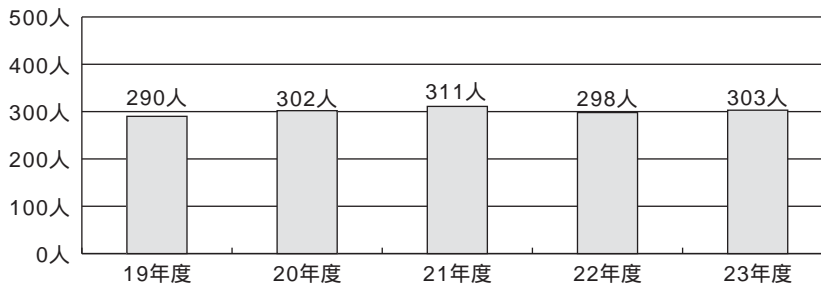
(5) 江比間野外活動センター管理負担金 11,642,000 円

〔利用状況〕

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
宿 泊 利 用	延 5,182人	延 4,779人	7.8%
日 帰 研 修	延 4,502	延 4,229	6.1
キ ャ ンプ 利 用	延 974	延 888	8.8
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 2,593	延 2,149	17.1

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数  
 指標説明：利用者数 / 開館日数



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目	社会教育施設 管 理 費	289,023,249	3,001,284	0	27,384,908	258,637,057

1 生活家庭館、地区市民館管理運営事業費 285,203,429 円 (生涯学習課) <生涯学習・社会教育施設の充実>  
[ 総 括 ]

市民の生涯学習施設として利用されている生活家庭館、地区市民館の適切な管理運営を指定管理者とともに実施し、利用促進に努めた。また、平成 23 年度からは祝日開館を開始し、利用者の利便性向上を図るとともに、トイレの洋式化を進めるなど施設の充実に努めた。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実に努め、多くの市民が快適に利用できる施設運営に努める。

[ 実績及び成果 ]

(1) 生活家庭館管理運営事業費 13,312,357 円

[ 利用状況 ]

区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		比 較 (延利用人員)
	延 件 数	延利用人員	延 件 数	延利用人員	
本 館	3,719件	52,335人	3,889件	58,340人	11.5%
和 風 集 会 室	346	5,183	360	5,938	14.6
大 集 会 室	506	13,800	574	15,246	10.5
そ の 他 来 館		10,383		10,731	3.4
計	4,571	81,701	4,823	90,255	10.5

(2) 地区市民館管理運営事業費 (23 館) 271,891,072 円

[ 利用状況 ]

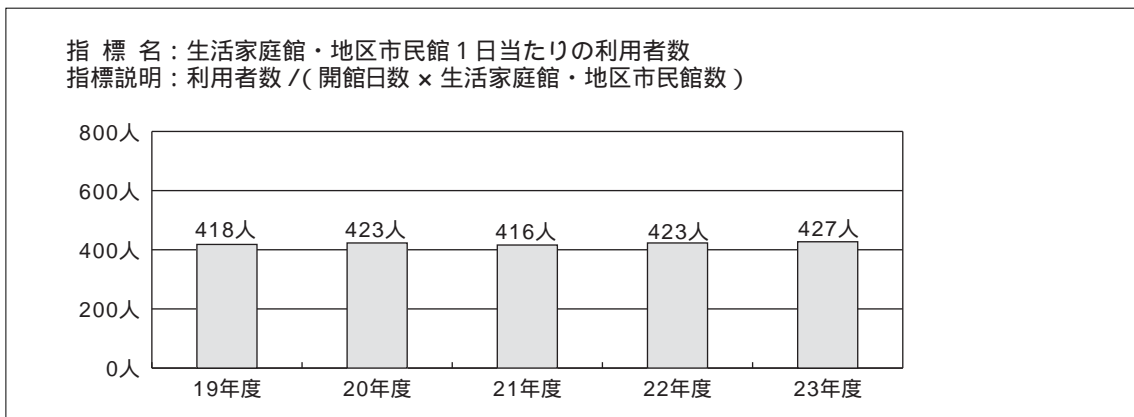
区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
二川地区市民館	件 2,054	人 69,115	冊 36,363	件 2,180	人 67,400	冊 44,266	% 2.5
豊岡 "	1,468	37,999	3,547	1,410	33,120	2,748	12.8
東陽 "	1,455	43,869	3,708	1,491	42,693	4,384	2.7
南稜 "	1,305	55,470	14,695	1,282	54,307	19,862	2.1
前芝 "	598	15,197	613	579	14,707	1,108	3.2
青陵 "	1,937	74,104	39,152	2,169	78,754	50,284	6.3
杉山 "	990	23,510	1,280	1,022	21,347	1,901	9.2
石巻 "	1,381	50,702	17,791	1,525	51,897	20,032	2.4
羽根井 "	1,870	32,896	503	1,830	32,885	437	0.0
吉田方 "	1,704	30,575	1,062	1,635	33,354	1,020	9.1
五並 "	553	28,514	682	539	20,940	1,654	26.6
牟呂 "	1,273	52,423	7,072	1,297	55,217	9,159	5.3
高豊 "	627	19,331	521	663	17,615	626	8.9
北部 "	1,567	31,887	5,522	1,685	31,733	6,495	0.5
南部 "	2,139	59,443	21,947	2,112	58,477	29,068	1.6
豊城 "	1,562	40,369	1,721	1,677	41,412	1,832	2.6
中部 "	1,457	32,857	1,389	1,526	31,656	1,671	3.7

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度			比 較 (延利用人員)
	延件数	延利用人員	延図書貸出	延件数	延利用人員	延図書貸出	
高師台地区市民館	件 1,877	人 44,493	冊 2,211	件 1,788	人 42,601	冊 3,044	% 4.3
東 部 "	1,297	28,968	1,825	1,295	30,773	2,048	6.2
東部地区市民館飯村分館	3,251	78,306	3,027	3,248	74,436	4,121	4.9
南陽地区市民館	1,552	32,575	842	1,525	33,231	1,104	2.0
本郷 "	1,264	29,956	1,075	1,198	26,916	1,062	10.1
東陵 "	1,828	65,468	5,162	1,847	62,494	5,353	4.5
計	35,009	978,027	171,710	35,523	957,965	213,279	2.1

〔施設整備〕

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	外壁改修工事(羽根井) 床張替等修繕(東陵ほか9館) 冷暖房機取替(吉田ほか8館) トイレ改修工事等(前芝ほか6館)	外壁等改修工事(本郷ほか3館) 冷暖房機取替(豊岡ほか6館) トイレ改修工事(豊岡ほか3館)

〔指標〕



2 地区市民館整備事業費 3,819,820 円 (生涯学習課) <生涯学習・社会教育施設の充実>

〔総括〕

南稜地区市民館、南地域図書館(仮称)及び大清水窓口センターとの複合施設整備に着手し、平成23年度は用地測量を実施した。26年度の供用開始に向けて、計画的に整備を進めていく。

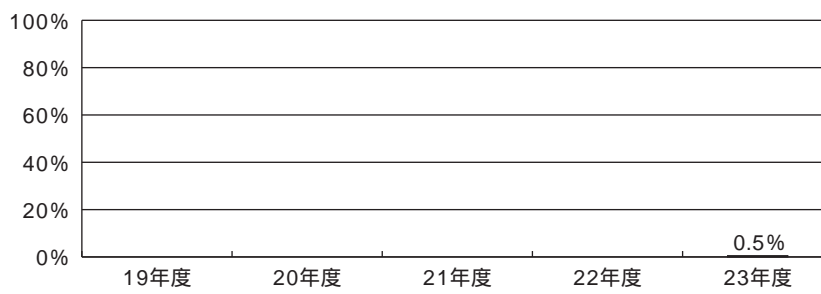
〔実績及び成果〕

(1) 地区市民館整備事業費 3,819,820 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

[ 指 標 ]

指 標 名 : 南稜地区市民館等複合施設整備事業進捗率  
指 標 説 明 : 累積直接事業費 / 全体直接事業費(平成23年度 ~ 26年度)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 図 書 館 費	397,914,015	20,402,970	0	2,055,638	375,455,407

1 中央図書館事業費 76,150,610円(図書館)<図書館の充実>

[総括]

図書館の利用促進を図るため、1人5冊までであった貸出冊数を10冊に増やしたことにより、貸出冊数が増加し、蔵書回転率も大幅に上昇した。また、緊急雇用創出事業による図書補修・整理業務を行い、図書の整備と利用者の利便性の向上を図った。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに資料展、講座、参加型行事等を開催し市民に親しまれる図書館をめざす。

[実績及び成果]

〔利用状況等〕

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
開 館 日 数	287日	288日	0.3%
館 外 貸 出 人 数	延 259,344人	延 235,149人	9.3
館 外 貸 出 冊 数	延 1,095,504冊	延 1,219,338冊	11.3
蔵 書 冊 数	634,440	641,737	1.2
( )内は司文庫	( 33,617 )	( 33,896 )	( 0.8 )
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	7,025枚	7,133枚	1.5

〔資料購入状況〕

区 分	内 容	平成22年度	平成23年度	比 較
図 書	一 般	11,143冊	9,662冊	13.3%
	児 童	4,168	3,523	15.5
	参 考	339	328	3.2
	郷 土	122	85	30.3
	計	15,772	13,598	13.8
逐次刊行物	雑 誌 等	237種	240種	1.3
	新 聞	22	22	0.0
	追 録	9	9	0.0
視聴覚資料	C D、D V D 等	113枚	108枚	4.4

(1) 児童図書業務費 9,084,876円

(2) 一般図書業務費 31,398,996円

(3) レファレンス業務費 2,966,428円

(4) 郷土・司文庫等図書業務費 3,072,850円

(ア) 司文庫図書等購入 1,233,900円

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
図 書 購 入	331冊	279冊	15.7%

(イ) 和装本整備事業 516,925 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
内 容	所蔵している和装本の目録用書誌 データ作成業務	所蔵している和装本の目録用書誌 データ作成業務
書誌データ作成件数	120件	100件

(5) A V ・ C D 電子図書業務費 1,554,894 円

(ア) 電子情報コーナー運営費 1,256,840 円

(6) 行事開催業務費 10,001,813 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
資 料 展 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	4回 延 9,176人	4回 延 7,570人
市 民 向 け 講 座	4講座 延 352	5講座 延 361
ボランティア等育成講座、研修	8講座 延 518	8講座 延 463
語る会、コンサート	3回 延 455	3回 延 452
子ども読書の日記念行事	4~5月 延 765	4~5月 延 631
夏休み子どもフェスティバル	7月 延 228	7月 延 201
図書館まつり	12月 延 4,624	12月 延 3,558
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	49回 配付数 3,486セット (絵本、絵本袋)	49回 配付数 3,580セット (絵本、絵本袋)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	24回 延 2,394人	30回 延 2,103人
おはなしのへや	494回 延 9,412	477回 延 8,115

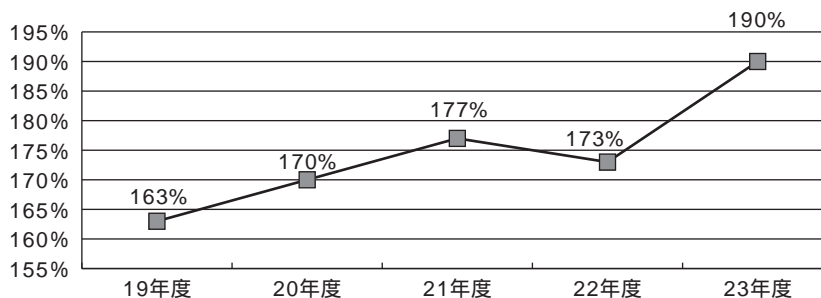
(7) カウンター窓口業務費 12,432,253 円

(8) 共通費 5,638,500 円

施設整備内容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	階段床等改修工事 断熱フィルム貼付業務委託 LED・高効率型照明器具設置工事 太陽光発電システム設置工事等	西側階段壁改修工事 駐車場区画改修工事 蓄電池触媒栓取替修繕等

[ 指 標 ]

指 標 名 : 中央図書館蔵書回転率  
指 標 説 明 : 貸出冊数 / 蔵書冊数





2 配本センター事業費

46,235,836 円（図書館）＜図書館の充実＞

[ 総 括 ]

住民生活に光をそそぐ交付金を活用し、老朽化したカーベットの改修を行い、利用者に快適な読書環境の提供を図った。また、市民館での図書室利用促進のため、モデル館を 8 館設定し、図書の展示方法の改善やテーマを持った図書の配架を実施した。今後は、図書館システムが設置されているネットワーク館の拡大や、広範な市域の利用者への充実した図書館サービスの提供に努める。

[ 実績及び成果 ]

〔 利用状況等 〕

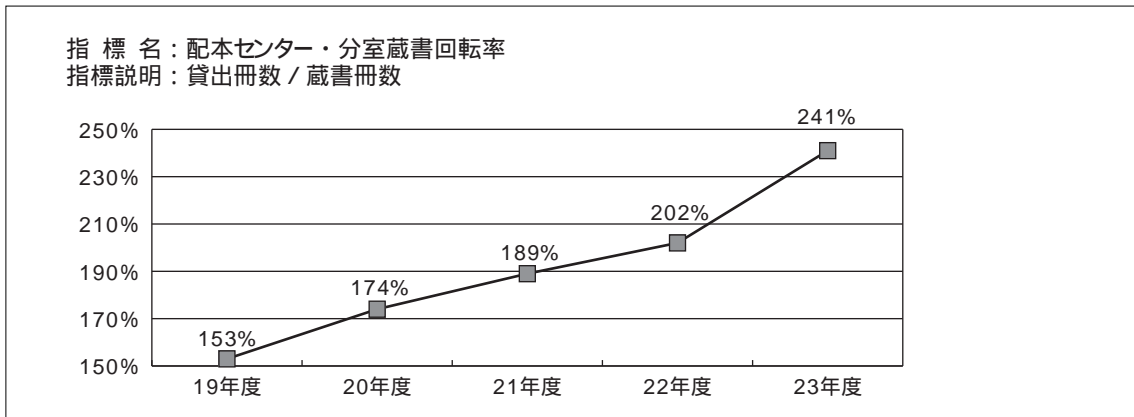
区 分		平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
開 館 日 数		287日	288日	0.3%
館外貸出人数	配 本 セ ン タ ー	延 89,552人	延 83,691人	6.5
	分 室	延 76,951	延 82,232	6.9
	計	166,503	165,923	0.3
館外貸出冊数	配 本 セ ン タ ー	延 351,254冊	延 390,069冊	11.1
	分 室	延 222,166	延 269,297	21.2
	計	573,420	659,366	15.0
蔵 書 冊 数		283,534	274,015	3.4

〔 資料購入状況 〕

区 分	内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
図 書	一 般	7,050冊	6,183冊	12.3%
	児 童	7,289	4,369	40.1
	参 考	11	1	90.9
	郷 土	6	13	2.2倍
	計	14,356	10,566	26.4%
逐次刊行物	雑 誌	48種	49種	2.1
	新 聞	10	10	0.0

- (1) 配本業務費 38,934,424 円
  - (ア) 図書館分室コンピュータネットワーク運営費 2,581,132 円
- (2) カウンター窓口業務費 7,301,412 円

[ 指 標 ]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 美術博物館費	664,256,823	52,626,589	0	342,812,919	268,817,315

1 美術博物館事業費 340,881,745 円(美術博物館) <美術博物館の充実>

[総括]

郷土豊橋を中心とした美術、歴史について幅広く紹介するため「平川敏夫と大森運夫」、「渡辺小華とその時代」、「豊橋市民展」、「黄金の世紀」など地元に着目した展覧会を開催したほか、全国巡回展として「カンヴァスに描かれた女性たち」を開催した。また、若手作家の育成を目的とした公募展「第5回トリエンナーレ豊橋」や、美術博物館が収集した美術作品を紹介する「『新』収蔵品展」を開催した。今後は、老朽化し手狭になっている収蔵庫と展示室の増築を計画的に進め、施設の機能充実と利用者の利便性及び観賞環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 68,403,185 円

[利用状況]

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較
開 館 日 数	306日		305日		0.3%
企 画 展	9件	延 75,677人	9件	延 58,119人	23.2
共 催 展	4	延 5,513	4	延 8,673	57.3
一 般 展	77	延112,441	77	延109,960	2.2
公 開 講 座 等	29	延 2,696	29	延 4,045	50.0
計	196,327		180,797		7.9

(2) 展覧会事業費 259,287,110 円

(ア) 展覧会開催事業費 57,461,298 円

平成22年度		平成23年度		入場者数 比 較
展 覧 会 名	延入場者数	展 覧 会 名	延入場者数	
豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	8,790人	豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	7,706人	12.3%
第32回豊橋美術展	4,254	第33回豊橋美術展	4,024	5.4
第60回豊橋市民展	5,826	第61回豊橋市民展	4,003	31.3
すりもの展 -印刷物にみる豊橋の近代-	2,770 (1回 30人)	郷土画人展 「渡辺小華とその時代」	3,081 (2回 73人)	
愛知県指定天然記念物 「葦毛湿原」展	5,289 (3回 154人)	夏休み企画展 「素材の冒険」	5,359	
～コルシカに生き、光を描く～ 松井守男回顧展	7,955	三遠南信文化交流展 「黄金の世紀」	4,845 (3回 220人)	
-パリを愛した孤独の画家- モーリス・ユトリロ展	19,896 (2回 183人)	「カンヴァスに描かれた女性 たち」展	10,262 (1回 95人)	
豊橋市美術博物館 「収蔵品展2000-2010」	3,914 (5回 116人)	豊橋市美術博物館収蔵品展 「平川敏夫と大森運夫」	6,073 (1回 23人)	
		第5回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展	4,805	
常 設 展	16,983	常 設 展	7,961	53.1
延437日	75,677 (11回483人)	延412日	58,119 (7回 411人)	23.2

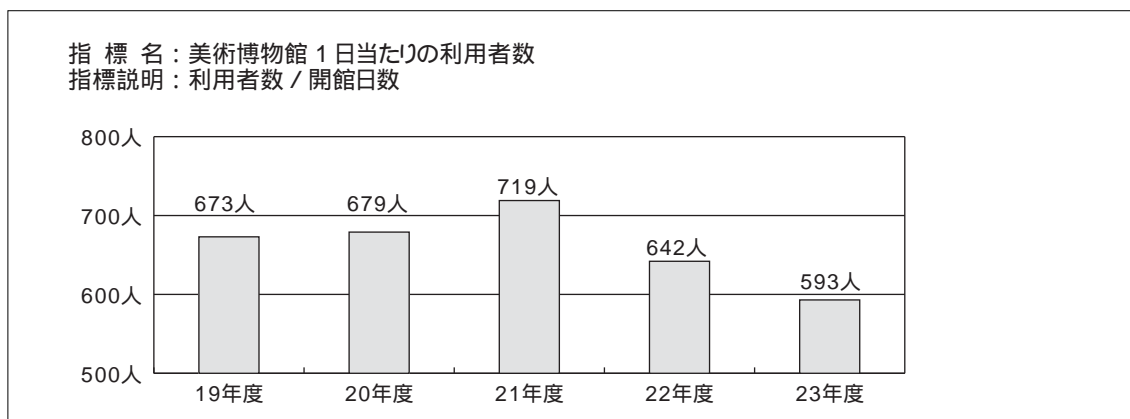
( )は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(1) 歴史資料整理事業（緊急雇用創出事業） 1,645,812 円

(3) 資料収集事業費 13,191,450 円

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
美 術 資 料	三岸好太郎作 洋画 「狐塚風景」等 3点	北川民次作 洋画 「かまどと働く人々」等 4点
歴 史 資 料	「東海道西海道図巻」等 7件	「経筒」等 8件

[ 指 標 ]



2 民俗資料収蔵室運営事業費 3,356,622 円（美術博物館）＜美術博物館の充実＞

[ 総 括 ]

民俗資料収蔵室として活用している旧多米小学校は、昭和 19 年に建てられた市内に残る唯一の木造校舎で、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用された。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして当時の教室の様子を再現している。今後は、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

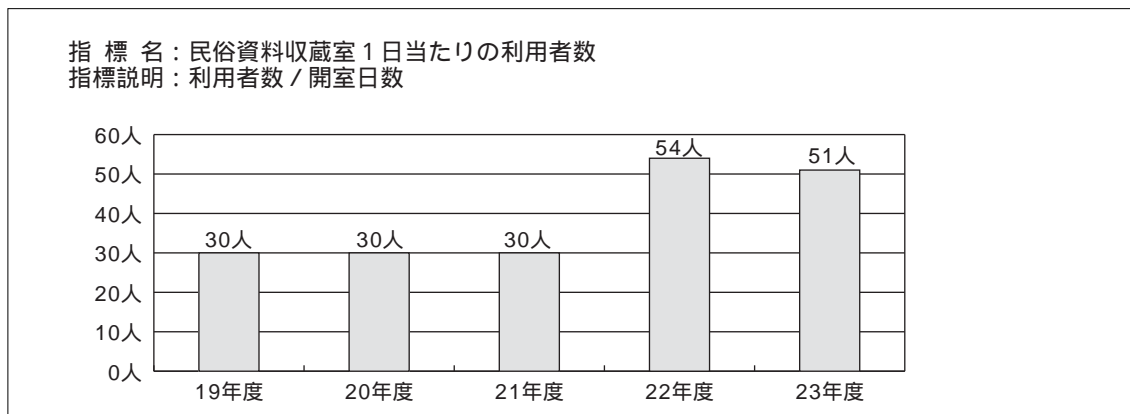
[ 実績及び成果 ]

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 3,356,622 円

[ 利用状況 ]

区 分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	比 較
開 室 日 数	141日	140日	0.7%
延 入 室 者 数	7,569人	7,203人	4.8

[ 指 標 ]



3 文化財保護事業費 199,023,177 円（美術博物館）＜文化財保護活動の推進＞

[ 総括 ]

市内に所在する文化財についてこれを保護し活用するため、普門寺旧境内等の埋蔵文化財調査や指定・登録文化財の保護、調査等を実施した。また、埋蔵文化財収蔵庫（野依町）の移転先として、旧母子保健センター（松葉町）を選定した。年ごとの発掘調査面積の増加に対処するための調査体制の整備が課題となっている。

[ 実績及び成果 ]

(1) 文化財調査事業費 185,478,576 円

(ア) 市内遺跡発掘調査等

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	普門寺旧境内の範囲確認調査、 橋良遺跡の発掘調査等	普門寺旧境内の範囲確認調査、 吉田城址・居村遺跡の発掘調査等

(イ) 牛川西部地区発掘調査

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	西側北遺跡・眼鏡下池北遺跡ほかの発掘調査	東側遺跡・西側遺跡ほかの発掘調査

(ウ) 牟呂坂津地区発掘調査

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	境松遺跡・若宮遺跡の発掘調査	内田貝塚・境松遺跡の発掘調査

(エ) 報告書作成業務

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	埋蔵文化財調査報告書第114・115・ 116・117集の作成	埋蔵文化財調査報告書第118・119・ 120・121・122・123集の作成

(オ) 埋蔵文化財緊急発掘調査等

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	本郷遺跡の緊急試掘調査ほか	乗小路 B 3 号墳の緊急試掘調査ほか

カ 指定天然記念物植生調査

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ植 生調査	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ植 生調査

キ 有形民俗資料整理事業（緊急雇用創出事業）

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	市内各所に保管されている有形民俗資料の整理	市内各所に保管されている有形民俗資料の整理

ク 埋蔵文化財資料整理事業費（緊急雇用創出事業）

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		埋蔵文化財出土品の再整理

(2) 文化財保存事業補助金 8,337,000 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	龍拈寺山門の修理ほか1件	浄慈院地藏堂の修理

(3) 文化財保存活用事業費 5,207,601 円

(ア) 文化財保護講演会等開催事業

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	「葦毛湿原」に関するシンポジウムを開催	「黄金の世紀」展に関連した講演会や、愛知県民俗芸能大会豊橋市大会を開催

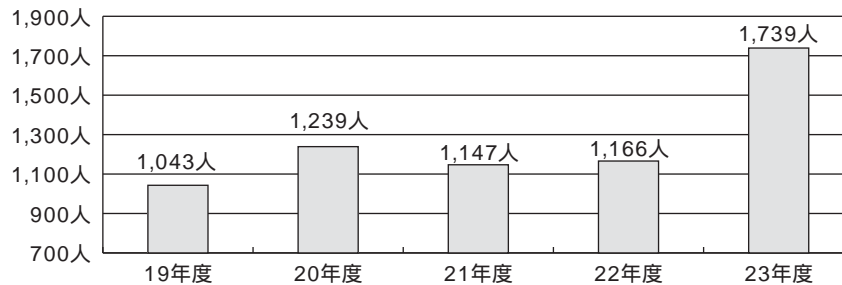
(イ) 文化財説明標示板設置委託等

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	湊築島弁天社ほか2か所	石巻神社ほか2か所

[ 指 標 ]

指 標 名：文化財保護事業参加者数

指標説明：文化財保護講演会参加者 + とよはし歴史探訪参加者 + 出前講座等参加者



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目	二川宿本陣資料館費	86,013,276	888,694	13,600,000	9,644,417	61,880,165

1 二川宿本陣資料館事業費 40,870,301円(美術博物館)<歴史的建造物の保存と活用>

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「絵図から地図へ - 移り変わる豊橋の風景 -」、「開館20周年記念棟方志功の東海道五十三次展」、「開館20周年記念歴史の道 - 姫街道展 -」などの企画展、「体験講座」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。今後、より多くの市民に来館してもらえるような魅力的な企画展の開催、イベント等開催にあたっての地域住民との連携が課題となる。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 23,874,749円

[利用状況]

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
開 館 日 数	308日	313日	1.6%
延 入 館 者 数	35,120人	38,992人	11.0

(2) 展覧会事業費 11,501,852円

(ア) 展覧会開催事業費 8,416,226円

平成22年度		平成23年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
三人の広重展 - 初代・二代・三代広重の描いた東海道 -	4,188人	絵図から地図へ - 移り変わる豊橋の風景 -	3,385人
三河・遠江の城郭展	2,795	開館20周年記念 棟方志功の東海道五十三次展	5,427
海の街道展 - 伊勢湾を渡る -	9,671	開館20周年記念 歴史の道 - 姫街道展 -	9,393
常設企画展 3回	4,924	常設企画展 3回	5,774
記念講演会 1	53	記念講演会等 2	156
計	21,631	計	24,135

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 571,900 円

平成22年度		平成23年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展 - 端午の節句 -	会期中入館者 2,476人	五月人形展 - 端午の節句 -	会期中入館者 2,155人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 320	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 371
ほんじん講座	受講者 45	ほんじん講座	受講者 21
七夕の節句	会期中入館者 603	七夕の節句	会期中入館者 642
本陣古文書講座	受講者 104	本陣古文書講座	受講者 112
本陣体験講座「わらぞうちを作ろう」	参加者 20	本陣体験講座「わらぞうちを作ろう」	参加者 21
本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 21	本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 23
本陣体験講座「団扇を作ろう」	参加者 46	本陣体験講座「団扇を作ろう」	参加者 42
菊の節句 - 重陽 -	会期中入館者 617	菊の節句 - 重陽 -	会期中入館者 1,599
箏琴の演奏会	参観者 80		
春の七草展 - 人日の節句 -	会期中入館者 803	春の七草展 - 人日の節句 -	会期中入館者 929
ひなまつり	会期中入館者 10,010	ひなまつり	会期中入館者 11,012
本陣句会	応募者 73	本陣句会	応募者 85

(ウ) 歴史資料整理事業費（緊急雇用創出事業） 893,100 円

(3) 資料収集事業費 993,700 円

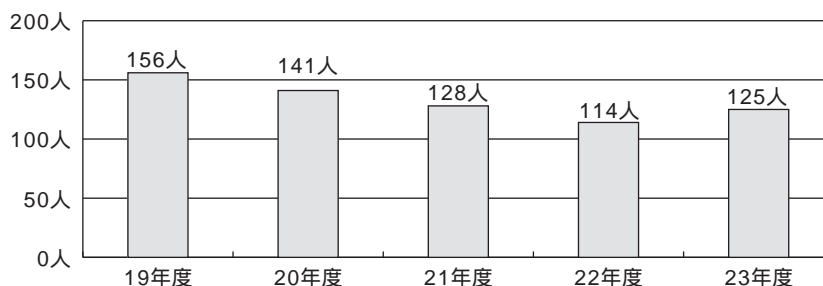
内 容	平成22年度	平成23年度
	東海道六郷渡風景等 20点	京都一覧図画等 6点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,500,000 円

補 助 金	平成22年度	平成23年度
	4,500,000円	4,500,000円

[ 指 標 ]

指 標 名：二川宿本陣資料館 1日当たりの入館者数  
 指標説明：入館者数 / 開館日数



2 二川宿本陣資料館周辺整備事業費 17,217,024 円（美術博物館）＜歴史的建造物の保存と活用＞

[ 総 括 ]

豊橋市指定有形文化財である商家「駒屋」の改修復原工事にかかる実施設計を行った。今後は、商家「駒屋」整備を計画的に進め、整備完了後における管理・運営・活用について地元住民との連携を図りながら、本陣、旅籠屋「清明屋」を含めた二川宿を全国にPRするため、二川宿のブランド化を進めていく。

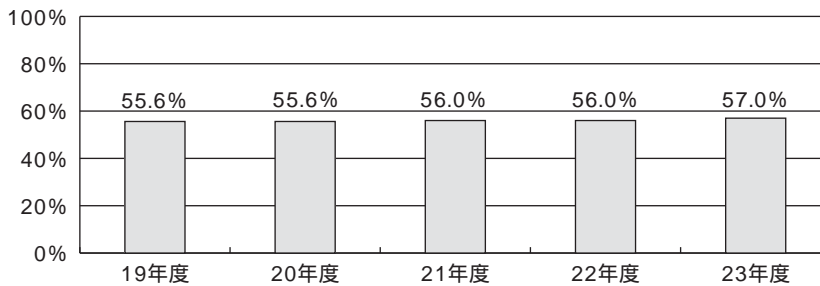
[ 実績及び成果 ]

(1) 商家「駒屋」整備事業費 17,217,024 円

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	整備活用検討委員会の設置	実施設計委託等

[ 指 標 ]

指 標 名：二川宿本陣資料館周辺整備事業進捗率  
 指標説明：実施事業費 / 総事業費(平成12年度～27年度)





科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7項 保健給食費	3,550,272,384	909,000	0	1,526,387,641	2,022,975,743
1目 学校保健費	192,821,412	0	0	13,584,720	179,236,692

1 学校保健事業費 178,668,775 円 (保健給食課) <子どもの心と体の健康増進>

[ 総 括 ]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境調査後、基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 学校健康診断事業費 143,181,137 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 103,997,490 円

区 分		人 員	
		平成22年度	平成23年度
学 校 医	内 科	84人	85人
	耳 鼻 科	15	15
	眼 科	13	13
学 校 歯 科 医		82	83
学 校 薬 剤 師		38	38
計		232	234

(イ) 健康診断費 39,183,647 円

区 分	対 象	平成22年度	平成23年度	比 較
検 便	児 童	34,190人	33,428人	2.2%
検 尿	児 童 生 徒	35,836	35,432	1.1
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	11,601	11,567	0.3
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,576	3,377	5.6
教 職 員 健 診	全 員	8,066	7,863	2.5

(2) 学校保健会補助金 1,089,694 円

補 助 金	平成22年度	平成23年度
	739,602円	1,089,694円

(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 32,594,650 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 32,594,650 円

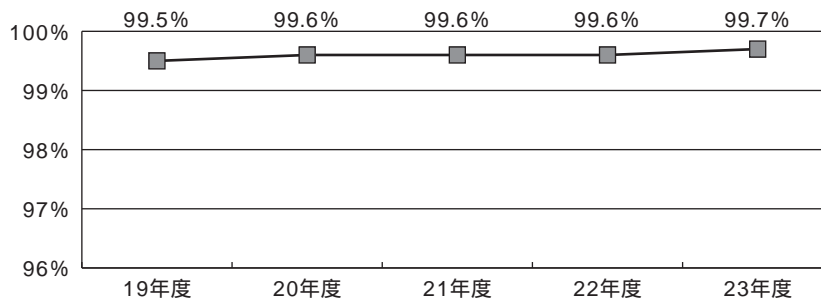
(4) 学校結核予防事業費 1,803,294 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成22年度	平成23年度	比 較	平成22年度	平成23年度	比 較
ツベルクリン反応検査	0人	0人	0.0%			
間 接 撮 影	282	280	0.7	1,814人	1,817人	0.2%
直 接 撮 影	145	146	0.7	12	13	8.3
事 後 措 置	0	0	0.0	0	0	0.0

[ 指 標 ]

指 標 名：健康診断受診率

指 標 説 明：健康診断受診者数 / 児童生徒数(5 / 1現在)



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 学 校 給 食 共 同 調 理 場 費	3,019,593,143	40,000	0	1,512,692,481	1,506,860,662

1 共同調理場運営事業費 917,713,940 円（保健給食課）＜子どもの心と体の健康増進＞

[ 総 括 ]

小学校 52 校、中学校 22 校の児童生徒に安全な給食を提供することを目的に衛生管理に十分配慮した調理のほか、施設設備の充実改善に努めた。給食物資については、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、安心確保のため平成 23 年度から放射性セシウムの測定を開始した。今後も栄養価に考慮しながらもおいしい給食が提供できるよう献立を工夫し、学校との連携を図りながら残食の減少に取り組んでいく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 153,967,650 円

平成 22 年度			平成 23 年度			食数比較
小学校 13校 6,158人	延1,671,887食	中学校 5 3,009	小学校 13校 6,154人	延1,671,980食	中学校 5 3,065	

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 465,365,291 円

平成 22 年度			平成 23 年度			食数比較
小学校 13校 5,079人	延1,478,768食	中学校 6 3,086	小学校 13校 4,932人	延1,444,580食	中学校 6 3,030	

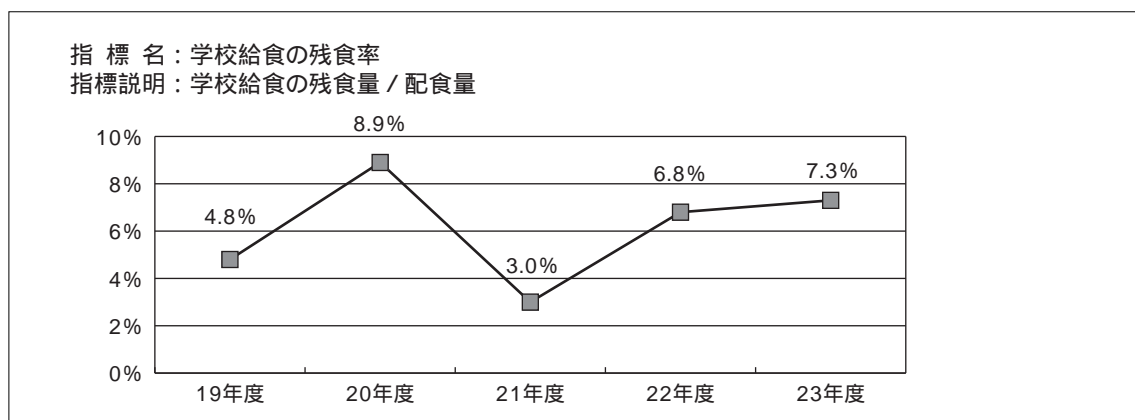
(3) 共同調理場運営事業費（西部） 130,935,116 円

平成 22 年度			平成 23 年度			食数比較
小学校 11校 6,087人	延1,567,991食	中学校 5 2,497	小学校 11校 5,905人	延1,528,791食	中学校 5 2,543	

(4) 共同調理場運営事業費（東部） 167,445,883 円

平成 22 年度			平成 23 年度			食数比較
小学校 15校 7,002人	延1,927,854食	中学校 6 3,665	小学校 15校 6,907人	延1,910,662食	中学校 6 3,698	

[ 指 標 ]



科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8項 市民体育費	699,061,628	0	0	46,160,339	652,901,289
2目 市民体育振興費	121,883,299	0	0	19,849,455	102,033,844

1 地域スポーツ推進事業費 7,962,090円(スポーツ課) <スポーツ活動への参加促進>

[ 総 括 ]

市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図るとともに、既存の総合型地域スポーツクラブの支援を行った。今後もスポーツ推進委員(体育指導委員)活動、スポーツ少年団活動及び総合型地域スポーツクラブの連携を進め、地域スポーツ活動の推進を図っていく。

[ 実績及び成果 ]

(1) 体育指導委員活動事業費 7,062,090円

体 育 指 導 委 員	平成22年度		平成23年度	
		112名	6,720,000円	112名

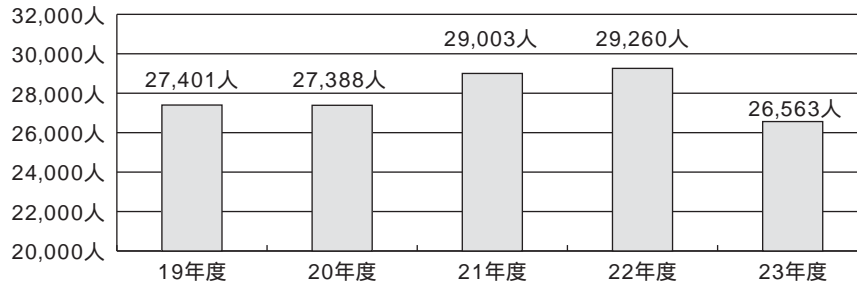
(2) スポーツ少年団活動事業補助金 900,000円

補 助 金	平成22年度		平成23年度	
		122団体	900,000円	122団体

[ 指 標 ]

指 標 名 : 地域スポーツ行事参加者数

指標説明 : 体育指導委員活動行事参加者数 + スポーツ少年団活動事業参加者数  
+ 総合型地域スポーツクラブ行事参加者数



2 一般体育振興事業費 102,443,739 円（スポーツ課）＜スポーツ活動への参加促進＞

[ 総 括 ]

スポーツの普及発展を図るための各種大会の開催や学校体育施設の開放事業のほか、豊橋市体育協会への活動支援を行った。今後も各種スポーツ行事の内容を検討し、より一層のスポーツ振興を図る。

[ 実績及び成果 ]

(1) スポーツ活動推進事業費 8,252,085 円

(ア) 行事開催

区 分	平成 2 2 年度			平成 2 3 年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	7月～11月	陸上競技場ほか	延8,282人	7月～11月	陸上競技場ほか	延7,980人
三遠南信スポーツ交流事業	22.8.27	総合体育館	243	23.12.11	総合体育館	420
体育の日記念行事 (ウエルネス)	22.10.11	総合体育館	2,000	23.10.10	総合体育館	2,500
競技力向上対策事業	22.10.23	市民球場	275	23.6.5	総合体育館	109
				23.6.12	アクアリーナ	50
				23.8.27～28	武道館	203
豊橋みなと シティマラソン	22.11.14	総合スポーツ公園 - 神野西町一丁目	2,862	23.11.13	総合スポーツ公園 - 神野西町一丁目	3,183
渥美半島駅伝競走大会	22.12.19	伊良湖～技科大前	445	23.12.18	伊良湖～技科大前	550
穂の国・豊橋ハーフマラソン	23.3.27	陸上競技場発着 (市内周回)	3,993	24.3.25	陸上競技場発着 (市内周回)	4,278

(イ) 生涯スポーツ推進市民会議の開催

開 催 回 数	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		2 回

(2) 市民スポーツ祭事業補助金 500,000 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		31種目 500,000円

(3) 学校体育施設開放運営事業費 40,663,987 円

開放施設 市立小・中学校、県立高校 計 81 校

〔利用状況〕

区 分	平 成 2 2 年 度			平 成 2 3 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延229,987人	人	229,987人	延202,461人	人	202,461人
剣 道	延 67,800		67,800	延 62,369		62,369
空 手	延 41,429		41,429	延 41,877		41,877
野 球		延216,531	216,531		延193,228	193,228
ソフトボール		延 44,280	44,280		延 45,106	45,106
卓 球	延 22,014		22,014	延 20,851		20,851
バドミントン	延 44,289		44,289	延 40,822		40,822
サ ッ カ ー		延207,430	207,430		延218,845	218,845
バスケットボール	延116,796		116,796	延110,827		110,827
ソフトバレー	延135,429		135,429	延125,268		125,268
インディアカ	延 39,509		39,509	延 36,410		36,410
そ の 他	延126,122	延 33,714	159,836	延130,969	延 40,030	170,999
計	823,375	501,955	1,325,330	771,854	497,209	1,269,063

(4) 豊橋市体育協会補助金 45,527,667 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		45,407,026円

(5) 日本港湾福利厚生協会補助金 7,200,000 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		プール延利用者数 45,272人 7,200,000円

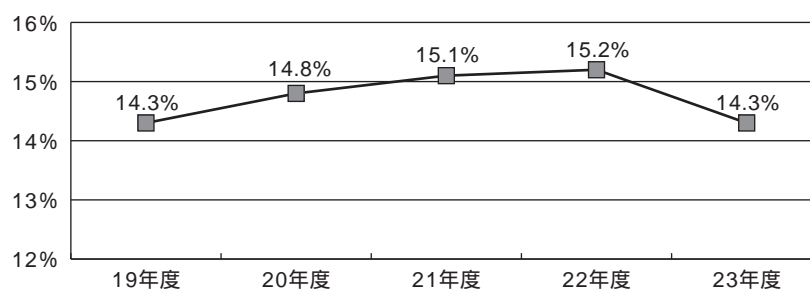
(6) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 300,000 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
		200,000円

〔指 標〕

指 標 名：市・体育協会主催スポーツ活動参加率

指標説明：市民の市・体育協会主催スポーツ活動参加者数 / 10月1日現在豊橋市民数



3 スポーツ大会誘致事業費 1,874,062 円（スポーツ課）＜競技スポーツの振興＞

[ 総 括 ]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、競技力の向上を図るため全国規模のハイレベルなスポーツ競技会を誘致した。今後も市民がスポーツとふれあう機会の充実を図るため、積極的に誘致活動に取り組む。

[ 実績及び成果 ]

(1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 1,874,062 円

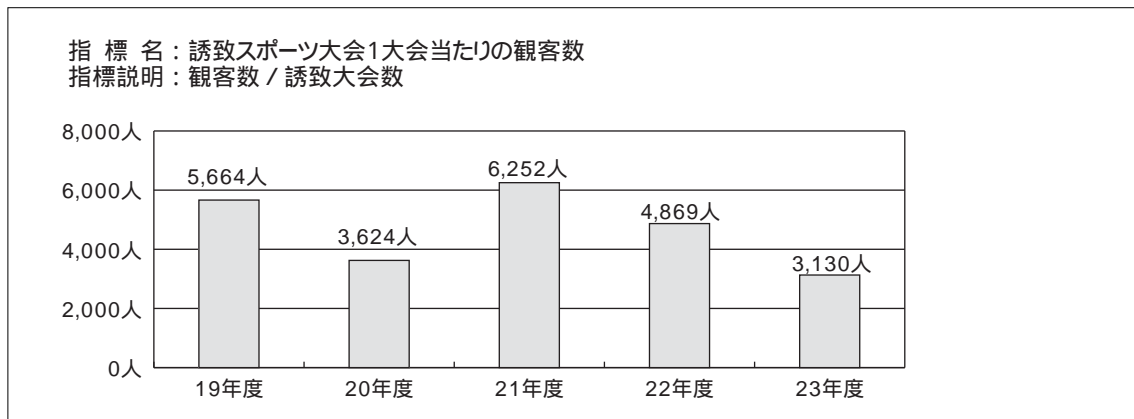
(ア) 日本女子ソフトボールリーグ1部豊橋大会開催補助金 450,000 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	450,000円	450,000円

(イ) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 1,424,062 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	1,499,156円	1,424,062円

[ 指 標 ]



4 国民体育大会冬季大会事業費 8,286,393 円（スポーツ課）＜競技スポーツの振興＞

[ 総 括 ]

平成 23 年度に開催された第 67 回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会について、豊橋市実行委員会を通じ、開催準備及び大会運営に取り組んだ。

[ 実績及び成果 ]

(1) 国民体育大会冬季大会事業費 8,286,393 円

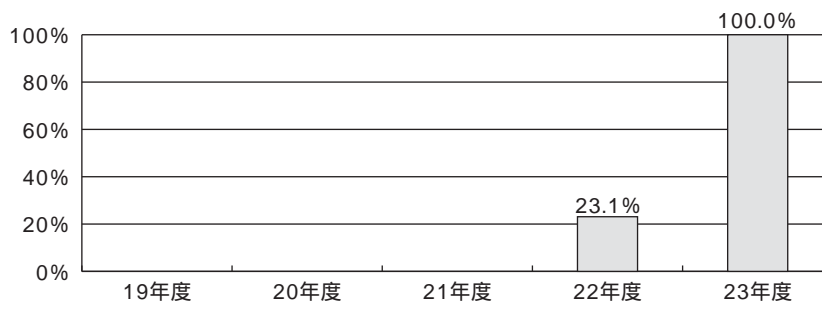
(ア) 事務費 107,080 円

(イ) 第 67 回国民体育大会冬季大会豊橋市実行委員会補助金 8,179,313 円

補 助 金	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度
	2,454,881円	8,179,313円

[ 指 標 ]

指 標 名 : 国民体育大会冬季大会進捗率  
指 標 説 明 : 累積直接補助金 / 全体直接補助金





科目	決算額等 決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 体育施設管理費	512,211,621	0	0	26,310,884	485,900,737

1 スポーツ施設管理運営事業費 512,211,621円(スポーツ課) <スポーツ環境の整備充実>

[総括]

各スポーツ施設は指定管理者により効率的、効果的な管理運営が行われた。また、総合体育館外壁等改修工事等を行い、施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が手軽にスポーツに親しめるよう施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 84,850,850円

[利用状況]

<総合運動場>

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊 橋 球 場	254日	69,877人	236日	66,804人	4.4%
東 田 球 場	237	35,245	250	35,267	0.1
陸 上 競 技 場	160	30,949	307	57,286	85.1
硬 式 庭 球 場	304	6,869	311	6,989	1.7
軟 式 庭 球 場	312	32,309	298	33,206	2.8
計		175,249		199,552	13.9

<市民プール>

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	延利用人員	1日平均	延利用人員	1日平均	
大 人	7,350人	108人	6,645人	102人	9.6%
小・中学生	6,476	95	6,917	106	6.8
幼 児	4,246	62	3,793	58	10.7
団 体	284		130		54.2
計	18,356	265	17,485	266	4.7

区 分	平成22年度	平成23年度	比 較
開 場 日 数	68日	65日	4.4%
1日の最高入場者数	873人	905人	3.7

<武道館>

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔 道 場	304日	19,181人	299日	16,511人	13.9%
剣 道 場	304	13,784	305	14,138	2.6
弓 道 場	308	10,466	306	11,484	9.7
相 撲 場	132	1,188	143	1,233	3.8
ト レ ー ニ ン グ 室	308	18,791	306	19,732	5.0
計		63,410		63,098	0.5

## 〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度
	陸上競技場改修工事	武道館高圧受変電設備取替修繕 武道館柔道場畳修繕 弓道場フェンス設置工事

(2) 地区体育館管理運営事業費 63,250,013 円

## 〔利用状況〕

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	308日	37,091人	309日	37,976人	2.4%
新 栄	182	17,848	309	28,894	61.9
牛 川	308	30,149	309	31,066	3.0
草 間	308	37,949	309	38,046	0.3
飯 村	308	46,961	309	48,120	2.5
下 五 井	308	41,306	309	39,985	3.2
浜 道	308	37,045	309	34,674	6.4
二 川	308	28,822	309	27,565	4.4
石 巻	308	29,250	309	27,753	5.1
大 清 水	308	45,267	309	45,374	0.2
計		351,688		359,453	2.2

## 〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度
	石巻地区体育館駐輪場改修工事 新栄地区体育館床等改修工事	牛川地区体育館屋上防水等工事 地区体育館バスケットコートライン引き

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 9,826,301 円

## 〔利用状況〕

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	308日	15,661人	309日	14,822人	5.4%
ト レ ー ニ ン グ 室	241	765	307	1,012	32.3
和 室	105	948	71	726	23.4
調 理 室	4	110	4	140	27.3
研 修 室	273	4,346	280	4,595	5.7
テ ニ ス コ ー ト 等	225	3,443	229	3,871	12.4
計		25,273		25,166	0.4

## 〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度

## (4) グリーンスポーツセンター管理運営事業費 8,190,776 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		比 較 ( 延利用人員 )
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	277日	3,683人	278日	4,294人	16.6%
多 目 的 広 場	307	37,047	306	35,802	3.4
キ ャ ン プ 場	29	474	34	631	33.1
パ タ ー ゴ ル フ	190	2,531	172	2,021	20.2
グリーンスポーツハウス	13	217	10	249	14.7
計		43,952		42,997	2.2

## (5) 岩田総合球技場管理運営事業費 44,543,515 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		比 較 ( 延利用人員 )
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	201日	51,096人	188日	47,936人	6.2%
市 民 球 技 場	74	14,530	73	18,860	29.8
市 民 庭 球 場	300	33,301	291	32,811	1.5
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	160	4,325	155	4,328	0.1
計		103,252		103,935	0.7

〔施設整備〕

内 容	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度

## (6) 運動広場管理運営事業費 32,980,298 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		比 較 ( 延利用人員 )
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	301日	40,586人	295日	36,507人	10.1%
明 海 広 場	132	20,165	136	21,332	5.8
明 海 少 年 広 場	139	7,935	140	7,870	0.8
高 山 広 場	130	8,724	223	11,205	28.4
向 山 運 動 広 場	262	16,939	267	17,019	0.5
石 巻 運 動 広 場	275	78,984	285	79,258	0.3
臨 海 運 動 広 場	122	20,714	139	18,479	10.8
レクリエーション広場	55	2,147	22	610	71.6
中 島 広 場	172	28,091	182	31,075	10.6
計		224,285		223,355	0.4

## 〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度

(7) 総合体育館管理運営事業費 136,136,996 円

## 〔利用状況〕

区 分		平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	285日	129,859人	301日	119,932人	7.6%
	そ の 他	23	11,865	19	7,000	41.0
卓 球 室		304	8,187	307	8,411	2.7
会 議 室		138	6,793	126	4,338	36.1
研 修 室		146	6,009	89	3,170	47.2
計			162,713		142,851	12.2

## 〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度
		エレベーター修繕

(8) 万場調整池庭球場管理運営事業費 1,457,370 円

## 〔利用状況〕

区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	293日	8,339人	290日	9,252人	10.9%

(9) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 130,975,502 円

## 〔利用状況〕

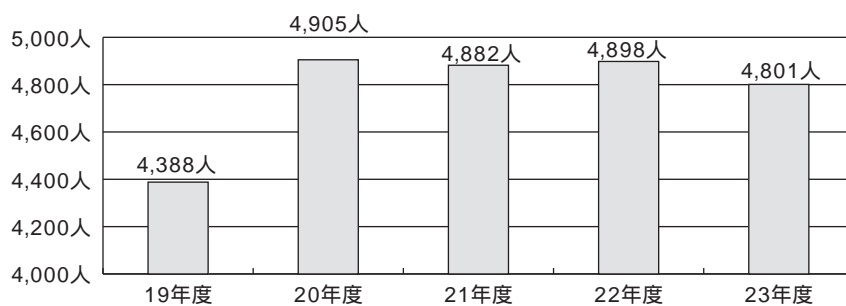
区 分	平成22年度		平成23年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル	112日	30,252人	111日	28,396人	6.1%
ア イ ス ア リ ー ナ	160	55,841	177	53,961	3.4
ト レ ー ニ ン グ 室	308	35,325	303	34,731	1.7
計		121,418		117,088	3.6

## 〔施設整備〕

内 容	平成22年度	平成23年度

[ 指 標 ]

指 標 名：全スポーツ施設 1日当たりの利用者数  
指 標 説 明：利用者数 / 開場・開館日数



科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	41,423,873	1,406,000	0	0	40,017,873
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	1,611,750	0	0	0	1,611,750
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	1,611,750	0	0	0	1,611,750

1 道路橋梁災害応急復旧費 1,611,750円(道路維持課)

[総括]

平成23年9月の台風15号により、新栄町地内の道路照明灯を始め、多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 道路橋梁災害応急復旧費 1,611,750円

内 容	平成22年度	平成23年度

科目	決算額等	決算額(円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	6,226,500	0	0	0	6,226,500
1目	農 林 水 産 施 設 災 害 復 旧 費	6,226,500	0	0	0	6,226,500

1 農業用施設災害応急復旧費 4,777,500円(農地整備課)

[総括]

平成23年9月の台風15号により、滝ノ谷池の倒木を始め、多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 農業用施設災害応急復旧費 4,777,500円

内 容	平成22年度	平成23年度

2 漁港海岸施設災害応急復旧費 1,449,000円(農政課)

[総括]

平成23年9月の台風15号により、多大な被害を受けた高豊漁港について、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 漁港海岸施設災害応急復旧費 1,449,000円

内 容	平成22年度	平成23年度

科目	決算額等	決算額（円）	財 源 内 訳 （円）			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3 項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	33,585,623	1,406,000	0	0	32,179,623
1 目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	33,585,623	1,406,000	0	0	32,179,623

1 諸施設災害応急復旧費 33,585,623 円（保育課始め 14 課）

[ 総 括 ]

平成 23 年 9 月の台風 15 号により、公園、学校等の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[ 実績及び成果 ]

(1) 諸施設災害応急復旧費 33,585,623 円

内 容	平成 2 2 年度		平成 2 3 年度	
			保 育 課	公共施設復旧 津田保育園、牛川東保育園
			総合老人ホーム	総合老人ホーム
			環境保全課	環境調査センターほか
			施 設 課	方すチックセンターほか
			埋立処理課	最終処分場ほか
			港湾活性課	ポートインフォメーションセンター
			住 宅 課	植田住宅ほか
			(消)総務課	磯辺分団器具庫ほか
			教育政策課	南部中学校ほか
			生涯学習課	東陵地区市民館ほか
			スポーツ課	杉山スポーツ広場ほか
			図 書 館	中央図書館
			美術博物館	二川宿本陣中庭門ほか
			公園緑地課	倒木処理 高師緑地ほか
			教育政策課	青陵中学校ほか
			生涯学習課	生活家庭館
			スポーツ課	中島広場ほか